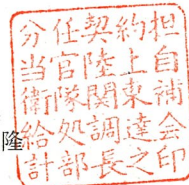


公 告

分任契約担当官
陸上自衛隊関東補給処
調達会計部長 酒井 隆



以下のとおり一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」及び「契約条項」を承知のうえ参加されたい。

1 入札事項

契約実施計画番号		調 達 要 求 番 号		物 品 番 号		仕 様 書 番 号	
3PQL1Q200150		3PU51A00017 0001				EAPBC-Z000001E	
品名 または 件名							
特別管理産業廃棄物処理							
部品番号 または 規格							
仕様書のとおり							
使用器材名							
数 量	単 位	銘 柄	使 用 期 限 等	グ ル ー プ	指 定	検 査	包 装
1.00	ST						
納地または工事場所				引 渡 場 所			
関東処 朝日燃支							
搬 入 場 所				納 期 ま た は 工 期			
				令和6年3月29日 (金)			

2 競争参加資格

次のいずれかであること
 全省庁統一資格の「役務の提供等」に係る等級がA、B、C、D等級であること
 ただし、細部は注意事項による。

3 契約条項を示す場所

「入札及び契約心得」・「標準契約書等」については、調達会計部契約課及びホームページに掲載（掲載）する。

4 説明会及び入札執行の日時場所

説明会日時場所：説明会実施せず
 入札日時場所：令和6年1月18日（木）13時10分 関東補給処A 2多目的室

5 保証金

入札保証金：免除 契約保証金：免除

6 落札決定方式及び契約方式

落札決定方式：総品目総額 契約方式：一般競争

7 注意事項

- (1) 競争参加資格の年度は、令和04・05・06年度とする。
- (2) 競争参加地域は、関東・甲信越とする。
- (3) 入札時に必ず資格審査結果通知書の写しを提出すること。
- (4) 入札において代理人が入札をする場合は、委任状を提出すること。
- (5) 入札及び契約心得について承諾のうえ参加すること。
- (6) 入札書には必ず住所・会社名・代表者名及び応札を担当する者の氏名と連絡先を記載すること。
- (7) 入札書の押印は省略できるものとする。

8 問い合わせ先

本書記載事項の問い合わせ先
 調達会計部契約課契約班 大野
 (電話029-842-1211 内線 2236)
 仕様書に関する問い合わせ先
 関東補給処朝日燃料支処 矢吹
 (電話029-842-1211 内線 3503)

本公告は、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地 関東補給処調達会計部
 陸上自衛隊関東補給処調達会計部ホームページ
<https://www.mod.go.jp/gsdf/ae/eadep/tyokai/honsyo/honsyo.index.html>に掲載。
 QRコードから公式サイトにアクセスできます。



9 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条の規定に該当しない者であること、なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第71条の規定に該当しない者であること。
- (3) 防衛省大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官又は陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止等の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (4) 前号により、現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
- (5) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を、該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りでない。
- (6) 第4号の「資本関係又は人的関係にある」場合とは、次に定める基準のいずれかに該当する場合をいう。

ア 資本関係がある場合

次の(ア)又は(イ)に該当する二者の場合。ただし、(ア)については子会社（会社法（平成17年法律第86号）第2条第3号及び会社法施行規則（平成18年法務省令第12号）第3条の規定による子会社をいう。以下同じ。）又は、(イ)について子会社の一方が会社更正法（昭和27年法律第172号）第2条第7項に規定する更正会社（以下「更正会社」という。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）第2条第4号に規定する再生手続（以下「再生手続」という。）が存続中の会社である場合を除く。

(ア) 親会社（会社法第2条4号及び会社法施行規則第3条の規定による親会社をいう。以下同じ。）と子会社の関係にある場合

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

イ 人的関係がある場合

次の(ア)又は(イ)に該当する二者の場合。ただし、(ア)については、更正会社又は再生手続存続中の会社である場合を除く。

(ア) 一方の会社の役員（常勤又は非常勤の取締役、会計参与、監査役、執行役、理事、監事その他これらに準ずる者をいい、社外役員を除く。以下の号において同じ。）が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

(イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の会社更正法第67条第1項又は民事再生法第64条第2項の規定により選任された管財人を現に兼ねている場合

ウ ア及びイに掲げる場合のほか、資本構成又は人的構成において関連性のある一方の会社による落札が他方の会社に係る指名停止等の措置の効果を事実上減殺するなどア又はイに掲げる場合と同視し得る資本関係又は人的関係があると認められる場合

- (7) 防衛省として原価計算システムの適正性を確認できない状態にある者でないこと。（但し、市場価格方式による場合は、除く。）

10 入札の方法

- (1) 競争は消費税抜きの価格相当額で行うので、入札書には見積した金額の110分の100に相当する金額を記載する。
- (2) 郵便による入札は、作成した入札書を小封筒に入れ小封筒表に、入札日、公告番号、件名を朱書きして封印したものと、資格審査結果通知書の写しを外封筒に入れ、外封筒にも、入札日、公告番号、件名を記載し、郵便書留等にて入札日前日（入札日の前日等が閉庁日の場合は、閉庁日前直近の開庁日）12時00分までに契約課に必着とする。また、入札書が届いたかの確認をすること。

11 落札決定方法

- (1) 予定価格の制限の範囲で最低の価格をもって申し込みをした者を落札者とする。
- (2) 契約金額は、落札者の入札書に記載された金額の100分の110に相当する金額とする。尚、その金額に1円未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てる。
- (3) 1回目の入札において郵便入札があり落札しない場合の再度入札は令和6年1月25日（木）14時10分 関東補給処A2多目的室（A庁舎2階）で行う。
- (4) 郵便による再度入札は、作成した入札書を小封筒に入れ小封筒表に、再度入札日、公告番号、件名を朱書きして封印し外封筒に入れ、外封筒にも、再度入札日、公告番号、件名を記載し、郵便書留等にて再度入札日前日（入札日の前日等が閉庁日の場合は、閉庁日前直近の開庁日）12時00分までに契約課に必着とする。また、入札書が届いたかの確認をすること。

12 違約金

落札者等が「入札及び契約心得」に従って契約の締結手続きをしない場合には、落札者等が契約締結に応じないものとみなし、落札金額に消費税相当額を加算した金額の100分の5に相当する金額を違約金として徴収し、契約者が契約を履行しない場合は、契約金額の100分の10以上の金額を違約金として徴収する。

13 入札の無効

- (1) 第2項及び第9項の参加資格のない者のした入札又は入札に関する条件に違反した入札
- (2) 入札及び契約心得第3章第6項に規定する暴力団排除に関する誓約をしない場合、誓約に虚偽があった場合又は誓約に反する事態が生じた場合

14 契約書の作成

落札業者は落札決定後、契約金額により遅滞なく陸上自衛隊補給処等用標準契約書等に示す契約書等を作成するものとする。なお、契約書の割印及び袋とじは実施しない。

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書			
物品番号		仕 様 書 番 号	
産業廃棄物処理		EAPBC-Z000001E	
		作 成	平成24年 4月10日
		変 更	令和 4年12月 1日
		作成部隊等名	関東補給処朝日燃料支処

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊関東補給処朝日燃料支処において実施する産業廃棄物処理の役務調達について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、GLT-CG-Z000001による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 仕様書

GLT-CG-Z000001 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

b) 法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）（以下，“法”という。）

2 役務に関する要求

2.1 一般的要求事項

対象産業廃棄物の種類及び数量，その他の一般的要求事項は、調達要領指定書によって指定する。

2.2 処理の区分

処理の区分は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、収集運搬及び処分とし、収集運搬の際に発生した容器等は回収した業者が区分するものとする。

2.3 処理基準

処理基準は、次によるほか、契約の相手方は、法及び関連法令を遵守し、適正に処理する責任を負う。

a) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く。）の処理は、法第12条で定める産業廃棄物処理基準による。

b) 特別管理産業廃棄物の処理は、法第12条の2で定める特別管理産業廃棄物による。

2.4 産業廃棄物管理票の処置

産業廃棄物管理票（以下，“管理票”という。）の処置は、法第12条の3で定めるところによる。

3 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官等（以下，“担当官”という。）が定める監督・検査実施要領による。

4 その他の指示

4.1 提出書類

提出書類は、次によるほか、担当官の指示による。

- a) 当該産業廃棄物の種類を事業範囲に含む許可証の写し（契約前）。
- b) 管理票（B2票，D票）の写しおよび管理票（E票）（役務完了後）。

4.2 仕様書に関する疑義

仕様書の内容について疑義を生じた場合は、すべて担当官に申し出てその指示を受ける。

調 達 要 領 指 定 書	発 簡 番 号	
	調達要求番号	3PU51A00017
	調達要求年月日	令和5年 11月 30日
	作 成 部 隊	関東補給処朝日燃料支処
	作成年月日	令和5年 11月 30日
品 名	特別管理産業廃棄物処理	
仕 様 書 番 号	EAPBC-Z000001E	

指定事項

2. 1 一般的要求事項

a) 対象産業廃棄物の種類及び数量

NO	廃棄物の名称	種 類	数量	単位	1個当たりの重量(Kg)	重量計(Kg)	備 考
1	金属表面清浄剤, 2種	引火性廃油	1	個	21.35	21.35	
2	校正液, 航空機燃料系統用	引火性廃油	18	個	16.95	305.10	
3	防錆剤AV30	引火性廃油	6	個	1.00	6.00	
4	防錆剤AV40	引火性廃油	5	個	1.00	5.00	
5	防錆剤 85054, タイプ I	引火性廃油	56	個	0.45	25.20	
6	防錆剤 透明非粘着性皮膜	引火性廃油	43	個	0.50	21.50	
7	アクリルニトロセルロース系ラッカー用シンナー	引火性廃油	5	個	3.50	17.50	
8	外部用フタル酸樹脂エナメル (半つや) 2811黒 (1) 16Kg	引火性廃油	2	個	17.15	34.30	
9	航空用ポリウレタン塗料, 灰色 A液	引火性廃油	8	個	1.30	10.40	
10	航空用ポリウレタン塗料, 灰色 B液	引火性廃油	8	個	11.50	92.00	
11	航空用ポリウレタン塗料, 黒色 A液	引火性廃油	8	個	1.30	10.40	
12	航空用ポリウレタン塗料, 黒色 B液	引火性廃油	8	個	11.50	92.00	
13	航空用ポリウレタン塗料, 黒色 (17038) A液	引火性廃油	8	個	1.30	10.40	
14	航空用ポリウレタン塗料, 黒色 (17038) B液	引火性廃油	8	個	11.50	92.00	
15	外部用フタル酸樹脂エナメル (半つや) 2801白 (1) 4Kg	引火性廃油	54	個	4.45	240.30	
16	航空用合成樹脂塗料用硬化剤	引火性廃油	19	個	1.20	22.80	
総 重 量						1,006.25	

b) 廃棄物の詳細

廃棄理由	油脂類の有効期限が超過したため。
処理の区分	収集、運搬及び処分とし、最終処分の方法は焼却処分とする。
荷姿	引火性廃油、強酸を缶に封入。

c) 引渡し場所および引渡し時期

引き渡し場所は、陸上自衛隊朝日分屯地内の油脂庫とし、引き渡し時期は契約後に双方で調整し、決定する。

d) その他要求する事項

梱包容器等を含め処分するものとする。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 3月 30日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	金属表面清浄剤, 2種					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	エチレングリコール モノブチルエーテル 20~30%			MSDSがある場合、CAS No. リン酸 7664-38-2	
	他	リン酸 15~25% ポリ(オキシエチレン) オクチルフェニルエーテル 1.0~3.0% 水			エチレングリコール モノブチルエーテル 111-76-2 ポリ(オキシエチレン) オクチルフェニルエーテル 9036-19-5 水 7732-18-5	
4 廃棄物の種類	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input checked="" type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当)・非該当 ・ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(60℃以上) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input checked="" type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(僅かな溶剤臭) 色(無色透明) 比重(1.11) pH(1以下) 沸点(100℃以上) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(20L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット・継続予定) () kg・t・ℓ・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 ・直射日光を避け、風通しの良い冷暗所に保管する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・吸引すると有害 ・皮膚に接触すると有毒 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部分有・サンプル無・写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

作成日	2013年05月25日
改訂日	2019年11月26日
版番号	第9版

179
2.3.2

安全データシート

(株)クロケル

1. 物質または混合物および会社情報

製品名 : 金属表面清浄剤、2種 (CEE-BEE C-622)
 会社名 : 日本シー・ビー・ケミカル株式会社
 住所 : 東京都品川区南大井3丁目28番3号 大森プラザビル 4階
 電話番号 : 03-5767-6431
 FAX番号 : 03-5767-6437
 担当部門 : 技術部
 緊急連絡先 : 大船工場、技術部
 電話番号 : 0467-46-4144
 FAX番号 : 0467-47-0002
 推奨用途及び使用上の制限 : 洗浄剤及び金属表面処理剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分4
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分3
急性毒性(吸入:気体)	区分外
急性毒性(吸入:蒸気)	区分3
急性毒性(吸入:粉塵及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分1A
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(肝臓、腎臓、中枢神経系)、区分3(気道刺激)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(血液)
誤えん有害性	分類できない

作成日	2013年05月25日
改訂日	2019年11月26日
版番号	第9版

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分3
 水生環境有害性 長期(慢性) 区分外
 オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素
 絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

可燃性液体
 飲み込むと有害
 皮膚に接触すると有毒
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 吸入すると有毒
 呼吸器への刺激のおそれ、または、
 眠気またはめまいのおそれ
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 経口または吸入した場合、臓器(肝臓、腎臓、中枢神経系)の障害
 長期にわたる、または反復ばく露による臓器(血液)の障害のおそれ
 水生生物に有害

注意書き【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 気分が悪い時は医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。
 皮膚(または髪)に : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
 付着した場合 皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。
 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師の診察/手当を受けること。
 気分が悪い時は医師に連絡する。
 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
 汚染された衣類を直ちにすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 火災の場合 : 消火するために適切な消火剤(粉末、炭酸ガス、泡)を使用すること。

作成日	2013年05月25日
改訂日	2019年11月26日
版番号	第9版

【保管】 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物や容器は、承認された廃棄物処理場に廃棄すること。又は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成および成分情報

物質の特定 単一製品・混合物 の区別 : 混合物

成分・化学名	リン酸	エチレングリコール モノブチルエーテル	ポリ(オキシエチレン) オクチルフェニルエーテル	水
含有量	15~25%	20~30%	1.0~3.0%	残分
化学式又は構造式	H ₃ PO ₄	C ₄ H ₉ OCH ₂ CH ₂ OH	(C ₂ H ₄ O) _n ・C ₁₄ H ₂₂ O	H ₂ O
官報公示整理番号	(1)-422	(2)-407	(7)-172	—
CAS No.	7664-38-2	111-76-2	9036-19-5	7732-18-5
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当	非該当	該当 No.408 第1種指定化学物質	非該当
労働安全衛生法(表示対象物)	該当	該当	非該当	非該当
労働安全衛生法(通知対象物)	該当	該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させる。呼吸困難又は停止の場合は、直ちに人工呼吸を行い、速やかに医師の診察/手当を受けること。

皮膚(または髪)に：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り除く。

付着した場合：皮膚を多量の水と石鹸で洗う。直ちに医師の診察/手当を受けること。

眼に入った場合：直ちに水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の診察/手当を受けること。

飲み込んだ場合：速やかに清水で口をすすぎ、無理に吐かせない。意識のない場合は、口から何も与えてはならない。直ちに医師の診察/手当を受けること。

5. 火災時の措置

本製品は危険物に該当しない。周辺火災の場合は、適切な消火剤を使用する。

消火剤：霧状の強化液・泡・炭酸ガス・粉末が有効。(消火に棒状の水を用いてはならない。)

小火災 … 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤、乾燥砂

大火災 … 散水、噴霧水、泡消火剤

使ってはならない消火剤：棒状放水(本品があふれ出て、火災を拡大するおそれがある。)

特有の危険有害性：加熱により容器が爆発するおそれがある。

火災中に刺激性、腐食性又は毒性のガスまたはフュームを発生する可能性がある。

特有の消火方法：火元への燃焼源を絶つ。初期の火災には粉末、炭酸ガスを用いる。

大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。

棒状の注水は火災を拡大し危険な場合がある。

火災発生場所の周囲には関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火作業の際には、必ず保護具を着用し、消火剤を用いて風上より消火する。

周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可能の場合は容器、及び周囲の設備などに散水して冷却する。

消火を行う者の保護：消火作業では、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：漏洩区域は、ロープを張る等して関係者以外の人の出入りを禁止する。

保護具及び緊急時措置：漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用し、風上で作業する。

密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。

環境に対する注意事項：河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。

作成日	2013年05月25日
改訂日	2019年11月26日
版番号	第9版

回収・中和：漏洩した液はスコップ等で空容器に回収し、残りは土砂やウエス等に吸着させ回収する。
 回収した製品は、後で廃棄物処理業者に委託する等、関係法令に基づき産業廃棄物として適切に処分する。後処理として、漏出場所は大量の水を用いて洗流す。
 封じ込め及び浄化の方法・機材：危険でなければ漏れを止める。
 二次災害の防止策：漏洩物の上をむやみに歩かないこと。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い 技術的対策：周辺において火気、静電気、衝撃火花等の着火源の存在を厳禁する。
 静電気対策を行ない、作業衣・安全靴は導電性のものを用いる。
 鉄・亜鉛等の金属、コンクリート、アルカリ性物質との接触は避ける。
 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
局所排気・全体換気：換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
 蒸気の発生する場所には局排装置を設ける。
安全取扱い：すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
注意事項 皮膚・粘膜・着衣に触れたり、目に入ったりしない様適切な保護具を着用する。
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしない。
 換気の良い場所で取扱う。液の漏洩、及び発散には防止する。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗う。作業後の衣服は十分に洗濯する。
 容器はその都度密栓する。衝撃・摩擦は避ける。
保管 技術的対策：保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にし、採光と換気装置を設置する。
取扱い 保管条件：容器を密閉して、直射日光や高温を避け、換気の良い場所で保管すること。
 混触危険物質(強アルカリ性等)、食料、飼料から離して保管する。
 決められた場所に、転倒、転落しないように保管する。
容器包装材料：ポリエチレン、ポリプロピレン等

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：製品については設定されていない。
組成物質 エチレングリコールモノブチルエーテルについて
 作業環境評価基準(1995) … 25ppm
許容濃度：製品については設定されていない。
組成物質 リン酸について
 日本産業衛生学会 … 1mg/m³ (TWA)
 ACGIH … 1mg/m³ (TWA), 3mg/m³ (TLV-STEL)
組成物質 エチレングリコールモノブチルエーテルについて
 日本産業衛生学会 … 設定されていない。
 ACGIH … 25ppm, 120mg/m³ (TWA)
設備対策：局所換気、密閉式、又は全体換気を適正に行う。
 装置は耐腐食性のある材質を使用する。
 取り扱い場所近くに、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。
保護具：呼吸系の保護具…ミスト防止用マスク、防毒マスク、送気マスク
 眼の保護具…保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
 皮膚及び身体の保護具…耐油性保護手袋(フタルコム製)、保護長靴、不浸透性保護衣(前掛け等)
衛生対策：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
 取扱い後はよく手を洗う。
 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

作成日	2013年05月25日
改訂日	2019年11月26日
版番号	第9版

9. 物理的及および化学的性質

外観等	: 無色透明液体	揮発性	: データなし
比重	: 約1.11 (at 27°C)	引火点	: 60°C以上
pH	: 1以下 (at 25°C)	爆発範囲	: データなし
臭気	: 僅かな溶剤臭	発火性	: データなし
沸点	: 約100°C以上	酸化性	: なし
融点	: データなし	溶解度	: 水と任意の割合で溶解

10. 安定性および反応性

安定性 : 通常取扱条件において安定である。鉄鋼などの金属に対し、腐食性を示す。
 自己反応性 : なし
 危険有害反応可能性 : 本品は強酸であり、強塩基と混触すると激しく反応する。
 多くの金属を腐食し、引火性/爆発性の水素ガスを生成する。
 避けるべき条件 : 保管時は、直射日光、高温等、混触不可物質との接触
 混触危険物質 : 強酸化剤、アルカリ性物質、金属類
 危険有害な分解生成物 : 燃焼した場合、リン酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素等。
 金属等を腐食した場合、水素。

11. 有害性情報

組成物質有害性 リン酸について

急性毒性	経口	ラット	LD ₅₀	1,530mg/kg
		ヒト	LD _{Lo}	100mg/m ³
		ラビット	LD _{Lo}	595mg/24hrs 重度症状
刺激性	眼	ラビット		100mg 重度症状
		皮膚刺激性	経口	ラビット

組成物質有害性 エチレングリコールモノブチルエーテルについて

急性毒性	経口	ラット	LD ₅₀	500mg/kg	
		マウス	LD ₅₀	1,230mg/kg	
		モルモット	LD ₅₀	1,200mg/kg	
		ウサギ	LD ₅₀	300mg/kg	
		吸入	ラット	LD ₅₀	450ppm/4hrs
			マウス	LD ₅₀	700ppm/7hrs
			ヒト	LD ₅₀	195ppm/8hrs
		静注	ラット	LD ₅₀	340mg/kg
			マウス	LD ₅₀	1,130mg/kg
			ウサギ	LD ₅₀	280mg/kg
ウサギ	LD ₅₀		490mg/kg		
経皮	ウサギ	LD ₅₀	490mg/kg		
	モルモット	LD ₅₀	500mg/kg		
	皮下	マウス	LD ₅₀	500ppm/8hrs	
刺激性	眼	ウサギ	500mg/24時間	中程度	
		皮膚	ウサギ	極めて弱い	

亜急性毒性 : 人における亜急性毒性及び慢性中毒の報告はない。

および 貧血等の血液学的影響とオスの動物に対する精巣障害である。

慢性毒性 貧血 : 吸入 ラット(55ppm)、マウス(100ppm)で、赤血球の一時的な破壊が診られたが、モルモット(494ppm)では影響なかった。

経口 マウス(500 mg/kg, 1,500 mg/kg)で、用量に依存した赤血球減少が診られた。

精巣障害 : 吸入 ラット(250ppm)で、30日間では診られない。

経口 マウス(1,000 mg/kg/day, 5日/週、5週で、1/5に精巣収縮が観られた。

変異原性 : 姉妹染色分体交換試験及び点突然変異試験で陰性。

催奇形性 : 吸入(ラット、ウサギ)、経皮(ラット)試験で催奇形性の報告はない。

作成日	2013年05月25日
改訂日	2019年11月26日
版番号	第9版

組成物質有害性 ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテルについて

急性毒性：経口 ラット LD₅₀ 1.8ml/kg

刺激性：眼 刺激あり(中程度刺激)

皮膚 通常異常は感じない。(弱い刺激)

がん原生：IARCにリストアップされていない。

変異原性：変異原生(微生物、染色体異常)には指定されていない。

製品に関する有害性

刺激性：皮膚・粘膜の刺激性及び腐食性が強く、目に触れると激しい刺激があり重度の障害を起こす。

12. 環境影響情報

組成物環境影響 リン酸について

水生動物への毒性：TLm (96h) 100~1,000ppm

組成物環境影響 エチレングリコールモノブチルエーテルについて

水生動物への毒性：魚毒性(金魚) LC₅₀ 1,700mg/L/24hrs

分解性/蓄積性：容易に分解する。

組成物環境影響 ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテルについて

水生動物への毒性：魚毒性(色子鯉) LC₅₀ 1.8ppm/48hrs

製品に関する環境影響

河川、湖沼等の富栄養化の原因となるリン、窒素を含有している。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：消石灰等で中和した後、活性汚泥法・活性炭吸着法等で含有する界面活性剤等の有機物を分解除去して無害化した上で、水質汚濁防止法等に従って処理するか、又はこれを含む廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

排水処理等で発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に従って処理前述の委託契約により処理を行う。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関係法令並びに地方自治体の基準に従って適切な処置を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

小型運搬容器を用いる運搬に際しては、容器に漏れないことと適法な外装の施こされていることを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に進行。

固定容器、積載式容器を用いる運搬に際しては、容器の漏れないことを確かめ、積み込み時、運搬中、積み卸し時に漏れ防止を確実に進行。他の危険物や燃えやすい危険物のそばや上積みをしてはならない。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。移送時にイエローカードの保持が必要。

国際規則

海上規制情報	IMOの規定に従う
UN No.	1760
Proper Shipping Name	CORROSIVE LIQUID, N.O.S.
Class	8
Packing Group	III
Marine Pollutant	Not applicable

航空規制情報

航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う
UN No.	1760
Proper Shipping Name	CORROSIVE LIQUID, N.O.S.
Class	8
Packing Group	III

国内規則

陸上規制情報	該当しない
--------	-------

作成日	2013年05月25日
改訂日	2019年11月26日
版番号	第9版

海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
国連番号	1760
品名	その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
クラス	8
容器等級	Ⅲ
航空規制情報	航空法の規定に従う
UN No.	1760
Proper Shipping Name	その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
Class	8
Packing Group	Ⅲ

15. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を表示すべき危険物及び有害物

(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

「No.79 エチレングリコールモノブチルエーテル、No.618 リン酸」

名称等を通ずべき危険物及び有害物

(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

「No.79 エチレングリコールモノブチルエーテル、No.618 リン酸」

第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)

「No.8 エチレングリコールモノブチルエーテル」

特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者(法第66条第2項、施行令第22条第1項)

「No.6 エチレングリコールモノブチルエーテル」

有害物ばく露作業報告(安衛則第95条の6、平成18年2月16日告示第25号・第1条)

「No.244 エチレングリコールモノブチルエーテル」

危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)

「その他の引火点(30℃以上 65℃未満のもの)」

作業環境評価基準(法第65条の2第1項)

「No.42 エチレングリコールモノブチルエーテル」

化学物質排出把握管理促進法：該当 第1種指定物質

(PRTR法) 「No.408 ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル」

毒物及び劇物取締法：非該当

水質汚濁防止法：pH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質質量、リン等(排水となった場合)

大気汚染防止法：揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)(排気になった場合)

「エチレングリコールモノブチルエーテル」

海洋汚染防止法：有害液体物質(施行令別表第1)

Y類物質：No.92 エチレングリコールモノブチルエーテル

Z類物質：No.153 リン酸

消防法：指定可燃物 可燃性液体類

*第4類危険物は、非該当。(可燃性液体量が40%以下であって、引火点が40℃以上、かつ、燃焼点が60℃以上のものを除く。)(危険物則第1条の3第5項)

化審法：優先評価化学物質(法第2条第5項)「No.109 エチレングリコールモノブチルエーテル」

道路法：非該当(可燃性液体量が40%以下であって、引火点が40℃以上、かつ、燃焼点が60℃以上のものを除く。)

航空法：腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)

【国連番号】1760, 【正副ラベル】8-1, 【等級】Ⅲ

船舶安全法：腐食性物質(危規則第2、3条危険物告示別表第1)

その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)

【国連番号】1760, 【正副ラベル】8-1, 【等級】Ⅲ

作成日	2013年05月25日
改訂日	2019年11月26日
版番号	第9版

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：廃棄する場合(特別管理産業廃棄物)(廃棄する場合)

外国為替及び外国貿易法：輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)

HS3810.90.000 金属表面処理用調製浸漬剤、その他のもの

16. SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報

作成、改訂：作成 … 2013年05月25日

改訂 … 2019年11月26日 第9版 *改訂内容:GHS Ver. 7 対応

参考文献：GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP

GHS モデル SDS 情報 中央労働防災防止協会 安全衛生情報センター HP

JIS-Z-7250,7251,7252

[注意]危険・有害性の評価は必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。(F.S.)

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 3月 30日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処 所属 朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒 300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47	担当者 巻島 直隆 TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	校正液, 航空機燃料系統用		
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	中沸点脂肪族ナフサ ≥50~<75%	MSDSがある場合、CAS No. 中沸点脂肪族ナフサ 64742-88-7
	他	水素化精製軽質留出物(石油) ≥50~<75% n-ノナン ≥5~<10%	水素化精製軽質留出物(石油) 64742-47-8 n-ノナン 111-84-2
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器)		
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等		
<input checked="" type="checkbox"/> 特別管理 産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)		
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)		
6 PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。		
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)		
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン		
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)		
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)		

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約40.6℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(マイルド) 色(無色、白) 比重(1未満) pH(データ無し) 沸点(154℃) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(5GL缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (18) kg・t・% ³ ・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
工程図への記入でも可。
(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
判断材料となります。)

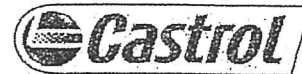
<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

製品安全データシート



15109
2.3.19

修正液 船舶機 燃料系統用

1. 製品及び会社情報

(株)コロカ

製品名 Brayco 922
 製品コード 452701-US03
 SDS 番号 452701
 履歴 SDS#: 27034
 供給者 ビービー・ジャパン株式会社
 インダストリアル事業本部
 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2
 ゲートシティ大崎 イーストタワー20F
 電話 03-5719-7200 FAX 03-5435-2273
 緊急連絡先 ケアケム: 03-4578-9341 (24時間受付)
 (海外から: +81 3 4578 9341)

物質または混合物の確認された用途および警告される用途

物質/製剤の使用方法 キャリブレーションオイル。
 具体的な用途についてのアドバイスは、「テクニカルデータシート」を参照するか、またはお客様窓口にお問
 い合わせください。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 引火性液体 - 区分 3
 皮膚腐食性/刺激性 - 区分 2
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 - 区分 2A
 特定標的臓器毒性(単回暴露)(麻酔作用) - 区分 3
 吸引性呼吸器有害性 - 区分 1
 水生毒性(慢性) - 区分 2

GHSラベル要素

危険有害性の絵文字



注意喚起語
 危険有害性情報

危険
 H226 - 引火性の液体および蒸気。
 H319 - 強い眼刺激。
 H315 - 皮膚刺激。
 H304 - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
 H336 - 眠気やめまいのおそれ。
 H411 - 長期的影響により水生生物に毒性。

注意書き
 安全対策

P280 - 保護手袋を着用すること。保護眼鏡または保護面を着用すること。
 P210 - 高熱、高温面、火花、裸火および着火原因となるものに近づけないこと。禁煙。
 P241 - 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器および全ての材料運搬装置を使用すること。
 P242 - 火花を発生させない工具を使用すること。
 P243 - 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 P233 - 容器を密閉しておくこと。
 P271 - 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 P273 - 環境への放出を避けること。
 P261 - 蒸気の吸入を避けること。
 P264 - 取扱い後はよく手を洗うこと。

製品名	Brayco 922	製品コード	452701-US03	ページ:	1/9
バージョン	3	発行日	2015 3月 10	フォーマット	日本語
				言語	日本語
				Build	5.0.1 (Japan)
					(JAPANESE)

2. 危険有害性の要約

応急措置	<p>P391 - 漏出物を回収すること。</p> <p>P304 + P340 + P312 - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。</p> <p>P301 + P310 + P331 - 飲み込んだ場合：ただちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。</p> <p>P303 + P361 + P353 - 皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。</p> <p>P302 + P352 + P362-2 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。</p> <p>P332 + P313 - 皮膚刺激が生じた場合：医師の手当てを受けること。</p> <p>P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合：医師の手当てを受けること。</p>
保管	<p>P405 - 施錠して保管すること。</p> <p>P403 - 換気の良い場所で保管すること。</p> <p>P235 - 涼しいところに置くこと。</p>
廃棄	P501 - 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。
分類されていない他の危険有害性	皮膚の脱脂。

3. 組成及び成分情報

物質、混合物の区別 混合物
炭化水素 ナフサ成分

表示成分	%	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)	労働安全衛生法
Solvent naphtha (petroleum), medium aliph.	≥50 - <75	64742-88-7	データなし。	データなし。
Distillates (petroleum), hydrotreated light	≥50 - <75	64742-47-8	551	データなし。
n-ノナン	≥5 - <10	111-84-2	(2)-9	432

本製品の補足的な成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

目に入った場合	接触した場合、直ちに多量の水で15分以上洗眼する。まぶたを眼球から離して持ち上げ、よくすすいでください。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。医師の診断を受ける。
吸入した場合	戻り吸入したら、新鮮な空気のある場所に移動させる。医師の診断を受ける。 蒸気、霧、煙に触れると眼気、頭痛や、目が霞む、目・鼻・喉に炎症が起こるなどの症状が表れる場合は、直ちに空気が新鮮な場所へ移ってください。患者を暖かい、楽な状態に保ってください。いずれかの徴候が長く続く場合は、医師の診断を受けてください。
皮膚に付着した場合	接触した場合、直ちに汚染された衣服および靴を脱ぐと同時に多量の水で皮膚を15分以上洗浄する。皮膚を石鹸と水で洗浄するか、または認定された皮膚洗浄剤を使用する。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	嘔吐を誘発させてはならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。飲み込むと呼吸傷害の潜在的危険有害性。肺に入り損傷を与えることがある。直ちに医師の診断を受ける。

最も重要な急性および遅発性の症状/影響

健康への影響と症状の詳細については、セクション11を参照。

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置の指示

応急措置をする者の保護	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。
-------------	---

製品名	Brayco 922	製品コード	452701-US03	ページ: 2/9
バージョン	3	発行日	2015 3月 10	フォーマット 日本語
			Build 5.0.1	言語 日本語
			(Japan)	(JAPANESE)

4. 応急措置

医師に対する特別注意事項

処置はおおむね対症療法とし、作用を和らげるようにすること。この物質は、飲み込んだ場合や、胃内容物の逆流によって吸引され、重症かつ致死性の化学肺臓炎を起こすことがあります。その場合は緊急の治療が必要です。吸引の危険があるため、嘔吐を誘発することや胃洗浄は避けてください。胃洗浄は気管内挿管後にのみ実施してください。不整脈をモニターしてください。

5. 火災時の措置

消火剤

適切

泡沫消火剤あるいは汎用化学消火剤で消火する。

不適切

ウォータージェットを使用してはならない。

特定の危険有害性

本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。引火性の液体および蒸気。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり、容器が破裂し、その結果爆発が起こるリスクがある。流出物が下水道に流れ込むと、火災や爆発を引き起こす危険性がある。本製品は水生生物に対して有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。

有害な熱分解生成物

燃焼生成物には、下記の物質が含まれる可能性があります
炭素酸化物 (CO, CO₂)

消防士用の特別な防具と 予防措置

火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。

消火を行う者の保護

消火を行う者は自給式呼吸器および完全防火服を着用すること。消防士の保護衣の保護能力には限界がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

緊急時要員以外の人員用

直ちに緊急要員に連絡する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。適切な個人保護装置を着用する。床が滑りやすい場合があります。転ばないように注意してください。あらゆる発火源を除去する。

緊急時の責任者用

適切な呼吸器保護用の機器と安全な作業システムなしに、蒸気、霧、煙霧で汚染された密閉された場所、または換気が悪い場所に入るのは非常に危険です。自給式呼吸器を着用して下さい。適切な化学物質用保護服を着用してください。化学薬品からの保護用のブーツ。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。漏出物を回収すること。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

少量流出

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。不活性物質で吸い取り、適切な廃棄容器に収容する。火花防止型の工具および防爆型の装置を使用する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。利用する方法と機器は、爆発物環境に関連する法律および産業慣行に適合していなければなりません。

大量流出

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。流出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。本製品がこぼれたら、砂、土、ハームキュラト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する。火花防止型の工具および防爆型の装置を使用する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。利用する方法と機器は、爆発物環境に関連する法律および産業慣行に適合していなければなりません。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

海上に流出した場合、管轄の政府・規制機関によって承認された場合、承認されている分散剤を使用することができる。

製品名	Brayco 922	製品コード	452701-US03	ページ: 3/9	
バージョン	3	発行日	2015 3月 10		
		フォーマット	日本語	言語	日本語
		Build 5.0.1	(Japan)		(JAPANESE)

7. 取扱い及び保管上の注意

保護措置

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。蒸気や噴霧の吸入を避ける。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。静電気防止対策を講じる。火災や爆発を防止するため、容器を接地して運搬中の静電気を放電させると共に、物質を移し換える前に容器と用具を電氣的に接続する。流出物への接触と、土壌や表層水への流出を避ける。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器を再利用してはならない。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。防爆型の電気装置(換気設備、照明用具、物質取扱い用具)を使用する。火花を発生させない工具を使用すること。飲み込まないこと。飲み込むと呼吸傷害の潜在的危険有害性。肺に入り損傷を与えることがある。口で吸ってはならない。皮膚への長期間あるいは繰り返しの接触を避ける。金属加工中、加工品や工具から発生する固体粒子により、液体が汚染され、擦過傷を起こすことがあります。こうした擦過傷の結果、皮膚が破れた場合には、できる限り早く応急処置をとってください。クロム、コバルト、ニッケルといった、製造工程にある製品やツールが含有する特定の金属が、金属加工油を汚染し、その結果アレルギー性皮膚疾患を引き起こす可能性があります。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。閉鎖された空間における高濃度のミスト、ヒューム(噴霧)により、爆発性を帯びることがあります。過剰な液はね、攪拌、および加熱は避けてください。

一般的な職業衛生に関する助言

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。取扱い後は、十分に洗浄する。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

安全に保管するための注意事項

現地の法規制に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。あらゆる発火源を除去する。酸化性物質に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。この製品のために設計されている装置/容器でのみ保管および使用してください。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

曝露限界

表示成分	曝露限界値
Distillates (petroleum), hydrotreated light n-ノナン	ACGIH TLV (米国)。皮膚から吸入。 TWA: 200 mg/m ³ , (as total hydrocarbon vapor) 8 時間。発行済み/改定済み: 1/2003 日本産業衛生学会 (日本)。 OEL-M: 1050 mg/m ³ 8 時間。発行済み/改定済み: 1/1989 OEL-M: 200 ppm 8 時間。発行済み/改定済み: 1/1989

推奨される測定方法

当製品が曝露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要があります。適切な監視規格を参照しなければならない。危険有害性物質の定量法に関する国の指針文書を参照することも必要になる。

適切な技術的管理

曝露に対する制御を十分に施すため、化学物質を扱うすべての活動について健康に対する危険性を評価する必要があります。個人向けの防御装置の着用は、それ以外の制御手段(機械的な制御など)が施されていることを十分に評価してから検討してください。個人用保護具は、適切な標準規格に準拠しており、使用に適し、良好な状態に保たれ、適切に維持管理されている必要があります。選択および適切な標準規格に関してはお使いの個人用保護具の業者にご相談ください。詳細については、当該国の標準機構に照会してください。排気または他の工学的管理を施し、それぞれの大気中の濃度をそれぞれの職業上の曝露限度以下に維持すること。最終的な保護具の選択はリスクアセスメントによって決まります。個人用保護具のすべてのアイテムに適合性があることを確認することは重要です。

環境暴露管理

換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければなりません。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げるために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

取扱者の保護措置

製品名	Brayco 922	製品コード	452701-US03	ページ: 4/9
バージョン	3 発行日	フォーマット	日本語	日本語
	2015 3月 10	Build 5.0.1 (Japan)	言語	(JAPANESE)

8. 暴露防止及び保護措置

衛生対策	化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を十分に洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。
呼吸器の保護具	十分に換気しながら使用する。 換気が不十分な場合は、適当な呼吸保護具を着用する。 推奨: ハーフフェイスマスク - 有機蒸気フィルター (タイプ A)。 呼吸器保護のための正しい選択は処理される化学物、作業および利用状況、呼吸機器の状態により異なります。安全な方法がそれぞれ目的とする利用法ごとに開発されなければなりません。したがって呼吸器保護装置はサプライヤー/メーカーに相談の上、作業状況を十分に評価して選択しなければなりません。
手の保護具	耐薬品性の手袋を着用してください。推奨: ニトリル製手袋。保護手袋は、使用する化学物質、作業条件および使用条件、手袋の状態(最も優れた化学的耐性を持つ手袋であっても、化学物質に何度も暴露されることによって傷みます)によって、適したものを選択します。ほとんどの手袋は、短期間しか保護できず、廃棄および交換が必要になります。使用環境および物質の取扱い方法は場合によって異なるため、安全手順は使用目的ごとに決まります。そのため、手袋を選択する際は、供給者または製造業者に相談し、作業条件を十分に評価した上で選択してください。
目の保護具	側方遮蔽のある保護眼鏡。
皮膚の保護	保護服の使用は、良い産業訓練です。 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。 薬品や油を通さない衣服および靴を着用すること。 綿またはポリエステル/綿のオーバーオールは、皮膚まで浸透しない軽い表面的な汚染に対してのみ保護を提供します。オーバーオールは定期的に洗濯してください。皮膚暴露の危険性が高い場合(例えば、流出物を掃除する場合または飛び跳ねる危険性がある場合など)は、耐薬品性のエプロンおよび/または不浸透性の化学防護服およびブーツが必要となります。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	液体。
色	無色。白。
臭い	マイルド
引火点	密閉式: 40.6°C (105.1°F)
自然発火温度	データなし。
爆発(燃焼)限界の上限および下限	データなし。
爆発限界	データなし。
蒸気圧	データなし。
蒸気密度	データなし。
揮発性	データなし。
蒸発速度	データなし。
臨界温度	データなし。
酸化的性質	データなし。
粘度	動粘度: <20.5 mm ² /s (<20.5 cSt) @ 40°C
pH	データなし。
沸点 / 範囲	154°C (309.2°F)
融点 / 範囲	データなし。
液滴点	データなし。
比重	データなし。
密度	<1000 kg/m ³ (<1 g/cm ³) @ 20°C
溶解度	水に不溶。
常温での溶解性(g/l)	データなし。
分散性	データなし。
分配係数 (LogKow)	データなし。

製品名	Brayco 922	製品コード	452701-US03	ページ: 5/9
バージョン	3	発行日	2015 3月 10	フォーマット 日本
				言語
				日本語
				(JAPANESE)
				Build 5.0.1 (Japan)

9. 物理的及び化学的性質

備考

データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	この生成物に関する利用可能な特定の試験データはありません。追加の情報については、避けるべき条件と不適格な物質に関するセクションを参照してください。
化学的安定性	製品は安定である。
危険な反応の可能性	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。 通常の保管および使用条件下では、有害な重合は起こらない。
避けるべき条件	発火源に近づけない。
混触危険物質	次の物質と反応あるいは不適合: 酸化剤。
危険有害な分解生成物	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

呼吸に対する危険有害性

名称	結果
☑Solvent naphtha (petroleum), medium aliph. Distillates (petroleum), hydrotreated light n-ノナン	吸引性呼吸器有害性 - 区分 1 吸引性呼吸器有害性 - 区分 1 吸引性呼吸器有害性 - 区分 1

可能性のある暴露経路についての情報 予想される侵入経路: 皮膚、吸入した場合。

起こりうる急性毒性

目に入った場合	強い眼刺激。
吸入した場合	中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。眠気やめまいのおそれ。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激。皮膚の脱脂。
飲み込んだ場合	中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。口、喉および胃に対し刺激性がある。飲み込むと呼吸に障害が生じる危険があり、液体を肺に吸い込むと有害な影響が生じたり死に至る。大量に吸入すると、吐き気や下痢を起こすことがあります。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

目に入った場合	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 流涙 発赤
吸入した場合	障害症状には以下の症状が含まれる: 吐き気または嘔吐 頭痛 眠気/疲労 浮動性のめまい/回転性のめまい 意識不明 高濃度で露すると、めまい、ふらつき、頭痛、嘔気および眼のかすみを誘発します。より高濃度では意識消失になるおそれもあります。 熱分解による蒸気、ミスト、煙霧に暴露吸入した場合、有害である可能性があります。
皮膚に付着した場合	有害症状には以下の症状が含まれる: 刺激 発赤 乾燥肌 ひびわれ。
飲み込んだ場合	有害症状には以下の症状が含まれる: 吐き気または嘔吐

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

起こりうる慢性毒性

概要	重大な作用や危険有害性は知られていない。
発がん性	重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性	重大な作用や危険有害性は知られていない。
催奇形性	重大な作用や危険有害性は知られていない。

製品名	Brayco 922	製品コード	452701-US03	ページ: 6/9
バージョン	3	発行日	2015 3月 10	フォーマット 日本語
			Build 5.0.1 (Japan)	言語 日本語 (JAPANESE)

11. 有害性情報

発育への影響	重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖能力に対する影響	重大な作用や危険有害性は知られていない。
毒性の数値化	
急性毒性の推定	
データなし。	




12. 環境影響情報

環境作用	水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。本製品は水生生物に対して有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。
残留性および分解性	迅速に分解されると予想されない。
生物濃縮の可能性	
移動性	揮発性 液体。水に不溶。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	<p>廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。大量の老廃物質残渣は、下水設備を通して廃棄してはならず、適切な廃水処理施設で処理しなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。製品残渣からの蒸気は、容器内部に高度に可燃性または爆発性のガス体を生じさせるおそれがある。使用済み容器は内部が十分に洗浄されていない限り、切断、溶接または粉碎を行ってはならない。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。</p>
------	--

14. 輸送上の注意

	IMDG	IATA
国連番号	UN1268	UN1268
UN正式輸送品目名	石油製品、特定なし (Distillates (petroleum), hydrotreated light, Solvent naphtha (petroleum), medium aliph.). 海洋汚染物 (n-ノナン)	石油製品、特定なし (Distillates (petroleum), hydrotreated light, Solvent naphtha (petroleum), medium aliph.)
輸送危険有害性クラス	3  	3 
パッキンググループ	III	III
環境有害性	該当。	該当せず。
追加情報	<p>≤5 L 又は ≤5 kgのサイズで輸送する場合には、海洋汚染物質マークは要求されない。</p> <p>緊急時計画 (EmS) F-E, S-E</p>	他の輸送規制によって要求される場合には、環境有害性マークが付くことがある。

使用者のための特別な予防措置 データなし。

製品名	Brayco 922	製品コード	452701-US03	ページ: 7/9
バージョン	3	発行日	2015 3月 10	フォーマット 日本語
		Build 5.0.1	(Japan)	言語 日本語 (JAPANESE)

15. 適用法令

消防法

危険物区分 第4類: 第二石油類 水に不溶 指定数量 1000 L

危険等級 三

労働安全衛生法

ラベルに関する規定

該当せず。

名称等を通知すべき危険物及び有害物

表示成分	リスト上の名前	CAS #	濃度	状況	政令番号
Distillates (petroleum), hydrotreated light n-ノナン	ペトロリウムスピリット	64742-47-8	45 - 55	該当	551
	ノナン	111-84-2	1 - 5	該当	432

労働安全衛生法 引火性液体 第4類

海洋汚染および海洋災害防止法 海洋汚染物: P

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当せず。

このMSDSは改正PRTR法に対応しています。

その他の規定

日本インベントリー(ENCS)(既存及び新規化学物質)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
米国インベントリー(TSCA 8b)(有害物質規制法 8b)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
REACH状況	セクション1で指定している会社は、この製品をEU域内において、現在のREACHの要件に従って製造しています。
オーストラリア化学物質 インベントリー(AIGS)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
カナダインベントリー	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
中国インベントリー(IECSC)(中国既存化学物質 インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
韓国インベントリー(KECI)(韓国既存化学物質 インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
フィリピンインベントリー(PIGCS)(フィリピン化学品および化学物質 インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
台湾のインベントリー(CSNN)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付	10/03/2015.
前作成日	20/11/2014.
作成者	Product Stewardship
	日本における略号キーは下記の通りです。

GHS = グローバル・ハーモナイズド・システム
CAS Number = ケミカルアブストラクトサービス登録番号
ISHL = 産業上の安全・健康に関する法
OSHL = 職業上の安全・健康に関する法
PRTR = 特定化学物質の環境への放出に関する報告とその管理改善促進に関する法
ENCS = 既存および新規化学物質
METI = 経済・通商・産業省
OEL = 職業上の被曝制限

製品名	Brayco 922	製品コード	452701-US03	ページ: 8/9
バージョン	3	発行日	2015 3月 10	フォーマット 日本語
			Build 5.0.1	言語 日本語
			(Japan)	(JAPANESE)

16. その他の情報

JSOH = 日本産業衛生学会
TWA = 時間加重平均
STEL = 短時間被曝制限
IMDG = 物品の海上輸送に関する国際海事機関規則
IATA = 国際航空協会
UN Number = 国連番号、危険物品の輸送に関する国連専門家委員会によって割り当てられた4桁の番号

☑ 前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

本データシートは正確を期する為に、あらゆる実用的な手段を講じており、本データシートに含まれる健康、安全および環境情報は資料発行日において正確なものです。しかしながら、本データシートに記載されているデータおよび情報の正確性や完全性に対して何らの保障をするものではありません。記載されたアプリケーション以外の製品をBPグループからの指導なく利用することはできません。

本製品を安全に使用し、すべての法律および規定に準拠することは、取り扱い事業者の責任です。弊社は使用者の特別な用途での使用、注意事項の無視、または材料固有の性質により生じた障害や損傷には責任を負いません。業務用として他の事業者に本製品を提供する購入者は、本製品の使用者に本データシートの情報を提供するために必要なあらゆる手段をとる義務があります。本製品を取り扱う事業所の事業主は、本データシートに記載されている危険性および従うべき注意事項について、関わりのある従業員および関係者に通知する義務があります。BPグループに連絡して、この文書が最新版であることを確認できます。この文書に変更を加えることは固く禁じられています。

製品名	Brayco 922	製品コード	452701-US03	ページ	9/9
バージョン	3	発行日	2015 3月 10	フォーマット	日本語
			Build 5.0.1	(Japan)	(JAPANESE)

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒 300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	防錆剤AV30					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	炭化水素	15w%~20w%	MSDSがある場合、CAS No.		
	他	石油スルホン酸カルシウム	07w%~10w%	炭化水素	8002-05-9	
		ブタンオキシム	0.1w%~0.2w%	石油スルホン酸カルシウム	68783-96-0	
		カルシウムビス	2.5w%~3w%	ブタンオキシム	96-29-7	
		ミネラルスピリット	1~2w%	カルシウムビス	57855-77-3	
		ハイドロカーボンC9-C11	10w%~12.5w%	ミネラルスピリット	64742-47-8	
		ハイドロカーボンC9-C10	20w%~25w%	裏面【その他の情報】に続きを記載		
4 廃棄物の種類 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ					
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロペン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
	6 PRTR対象物質 届出事業所 (該当・ 非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・ 非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

製品安全データシート (MSDS)

AV30

13113

5.3.13

〔製造者情報〕 製造者 Chemtall LTD
DenbighRoad65
Bletchley Milton Keynes MK1 1PB Great Britain
TEL +44 1908 649333
輸入者 株式会社 クロサカ
住所 東京都千代田区神田神保町一丁目 27 番地 7
電話番号: 03-3291-0016 FAX 番号: 03-3291-0015
作成・改訂日: 2020年3月3日

〔製品の特定〕 製品名: ArdroxAV30

自衛隊品名 防錆剤AV30
製品説明 種類: 防錆剤
主な用途: 航空機用防錆剤

〔組成、成分情報〕

単一製品・混合物の区別: 合成物(混合物)

主な成分		CAS No	%byWeight
: 炭化水素		8002-05-9	15~20%
: 石油スルホン酸カルシウム		68783-96-0	07~10%
: ブタンオキシム		96-29-7	0.1~0.2%
: カルシウムビス		57855-77-3	2.5~3%
: ミネラルスピリット		64742-47-8	1~2%
: ハイドロカーボンC9-C11		1174522-20-3	10~12.5%
: ハイドロカーボンC9-C10		64742-48-9	20~25%

化学式又は構造式 特定できない
毒物及び劇薬取締法 該当しない
PRTR法 該当しない

〔危険有害性の要約〕

GHS分類 主な有害性は下記のとおり
: 引火性液体、急性毒性物質
(分類基準) 高圧ガス、引火性液体、可燃性液体、
酸化性物質、自己反応性物質、急性毒性物質、その他有害性物質
危険性 : 消防法危険 (第4類第2石油類) に該当する可燃性のある液体。
蒸気は空気より重く、低所に滞留して爆発性混合ガスを作ることがある。
有害性 : データなし
環境影響 : データなし

GHSラベル要素



〔応急措置〕

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。洗眼時には、こすらずにまぶたを指でよく開き、眼球、まぶたの隅々までよく洗浄する。

- もし異常があれば医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 触れた部分を水またはぬるま湯でよく洗い流す。もしあれば、石鹼を使用のこと。甚だしく汚染させた衣服及び靴は脱ぎ、洗濯してから再使用する。触れた部分の外観に変化があるか、痛みが続く場合は、医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、身体を毛布等で覆い保温して安静に保ち、異常があれば医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させたりせずに速やかに医師の診察を受ける。

[火災時の処置]

- 消火方法 : 可能な限り風上から消火剤を使用して消火する。消火剤に霧状の水を使用する場合は、貯蔵容器に直接の噴霧を避ける(突沸の危険があるため)。
- 消火剤 : 泡、粉末、炭酸ガス、霧状の水(大規模火災時は注水により火災を拡大する恐れあり。また、消火剤に棒状の水を用いてはならない。)

[漏出時の措置]

- 大量の場合 : 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止し、付近の着火源となるものを速やかに取り除く。盛土等で囲って流出を防ぎ、できるだけ多くバケツ、ポンプ(防爆型ポンプあるいはハンドポンプ)等で回収する。作業の際には必ず保護具を着用する。
- 少量の場合 : 砂または土などの適切な吸収材で吸収させて空容器に回収する。このとき吸収材にウエス、オガクスの可燃性物質を使用しない。作業の際には保護具を着用する。

[取扱い及び保管上の注意]

- 取扱い : 火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。皮膚に触れないよう、目に入らないよう、また蒸気を吸入しないよう注意する。必要に応じ保護具を着用する。
- 保管 : 漏洩を防止し、着火源から離して保管する(可燃性のため)。また、直射日光をさけ密栓して冷暗所かつ凍結しない場所に保管する(変質するため)。異物の混入防止のため使用後は密栓をしておく。
- その他 : 消防法などの法令の定めるところに従う。

[暴露防止及び保護措置]

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : ミネラルスピリット
日本産業衛生学会(1993年版) 規定なし
ACGIH : TWA 100ppm or 525mg/m³ (stoddard solvent)
- 設備対策 : 屋内作業所での使用時は蒸気の発生源を密閉化あるいは、局所排気または全体排気装置の設置が望ましい。取扱場所の近くに安全シャワー、手洗いの設備を設け、その位置を明示する。
- 保護具 : 状況に応じて下記保護具を使用する。
- 呼吸用保護具 : 必要に応じて送気マスクまたは有機ガス用マスクを着用する。
- 保護眼鏡 : 飛沫が飛ぶ場合はゴーグル型眼鏡又は防災面を着用する。
- 保護手袋 : 長時間又は繰り返し接触する場合は、耐油性保護手袋を着用する。
- 保護衣服 : 長時間にわたって取り扱う場合又は濡れる場合には、耐油性の長袖作業衣を着用する。濡れた衣類は直ちに脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。
- その他 : スリッパ防止効果の高い安全靴を着用する。

[物理的及び化学的性質]

- 外観 : 褐色液状
- 臭気 : 石油臭

密度	: 0.89 g/cm ³	
沸点	: 145~160°C	
引火点	: 34°C (PMCC)	
爆発限界	上限: データなし	下限: データなし

[安定性及び反応性]

酸化性	: なし
自己反応性・爆発性	: なし
粉じん爆発性	: なし
可燃性	: あり
発火性 (自然発火性、水との反応性)	: なし
科学的安定性	: 通常の状態では安定。ただし強酸化剤との接触は避ける

[有害性情報]

眼に入った場合	: 刺激の恐れあり
皮膚に付着した場合	: 長期又は繰り返し接触すると、刺激を生じ、皮膚炎をおこすこともある。すでに皮膚炎になっている場合に接触すると皮膚炎が悪化することがある。
吸入した場合	: 高濃度の蒸気/エアゾールは、呼吸器官を刺激し、頭痛、めまい、麻酔性、眠気、意識不明、中枢神経系への影響、脳損傷が起きることがあり、死に至ることも有り得る。
飲み込んだ場合	: ごくわずかな毒性がある。誤って飲み込んだりまたは吐き出ししたりする際、呼吸器系に吸入された少量の液体が、中度から重度の肺損傷を起こすことがあり、死に至ることも有り得る。
急性毒性	: データなし
発ガン性	: データなし

[環境影響情報]

生分解性	: データなし
蓄積性	: データなし
魚毒性	: データなし

[廃棄上の注意]

残余廃棄物、廃容器は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適正に処理する。
 残余廃棄物は事業者が自ら処理するか、又は都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理をする。
 廃容器に圧力をかけると破裂することがある。廃容器は溶接、加工、穴あけ、又は切断を行うと、爆発を伴って残留物が破裂することがあるので注意する。

[輸送上の注意]

容器に漏れあるいはその恐れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。取扱い及び保管上の注意事項の記載による他、該当法規に従って貯蔵、取扱い、荷造り、包装、運送を行うこと。

陸上輸送	: 消防法、危険物第4類第2石油類 非水溶性液体 危険等級III
海上輸送	: 船舶安全法 危険物 (高引火性液体) UN1139 PG3
航空輸送	: 航空法 危険物 (高引火性液体) UN1139 PG3
国連分類	: クラス3 (引火性液体、PG3)
国連番号	: 1993

[適用法令]

労働安全衛生法	: 有機溶剤中毒予防規則 第3種有機溶剤等 : 通知物質 (法57条2) 含有 : 引火性の物
---------	---

消 防 法 : 危険物第4類第2石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ
P R T R法 : 対象物質含なし
海洋汚染防止法 : 油分排出規則 (原則禁止)
危険物船舶輸送及び貯蔵規則 : 危険物 高引火点引火性液体 (クラス 3.3)

[その他の情報]

引用文献 : 1. 許容濃度の勧告 (1993) 日本産業衛生学会 産業医学 35 巻 P323-367
2. Thresholds limit values for chemical substances and physical agent and biological exposure indices, ACGIH (1997)

この情報は新しい知見に基づき改正されることがあります。
記載情報は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理・化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため取り扱いには細心の注意が必要です。また、注意事項は通常の手続きを対象としたものであるため、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

[記載内容の問い合わせ先]

住 所 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目27番地7
株式会社 クロサカ
電 話 番 号 : 03-3291-0016
F A X 番 号 : 03-3291-0015

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処 所属 朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒 300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47	担当者 巻島 直隆 TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	防錆剤AV40		
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	炭化水素 15w%~20w%	MSDSがある場合、CAS No. 炭化水素 8002-05-9
	他	石油スルホン酸カルシウム 07w%~10w% ブタンオキシム 0.1w%~0.2w% カルシウムビス 2.5w%~3w% ミネラルスピリット 1~2w% ハイドロカーボンC9-C11 10w%~12.5w% ハイドロカーボンC9-C10 20w%~25w%	石油スルホン酸カルシウム 68783-96-0 ブタンオキシム 96-29-7 カルシウムビス 57855-77-3 ミネラルスピリット 64742-47-8 裏面【その他の情報】に続きを記載
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器)		
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等		
<input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)		
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)		
6 PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。		
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)		
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン		
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)		
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)		

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(48.9°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(石油臭) 色(褐色) 比重(0.89g/cm ³) pH() 沸点(145°C) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化((有)・無) 有る場合は具体的に記入 強酸化剤との接触は避ける。
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 ・なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(1L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット) 継続予定) (5) kg・t・ℓ・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 ・漏れ、あふれ、飛散を防ぎ蒸気を発散させない。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・皮膚刺激・眼刺激あり。 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ CAS-No (項目3続き)
 ハイドロカーボンC9-C11 1174522-20-3
 ハイドロカーボンC9-C10 64742-48-9
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)
 <排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

15128
2.3.1

製品安全データシート (MSDS)

防錆剤 AV40

〔製造者情報〕

製造者 Chemtall LTD
 DenbighRoad65
 Bletchley Milton Keynes MK1 1PB Great Britain
 TEL +44 1908 649333

輸入者 株式会社 クロサカ
 住所 東京都千代田区神田神保町一丁目 27 番地 7
 電話番号: 03-3291-0016 FAX 番号: 03-3291-0015
 作成・改訂日: 2020年3月3日

〔製品の特定〕

製品名: Ardrox AV40

EA= 1 Lt

自衛隊品名 防錆剤 AV40
 製品説明 種類: 防錆剤
 主な用途: 航空機用防錆剤

〔組成、成分情報〕

単一製品・混合物の区別: 合成物(混合物)

主な成分		CAS No	%byWeight
: 炭化水素		8002-05-9	15~20%
: 石油スルホン酸カルシウム		68783-96-0	07~10%
: ブタンオキシム		96-29-7	0.1~0.2%
: カルシウムビス		57855-77-3	2.5~3%
: ミネラルスピリット		64742-47-8	1~2%
: ハイドロカーボン C9-C11		1174522-20-3	10~12.5%
: ハイドロカーボン C9-C10		64742-48-9	20~25%

化学式又は構造式 特定できない
 毒物及び劇薬取締法 該当しない
 PRTR法 該当しない

〔危険有害性の要約〕

GHS分類 主な有害性は下記のとおり
 : 引火性液体、急性毒性物質

(分類基準) 高圧ガス、引火性液体、可燃性液体、
 酸化性物質、自己反応性物質、急性毒性物質、その他有害性物質

危険性 : 消防法危険 (第4類第2石油類) に該当する可燃性のある液体。
 蒸気は空気より重く、低所に滞留して爆発性混合ガスを作ることがある。

有害性 : データなし

環境影響 : データなし

GHSラベル要素



〔応急措置〕

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。洗眼時には、こすらずにまぶたを指でよく開き、眼球、まぶたの隅々までよく洗浄する。

- もし異常があれば医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 触れた部分を水またはぬるま湯でよく洗い流す。もしあれば、石鹸を使用のこと。甚だしく汚染させた衣服及び靴は脱ぎ、洗濯してから再使用する。触れた部分の外観に変化があるか、痛みが続く場合は、医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、身体を毛布等で覆い保温して安静に保ち、異常があれば医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させたりせずに速やかに医師の診察を受ける。

[火災時の処置]

- 消火方法 : 可能な限り風上から消火剤を使用して消火する。消火剤に霧状の水を使用する場合は、貯蔵容器に直接の噴霧を避ける(突沸の危険があるため)。
- 消火剤 : 泡、粉末、炭酸ガス、霧状の水(大規模火災時は注水により火災を拡大する恐れあり。また、消火剤に棒状の水を用いてはならない。)

[漏出時の措置]

- 大量の場合 : 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止し、付近の着火源となるものを速やかに取り除く。盛土等で囲って流出を防ぎ、できるだけ多くバケツ、ポンプ(防爆型ポンプあるいはハンドポンプ)等で回収する。作業の際には必ず保護具を着用する。
- 少量の場合 : 砂または土などの適切な吸収材で吸収させて空容器に回収する。このとき吸収材にウエス、オガクスの可燃性物質を使用しない。作業の際には保護具を着用する。

[取扱い及び保管上の注意]

- 取扱い : 火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。皮膚に触れないよう、目に入らないよう、また蒸気を吸入しないよう注意する。必要に応じ保護具を着用する。
- 保管 : 漏洩を防止し、着火源から離して保管する(可燃性のため)。また、直射日光をさけ密栓して冷暗所かつ凍結しない場所に保管する(変質するため)。異物の混入防止のため使用後は密栓をしておく。
- その他 : 消防法などの法令の定めるところに従う。

[暴露防止及び保護措置]

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : ミネラルスピリット
日本産業衛生学会(1993年版) 規定なし
ACGIH : TWA 100ppm or 525mg/m³ (stoddard solvent)
- 設備対策 : 屋内作業所での使用時は蒸気の発生源を密閉化あるいは、局所排気または全体排気装置の設置が望ましい。取扱場所の近くに安全シャワー、手洗いの設備を設け、その位置を明示する。
- 保護具 : 状況に応じて下記保護具を使用する。
- 呼吸用保護具 : 必要に応じて送気マスクまたは有機ガス用マスクを着用する。
- 保護眼鏡 : 飛沫が飛ぶ場合はゴーグル型眼鏡又は防災面を着用する。
- 保護手袋 : 長時間又は繰り返し接触する場合は、耐油性保護手袋を着用する。
- 保護衣服 : 長時間にわたって取り扱う場合又は濡れる場合には、耐油性の長袖作業衣を着用する。濡れた衣類は直ちに脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。
- その他 : スリッパ防止効果の高い安全靴を着用する。

[物理的及び化学的性質]

- 外観 : 褐色液状
- 臭気 : 石油臭

密度	: 0.89 g/cm ³	
沸点	: 145~160°C	
引火点	: 34°C (PMCC)	
爆発限界	上限: データなし	下限: データなし

〔安定性及び反応性〕

酸化性	: なし
自己反応性・爆発性	: なし
粉じん爆発性	: なし
可燃性	: あり
発火性 (自然発火性、水との反応性)	: なし
科学的安定性	: 通常の状態では安定。ただし強酸化剤との接触は避ける

〔有害性情報〕

眼に入った場合	: 刺激の恐れあり
皮膚に付着した場合	: 長期又は繰り返し接触すると、刺激を生じ、皮膚炎をおこすこともある。すでに皮膚炎になっている場合に接触すると皮膚炎が悪化することがある。
吸入した場合	: 高濃度の蒸気/エアゾールは、呼吸器官を刺激し、頭痛、めまい、麻酔性、眠気、意識不明、中枢神経系への影響、脳損傷が起きることがあり、死に至ることも有り得る。
飲み込んだ場合	: ごくわずかな毒性がある。誤って飲み込んだりまたは吐き出したりする際、呼吸器系に吸入された少量の液体が、中度から重度の肺損傷を起こすことがあり、死に至ることも有り得る。
急性毒性	: データなし
発ガン性	: データなし

〔環境影響情報〕

生分解性	: データなし
蓄積性	: データなし
魚毒性	: データなし

〔廃棄上の注意〕

残余廃棄物、廃容器は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適正に処理する。
 残余廃棄物は事業者が自ら処理するか、又は都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理をする。
 廃容器に圧力をかけると破裂することがある。廃容器は溶接、加工、穴あけ、又は切断を行うと、爆発を伴って残留物が破裂することがあるので注意する。

〔輸送上の注意〕

容器に漏れあるいはその恐れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。取扱い及び保管上の注意事項の記載による他、該当法規に従って貯蔵、取扱い、荷造り、包装、運送を行うこと。

陸上輸送	: 消防法、危険物第4類第2石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ
海上輸送	: 船舶安全法 危険物 (高引火性液体) UN1139 PG3
航空輸送	: 航空法 危険物 (高引火性液体) UN1139 PG3
国連分類	: クラス3 (引火性液体、PG3)
国連番号	: 1993

〔適用法令〕

労働安全衛生法	: 有機溶剤中毒予防規則 第3種有機溶剤等 : 通知物質 (法57条2) 含有 : 引火性の物
---------	---

消 防 法 : 危険物第4類第2石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ
P R T R法 : 対象物質含なし
海洋汚染防止法 : 油分排出規則 (原則禁止)
危険物船舶輸送及び貯蔵規則 : 危険物 高引火点引火性液体 (クラス 3.3)

[その他の情報]

引用文献 : 1. 許容濃度の勧告 (1993) 日本産業衛生学会 産業医学 35 巻 P323-367
2. Thresholds limit values for chemical substances and physical agent and biological exposure indices, ACGIH (1997)

この情報は新しい知見に基づき改正されることがあります。

記載情報は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理・化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため取り扱いには細心の注意が必要です。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

[記載内容の問い合わせ先]

住 所 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目27番地7
株式会社 クロサカ
電話番号 : 03-3291-0016
FAX番号 : 03-3291-0015

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	防錆剤 85054, タイプ I					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	イソプロピルアルコール 16.5w% VM&Pナフサ 16.5w% 他 軽石油ナフサ 7.7w% 1-メキシ-2-ピロパノール 8.3w% イソブチルアルコール 8.3w% トルエン 6.8w% 裏面【その他の情報】に続きを記載		MSDSがある場合、CAS No. イソプロピルアルコール 67-63-0 VM&Pナフサ 68410-97-9 軽石油ナフサ 64742-89-8 1-メキシ-2-ピロパノール 107-98-2 イソブチルアルコール 78-83-1 トルエン 108-88-3 裏面【その他の情報】に続きを記載		
	<input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)					
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
	5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当) 委託する廃棄物の該当・非該当 (該当)・非該当 ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 トルエン					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(48.9 °C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(溶接系) 色(濃い青) 比重(0.852) pH(なし) 沸点(°C) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(13oz缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (56) kg・t・ℓ・m3・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 ・漏れ、あふれ、飛散を防ぎ蒸気を発散させない。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・皮膚刺激・眼刺激あり。 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 主成分 及び CAS No.
 Stoddard ソルベント 3.2w% 8052-41-3
 キシレン 1w% 1330-20-7
 ジノニルナフタレンスルホン酸バリウム 1.1w% 25619-56-1
 カーボン ジオキサイド 3.0w% 124-38-9

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

製品安全データシート

製品及び製造者情報

製造者
 製品名 : 防せいスプレー, タイプ I (No.0944-000)
 会社名 : LHB Industries
 住所 : 8833 Fleischer Place, Berkeley, MO 63134
 連絡先 : 314-423-4333
 改定日 : 2022年3月15日

4.3.

販売元

会社名 : 株式会社 クロサカ
 住所 : 〒101-0051
 東京都千代田区神田神保町1丁目27番地7
 電話番号 : 03-3291-0016
 FAX番号 : 03-3291-0015

防錆剤, 8059 91701

組成、成分情報

化学分類 : 防錆剤

化学名(成分名)	含有量(重量比)	CAS No.	官報公示整理番号
イソプロピルアルコール	16.5%	67-63-0	2-207
VM&Pナフサ	16.5%	68410-97-9	-
軽石油ナフサ	7.7%	64742-89-8	-
1-ノキシ-2-プロパノール	8.3%	107-98-2	2-404
イソブチルアルコール	8.3%	78-83-1	2-3049
トルエン	6.8%	108-88-3	3-2
Stoddard ソルベント	3.2%	8052-41-3	-
キシレン	1.0%	1330-20-7	-
ジニルナフタレンスルホン酸バリウム	1.1%	25619-56-1	4-475
カーボン ジオキサイド	3.0%	124-38-9	-

国連分類 : クラス 2.1
 国連番号 : UN1950
 PRTR法 : トルエン
 種別 : 第1種
 施行令の号番号 :

危険有害性の要約

GHS分類 : 下記のとおり
 最重要危険有害性 : 引火性液体。高圧ガス、加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。
 特定の危険性 : 消防法危険物 第4類第2石油類(水溶性液体)
 暴露による影響 : 目、皮膚、呼吸系に刺激がある。
 神経系の衰弱を引き起こす恐れがある。
 過度の暴露の場合、気絶および死亡する恐れがある。
 暴露における具体的な症状 : 蒸気、ミストを吸引した場合、頭痛、めまい、吐き気、統合失調を引き起こす恐れがある。
 皮膚への接触または目に入った場合、かゆみや強い刺激を感じる恐れがある。

GHSラベル要素



応急措置

皮膚に付いた場合 : 付着した箇所を石鹸と水で洗ってください。
 目に入った場合 : すぐに目を大量の水で15分間洗浄してください。その後医師の診断を受けてください。
 吸入した場合 : きれいな空気のある場所に移動してください。
 飲み込んだ場合 : 呼吸が止まった場合、人工呼吸をしてください。医師の診断を受けてください。
 吐き出し : 吐き出しを促さないでください。すぐに医師の診断を受けてください。

火災時の措置

消火方法 : 適切な消火方法に基づいて消火をしてください。
 消火剤 : 泡、二酸化炭酸、ドライケミカル

漏出時の措置

身体措置 : 吸引を避けてください。換気をしてください。
 環境措置 : 着火源となるものを取り除いてください。除去作業の際にも着火の原因となる工具を使用しないでください。
 油専用吸収剤を使用してください。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い : 火花や炎等の着火源になるものの近くでの使用を避けてください。
 使用時または使用後は、部屋を換気してください。
 容器に穴を開けないでください。
 48.8°C以上の温度に曝さないでください。
 飲みこまないでください。
 保管 : 子どもの手が届くところに置かないでください。
 48.8°C以上の温度の場所に保管しないでください。

暴露防止及び保護装置

設備対策 : 使用される場所に人がいる場合、適正な換気設備を設ける。
 保護具 : 密閉されていたり、換気ができないような場所で本製品を使用する際は、フィルター付きの人工呼吸器を着用してください。
 ・呼吸保護具 : 保護眼鏡を着用してください。
 ・保護眼鏡 : 耐薬性手袋を着用してください。
 ・保護手袋 :

物理的及び化学的性質(内溶液)

外観	: 濃い青		
蒸気密度	: 空気より重い		
比重	: 0.852		
臭気	: 溶剤系		
溶解度 水	: 水溶性		
蒸気圧	: データなし		
Ph	: 設定なし		
	内溶液	噴射剤 (CO2)	
引火点	: 48.9°C	-	
発火点	: データなし	-	
爆発限界	: データなし	-	

安全性及び反応性

安定性	: 安定
反応性	: 知見なし
重合	: しない
他の物質との不適合性	: 強酸化物、酸化物
危険有害な分解生成物	: 二酸化炭素と一酸化炭素

有害性情報

急性毒性	: 108-88-3 トルエン LD50(ラット経口) 5000mg/kg
	: 107-98-2 1-メキシ-2-プロパノール LD50(ラット経口) 6600mg/kg

環境影響情報

有用な情報なし。

廃棄上の注意

- 燃やさないでください。廃棄する前に、容器は空にする。
- 廃棄処理方法は、廃棄物の処理及び清掃に関する法規に従って処理を行うか、委託をする。

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意事項による他、エアゾール製品の一般的な注意による。
 国連分類 : クラス 2.1
 国連番号 : UN1950
 パッキンググループ : なし

適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR法) : -
 労働安全衛生法 : -

危険物(引火性高压ガス)

8032-32-4	政令名称:石油エーテル 法律又は政令番号等:政令第18条の2別表第9の329
8030-30-6	政令名称:石油ナフサ 法律又は政令番号等:政令第18条の2別表第9の330
107-98-2	政令名称:プロピレンジリコールモノメチルエーテル 法律又は政令番号等:政令第18条の2別表第9の496
78-83-1	政令名称:ブタノール 法律又は政令番号等:政令第18条の2別表第9の477
108-88-3	政令名称:トルエン 法律又は政令番号等:政令第18条の2別表第9の407
71-36-3	政令名称:ブタノール 法律又は政令番号等:政令第18条の2別表第9の477

消防法 : 危険物 第4類第2石油類(水溶性液体)
 高压ガス保安法 : 高压ガス保安法施行令(平成9年政令第20号)第2条第3項第8号及び平成9年3月通商産業省告示第139号高压ガス保安法施行令関係告示第4条第3号に定められた基準に合致している。

船舶安全法 : 危険物船舶運送及び貯蔵規則 国連番号1950 等級2.1

航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1 国連番号1950 分類2.1

	等級1	容器及び包装等	許容質量又は許容容量
旅客機	2.1	203	75kg
旅客機以外の航空機	2.1	203	150kg

その他の情報

- 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
- 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえお取扱い願います。
- この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒 300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	防錆剤 透明非粘着性皮膜					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	ナフテン系基油 50w%~70w%			MSDSがある場合、CAS No.	
	他	石油スルホン酸カルシウム 05w%~15w% ペトロラタム 01w%~05w% 石油スルホン酸ナトリウム 00~05w% 中沸点脂肪族ナフサ 00~05w%			ナフテン系基油 64742-52-5 石油スルホン酸カルシウム 68783-96-0 ペトロラタム 64743-01-7 裏面【その他の情報】に続きを記載	
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ					
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
	6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・ 非該当)、委託する廃棄物の該当・ 非該当 ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。				
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	<input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
<input type="checkbox"/> 硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) <input type="checkbox"/> ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) <input type="checkbox"/> 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) <input type="checkbox"/> 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) <input type="checkbox"/> ホウ素 (×) その他 (×)						

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(65°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(石油臭) 色(褐色) 比重(0.91) pH() 沸点(148°C) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭・なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(0.826GAL) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (43) kg・t・kg・m ³ ・本・缶・袋・(個) / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱い際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 ・漏れ、あふれ、飛散を防ぎ蒸気を発散させない。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いうように積み込み荷崩れ防止を確実に言う。 有害性情報 ・皮膚刺激・眼刺激あり。 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】その他の情報

- ・サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部有・**サンプル無**・写真有)

CAS-No(項目3続き)

石油スルホン酸ナトリウム 68608-26-4
中沸点脂肪族ナフサ 64742-88-7

- ・産業廃棄物の発生工程等

「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。工程図への記入でも可。

(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

＜排出事業者及び処理業者内容確認欄＞

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

＜変更履歴＞

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

製品安全データシート (MSDS)

5.2.20

〔製造者情報〕 製造者 ESGARD, INC.
 515 DEBONNAIRE ROAD SCOTT, LA 70583
 TEL No. 1-337-234-6327
 輸入者 株式会社 クロサカ
 住所 東京都千代田区神田神保町一丁目 27 番地 7
 電話番号: 03-3291-0016 FAX番号: 03-3291-0015
 作成・改訂日: 2020年3月3日

1536

〔製品の特定〕 製品名: ESGARD PL-4.2
 (HYDROCARBON COMPLEX)炭化水素系合成物
 自衛隊品名 防錆剤, 透明非粘着性皮膜
 製品説明 種類: 防錆剤
 主な用途: 航空機用防錆剤透明非粘着性皮膜

〔組成、成分情報〕

単一製品・混合物の区別: 合成物(混合物)

主な成分		CAS No	%byWeight
: 中沸点脂肪酸ナフサ		64742-88-7	00~05%
: 石油スルホン酸ナトリウム		68608-26-4	00~05%
: ペトラタム		64743-01-7	01~05%
: 石油スルホン酸カルシウム		68783-96-0	05~15%
: ナフテン系基油		64742-52-5	50~70%

化学式又は構造式 特定できない
 毒物及び劇薬取締法 該当しない
 PRTR法 該当しない

〔危険有害性の要約〕

GHS分類 主な有害性は下記のとおり
 : 引火性液体、急性毒性物質
 (分類基準) 爆発性物質、高圧ガス、引火性液体、可燃性液体、自然発火性物質、禁水性物質、酸化性物質、自己反応性物質、その他有害性物質
 危険性 : 消防法危険 (第4類第2石油類) に該当する可燃性のある液体。
 蒸気は空気より重く、低所に滞留して爆発性混合ガスを作ることがある。
 有害性 : データなし
 環境影響 : データなし

GHSラベル要素



〔応急措置〕

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。洗眼時には、こすらずにまぶたを指でよく開き、眼球、まぶたの隅々までよく洗浄する。
 もし異常があれば医師の診察を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 触れた部分を水またはぬるま湯でよく洗い流す。もしあれば、石鹸を使用のこと。
 甚だしく汚染させた衣服及び靴は脱ぎ、洗濯してから再使用する。

- 触れた部分の外観に変化があるか、痛みが続く場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、身体を毛布等で覆い保温して安静に保ち、異常があれば医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させたりせずに速やかに医師の診察を受ける。

[火災時の処置]

- 消火方法 : 可能な限り風上から消火剤を使用して消火する。消火剤に霧状の水を使用する場合は、貯蔵容器に直接の噴霧を避ける(突沸の危険があるため)。
- 消火剤 : 泡、粉末、炭酸ガス、霧状の水(大規模火災時は注水により火災を拡大する恐れあり。また、消火剤に棒状の水を用いてはならない。)

[漏出時の措置]

- 大量の場合 : 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止し、付近の着火源となるものを速やかに取り除く。盛土等で囲って流出を防ぎ、できるだけ多くバケツ、ポンプ(防爆型ポンプあるいはハンドポンプ)等で回収する。作業の際には必ず保護具を着用する。
- 少量の場合 : 砂または土などの適切な吸収材で吸収させて空容器に回収する。このとき吸収材にウエス、オガクスの可燃性物質を使用しない。作業の際には保護具を着用する。

[取扱い及び保管上の注意]

- 取扱い : 火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。皮膚に触れないよう、目に入らないよう、また蒸気を吸入しないよう注意する。必要に応じ保護具を着用する。
- 保管 : 漏洩を防止し、着火源から離して保管する(可燃性のため)。また、直射日光をさけ密栓して冷暗所かつ凍結しない場所に保管する(変質するため)。異物の混入防止のため使用後は密栓をしておく。
- その他 : 消防法などの法令の定めるところに従う。

[暴露防止及び保護措置]

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : ミネラルスピリット
日本産業衛生学会(1993年版) 規定なし
ACGIH : TWA 100ppm or 525mg/m³ (stoddard solvent)
- 設備対策 : 屋内作業所での使用時は蒸気の発生源を密閉化あるいは、局所排気または全体排気装置の設置が望ましい。取扱場所の近くに安全シャワー、手洗いの設備を設け、その位置を明示する。
- 保護具 : 状況に応じて下記保護具を使用する。
- 呼吸用保護具 : 必要に応じて送気マスクまたは有機ガス用マスクを着用する。
- 保護眼鏡 : 飛沫が飛ぶ場合はゴーグル型眼鏡又は防災面を着用する。
- 保護手袋 : 長時間又は繰り返し接触する場合は、耐油性保護手袋を着用する。
- 保護衣服 : 長時間にわたって取り扱う場合又は濡れる場合には、耐油性の長袖作業衣を着用する。濡れた衣類は直ちに脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。
- その他 : スリッパ防止効果の高い安全靴を着用する。

[物理的及び化学的性質]

- 外観 : 褐色液状
- 臭気 : 石油臭
- 密度 : 0.91 g/cm³
- 沸点 : 148℃
- 引火点 : 65℃ (PMCC)

爆発限界

上限：データなし

下限：データなし

〔安定性及び反応性〕

酸化性	: なし
自己反応性・爆発性	: なし
粉じん爆発性	: なし
可燃性	: あり
発火性（自然発火性、水との反応性）	: なし
科学的安定性	: 通常の状態では安定。ただし強酸化剤との接触は避ける

〔有害性情報〕

眼に入った場合	: 刺激の恐れあり
皮膚に付着した場合	: 長期又は繰り返し接触すると、刺激を生じ、皮膚炎をおこすこともある。すでに皮膚炎になっている場合に接触すると皮膚炎が悪化することがある。
吸入した場合	: 高濃度の蒸気／エアゾールは、呼吸器官を刺激し、頭痛、めまい、麻酔性、眠気、意識不明、中枢神経系への影響、脳損傷が起きることがあり、死に至ることも有り得る。
飲み込んだ場合	: ごくわずかな毒性がある。誤って飲み込んだりまたは吐き出したりする際、呼吸器系に吸入された少量の液体が、中度から重度の肺損傷を起こすことがあり、死に至ることも有り得る。
急性毒性	: データなし
発ガン性	: データなし

〔環境影響情報〕

生分解性	: データなし
蓄積性	: データなし
魚毒性	: データなし

〔廃棄上の注意〕

残余廃棄物、廃容器は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適正に処理する。
残余廃棄物は事業者が自ら処理するか、又は都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理をする。
廃容器に圧力をかけると破裂することがある。廃容器は溶接、加工、穴あけ、又は切断を行うと、爆発を伴って残留物が破裂することがあるので注意する。

〔輸送上の注意〕

容器に漏れあるいはその恐れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。取扱い及び保管上の注意事項の記載による他、該当法規に従って貯蔵、取扱い、荷造り、包装、運送を行うこと。

陸上輸送	: 消防法、危険物第4類第2石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ
海上輸送	: 船舶安全法 危険物（高引火性液体）
航空輸送	: 航空法 危険物（高引火性液体）
国連分類	: クラス3（引火性液体、PG3）
国連番号	: 1993

〔適用法令〕

労働安全衛生法	: 有機溶剤中毒予防規則 第3種有機溶剤等 : 通知物質（法57条2）含有 : 引火性の物
消防法	: 危険物第4類第2石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ
PRTTR法	: 対象物質含無
海洋汚染防止法	: 油分排出規則（原則禁止）

〔その他の情報〕

- 引用文献 : 1. 許容濃度の勧告 (1993) 日本産業衛生学会 産業医学 35 巻 P323-367
2. Thresholds limit values for chemical substances and physical agent and biological exposure indices, ACGIH (1997)

この情報は新しい知見に基づき改正されることがあります。

記載情報は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理・化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため取り扱いには細心の注意が必要です。また、注意事項は通常の手続きを対象としたものであるため、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

〔記載内容の問い合わせ先〕

住 所 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目 27 番地 7
株式会社 クロサカ
電話番号 : 03-3291-0016
FAX番号 : 03-3291-0015

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	アクリルニトロセルロース系ラッカー用シンナー					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	酢酸n-ブチル 45% トルエン 45% 他 2-ブトキシエタノール 5% キシレン(異性体混合物) 3% エチルベンゼン 2%			MSDSがある場合、CAS No. 酢酸n-ブチル 123-86-4 トルエン 108-88-3 2-ブトキシエタノール 111-76-2 キシレン(異性体混合物) 1330-20-7 エチルベンゼン 100-41-4	
	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) シクロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (△) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当)・非該当 ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 エチルベンゼン、キシレン、トルエン					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約16℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他(生殖毒性、特定標的臓器/全身毒性)
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(特有臭) 色(無色、透明) 比重(0.857) pH(データ無し) 沸点(122℃) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(4L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット) 継続予定) (5) kg・t・ℓ・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実に行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 **サンプル無** ・ 写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

初版作成日：2023/01/12

安全データシート

5.1.30

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：アクリルニトロセルロース系ラッカー用シンナー 4L

製品番号 (SDS NO)：k0938-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：工業用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：新日本化学工業株式会社

住所：千葉県香取郡多古町十余三385-140

電話番号：0479-75-2791

FAX：0479-75-2796

155

ワカカ

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分に該当しない

急性毒性(経皮)：区分に該当しない

急性毒性(吸入)：区分 3

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 2

生殖毒性：区分 1A

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響：追加区分

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

誤えん有害性：区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有毒

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

授乳中の子に害を及ぼすおそれ
臓器の障害
臓器の障害のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合:指定された消火剤を使用すること。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
無理に吐かせないこと。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
酢酸n-ブチル	45	123-86-4	2-731
2-ブトキシエタノール	5	111-76-2	7-97; 2-407; 2-2424
トルエン	45	108-88-3	3-60; 3-2
キシレン(異性体混合物)	3	1330-20-7	3-3; 3-60
エチルベンゼン	2	100-41-4	3-28; 3-60

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酢酸n-ブチル, 2-ブトキシエタノール, トルエン, キシレン(異性体混合物), エチルベンゼン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酢酸n-ブチル, 2-ブトキシエタノール, トルエン, キシレン(異性体混合物), エチルベンゼン

化管法(令和5年3月31日まで有効)「第1種指定化学物質」該当成分

トルエン, キシレン(異性体混合物), エチルベンゼン

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 関係者以外は近づけない。
- 適切な保護具を着用する。
- 着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- 下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
- 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
- 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

- 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。

(注意事項)

- 皮膚に触れないようにする。
- 眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

- 強酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策

- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

- (酢酸n-ブチル)

作業環境評価基準(2012) <= 150ppm
 (2-ブトキシエタノール)
 作業環境評価基準(1995) <= 25ppm
 (トルエン)
 作業環境評価基準(2009) <= 20ppm
 (キシレン(異性体混合物))
 作業環境評価基準(2004) <= 50ppm
 (エチルベンゼン)
 作業環境評価基準(2012) <= 20ppm

許容濃度

(酢酸n-ブチル)
 日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m3
 (2-ブトキシエタノール)
 日本産衛学会(2017) (最大許容濃度) 20ppm; 97mg/m3 (皮)
 (トルエン)
 日本産衛学会(2013) 50ppm; 188mg/m3 (皮)
 (キシレン(異性体混合物))
 日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m3
 (エチルベンゼン)
 日本産衛学会(2020) 20ppm; 87mg/m3 (皮)
 (酢酸n-ブチル)
 ACGIH(2016) TWA: 50ppm;
 STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)
 (2-ブトキシエタノール)
 ACGIH(2003) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激)
 (トルエン)
 ACGIH(2020) TWA: 20ppm (中枢神経系, 視覚, & 聴覚障害; 女性生殖系影響; 流産)
 (キシレン(異性体混合物))
 ACGIH(2021) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)
 (エチルベンゼン)
 ACGIH(2021) TWA: 20ppm (上気道及び眼刺激; 聴覚毒性; 腎臓影響; 中枢神経系障害)

特記事項

(トルエン)
 聴力障害
 (キシレン(異性体混合物))
 聴力障害
 (エチルベンゼン)
 聴力障害

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。
 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色、透明

臭い：特有臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：122°C

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点：16°C

自然発火点データなし

分解温度データなし

自己促進分解温度/SADTデータなし

pHデータなし

動粘度データなし

動粘性率：動粘性率が20.5mm²/s 以下

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度データなし

溶媒の溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

密度及び/又は相対密度：0.875g/cm³(20°C)

相対ガス密度(空気=1)データなし

20°Cでの蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

その他のデータ

臨界温度データなし

蒸発速度データなし

VOCデータなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(2-ブトキシエタノール)

rat LD50=470mg/kg, 917mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(キシレン(異性体混合物))

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500-4700mg/kg (AICIS IMAP, 2020)

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(2-ブトキシエタノール)

rabbit LD50=220mg/kg (ATSDR, 1998)

(キシレン(異性体混合物))

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

(エチルベンゼン)

rabbit LD50=15400mg/kg (ACGIH, 2011)

急性毒性(吸入)

[製品]

区分 3, 吸入すると有毒

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(2-ブトキシエタノール)

vapor: rat LC50=450ppm/4hr (SIDS, 2007)

(トルエン)

vapor: rat LC50=3319-8800ppm/4hr (EU-RAR, 2003) et al.

(キシレン(異性体混合物))

vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由書, 2020)

mist: rat LC50=55mg/L/2hr (換算値: 27.5mg/L/4hr) (MOE初期評価, 2015)

労働基準法: 疾病化学物質

酢酸n-ブチル; キシレン(異性体混合物); トルエン

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(2-ブトキシエタノール)

ラビット 刺激性 (SIDS, 2006)

(トルエン)

ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003)

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸n-ブチル)

ラビット 48時間後に回復 (SIDS, 2009)

(2-ブトキシエタノール)

ラビット (OECD TG405, GLP) 21日後に回復 (ECETOC TR95, 2005)

(トルエン)

ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003)

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

ラビット 軽度の刺激 (NITE初期リスク評価書, 2007 et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

(トルエン)

発がん性

[製品]

区分 2, 発がんのおそれの疑い

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000 et al.)

[IARC]

(2-ブトキシエタノール)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(トルエン)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(キシレン(異性体混合物))

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(エチルベンゼン)

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]

(2-ブトキシエタノール)

A3(2003) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(トルエン)

A4(2020) : ヒト発がん性因子として分類できない

(キシレン(異性体混合物))

A4(2021) : ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

A3(2021) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[日本産衛学会]

(エチルベンゼン)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

生殖毒性。

[製品]

区分 1A, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

追加区分, 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(2-ブトキシエタノール)

cat. 2; rat : SIDS, 2006

(トルエン)

cat. 1A; NITE初期リスク評価書 87, 2006

(トルエン)

cat. add; SIDS(J), Access on Apr. 2012

(キシレン(異性体混合物))

cat. 1B; ATSDR, 2007

(エチルベンゼン)

cat. 1B; 産衛学会許容濃度等の勧告, 2021; ACGIH 7th, 2011 et al.

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 2, 臓器の障害のおそれ

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(2-ブトキシエタノール)

血液系、肝臓、呼吸器、腎臓 (SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)

(トルエン)
 中枢神経系 (IARC 47, 1989; IRIS tox. Review, 2005)
 (キシレン(異性体混合物))
 肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓 (NITE有害性評価書, 2008)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]
 (酢酸n-ブチル)
 気道刺激性 (CICAD 64 2005)
 (トルエン)
 気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)
 (エチルベンゼン)
 気道刺激性 (ACGIH, 2011; AICIS IMAP, 2020)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]
 (酢酸n-ブチル)
 麻酔作用 (CICAD 64 2005)
 (2-ブトキシエタノール)
 麻酔作用 (SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)
 (トルエン)
 麻酔作用 (EHC 52, 1985; IARC 47, 1989)
 (キシレン(異性体混合物))
 麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)
 (エチルベンゼン)
 麻酔作用 (ACGIH, 2011)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
 区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]
 (2-ブトキシエタノール)
 血液系 (SIDS, 2007; CICAD 67, 2010)
 (トルエン)
 中枢神経系、腎臓 (産業医学 36巻, 1994)
 (キシレン(異性体混合物))
 神経系、呼吸器 (NITE有害性評価書, 2008)
 (エチルベンゼン)
 聴覚器、神経系 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 2020)

誤えん有害性

[製品]

区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]
 (トルエン)
 cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.86 mm²/s (40°C)
 (キシレン(異性体混合物))
 cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm²/s (25°C) (HSDB, 2014)
 (エチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.63 mm²/s (40°C) (CLH Report, 2010)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性

区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[製品データ]

データなし

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(酢酸n-ブチル)

魚類 (ファットヘッドミノール) LC50=18mg/L/96hr (CICAD 64, 2005)

(2-ブトキシエタノール)

魚類 (シープスヘッドミノール) LC50=116mg/L/96hr (環境省リスク評価第6巻, 2008, 他)

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2006)

(キシレン(異性体混合物))

魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(エチルベンゼン)

甲殻類 (バイシュリンブ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2007)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) NOEC=0.74mg/L/7days (NITE初期リスク評価書, 2006)

(エチルベンゼン)

甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第13巻, 2015)

水溶解度

(酢酸n-ブチル)

0.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(2-ブトキシエタノール)

混和する (ICSC, 2003)

(トルエン)

溶けない (ICSC, 2002)

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)

残留性・分解性

[成分データ]

(酢酸n-ブチル)

急速分解性あり (BODによる分解度: 98%, SIDS, 2009)

(2-ブトキシエタノール)

BODによる分解度: 96% (既存点検)

(トルエン)

BODによる分解度: 123% (既存点検)

(キシレン(異性体混合物))

急速分解性なし (BODによる分解度: 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

(エチルベンゼン)

急速分解性なし (良分解性: 標準法におけるBODによる分解度: 0% (通産省公報, 1990))

生体蓄積性

[成分データ]

(酢酸n-ブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)
 (2-ブトキシエタノール)
 log Pow=0.83 (PHYSPROP DB, 2005)
 (トルエン)
 log Kow=2.73 (PHYSPROP DB, 2008)
 (キシレン(異性体混合物))
 log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)
 (エチルベンゼン)
 log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料又は塗料関連物質

分類または区分 : 3

容器等級 : II

指針番号: 128

特別規定番号 : 163; 367

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)

エチルベンゼン; 2-ブトキシエタノール; キシレン(異性体混合物); 酢酸n-ブチル; トルエン

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

エチルベンゼン

- 有機則 第25条第1項第2種有機溶剤(特化則第38条の8)
- 有機則 第2種有機溶剤等
 - 酢酸n-ブチル; 2-ブトキシエタノール; トルエン; キシレン(異性体混合物)
- 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
- 名称表示危険/有害物
 - 酢酸n-ブチル(別表第9の181); 2-ブトキシエタノール(別表第9の79); トルエン(別表第9の407);
 - キシレン(異性体混合物)(別表第9の136); エチルベンゼン(別表第9の70)
- 名称通知危険/有害物
 - 酢酸n-ブチル(別表第9の181); 2-ブトキシエタノール(別表第9の79); トルエン(別表第9の407);
 - キシレン(異性体混合物)(別表第9の136); エチルベンゼン(別表第9の70)
- 別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)
 - 危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)
- 健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)
 - エチルベンゼン
- 化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)
 - 第1種指定化学物質
 - エチルベンゼン(2.0%);
 - キシレン(3.0%);
 - トルエン(45%)
- 消防法
 - 危険物
 - 第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)
- 化審法
 - 優先評価化学物質
 - トルエン(政令番号46 人健康影響/生態影響); エチルベンゼン(政令番号50 人健康影響/生態影響);
 - 2-ブトキシエタノール(政令番号109 人健康影響); キシレン(異性体混合物)(政令番号125 人健康影響)
- 悪臭防止法
 - トルエン
 - 政令番号16: 敷地境界線許容限度 10 - 60 ppm
 - キシレン(異性体混合物)
 - 政令番号18: 敷地境界線許容限度 1 - 5 ppm
- 大気汚染防止法
 - 有害大気汚染物質
 - キシレン(異性体混合物)(中環審第9次答申の43)
 - エチルベンゼン(中環審第9次答申の24)
 - 有害大気汚染物質/優先取組
 - トルエン(中環審第9次答申の141)
- 水質汚濁防止法
 - 指定物質
 - トルエン
 - 法令番号 25
 - キシレン(異性体混合物)
 - 法令番号 28
- 化学安全性評価
 - 本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
 IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
 IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の見取りを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処 所属 朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒 300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47	担当者 巻島 直隆 TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	外部用フタル酸樹脂エナメル(半つや)2811黒(1)16Kg		
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	ミネラルスピリット 20-25% 1,2,4-トリメチルベンゼン 8.7% 1,3,5-トリメチルベンゼン 3.1% 他 ノナン 1-5% 酸化チタン(IV) 5-10% キシレン(異性体混合物) 0.1-1%	MSDSがある場合、CAS No. ミネラルスピリット 8052-41-3 1,2,4-トリメチルベンゼン 95-63-6 1,3,5-トリメチルベンゼン 108-67-8 ノナン 111-84-2 酸化チタン(IV) 13463-67-7 キシレン(異性体混合物) 1330-20-7
	裏面【その他の情報】に続きを記載		裏面【その他の情報】に続きを記載
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器)		
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)		
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) シクロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (△) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (△) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)		
	6 PRTR対象物質 届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当) 非該当 ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 1,2,4-トリメチルベンゼン 8.7% 1,3,5-トリメチルベンゼン 3.1%		
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)		
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン		
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)		
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (○) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)		

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約36℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(非水溶性液体)・臭い(溶剤臭)・色(黒色)・比重(1.18) pH() 沸点(130~230 °C)・融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 ・なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(16L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (2) kg・t・% m ³ ・本・缶・袋・個 /年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 主成分 及び CAS No.

エチルベンゼン 0.1-1% 100-41-4
 トリメチルベンゼン(混合物) 1-5% 25551-13-7
 クメン 0.1-1% 98-82-8
 酸化亜鉛 0.1-1% 1314-13-2
 カーボンブラック 1-5% 1333-86-4
 メチルエチルケトンオキシム 0.1-1% 96-29-7

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

作成日: 2006年10月04日
改訂日: 2021年01月14日

安全データシート

カナエ 4.2.2

1. 化学品及び会社情報

製品名 :外部用フタル酸樹脂エナメル（半つや） 2811黒(1)
製品種類:アルキド樹脂塗料
推奨用途 :鉄鋼構造物用、その他
会社名 :カナエ塗料株式会社
住所 :〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1-6-13
担当部署 :環境安全課
電話 :06-6961-2263
FAX :06-6961-0861
E-mail :qa@kanaepaint.co.jp
製品番号(SDS NO) :059774G-5

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 2

生殖毒性:区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性):区分 2

水生環境有害性(長期間):区分 2

(註)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざける。一禁煙。

容器を密閉する。

容器を接地する/アースをとる。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。
 火花を発生させない工具を使用する。
 静電気放電に対する予防措置を講ずる。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
 環境への放出を避ける。
 保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 指定された個人用保護具を使用する。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
 漏出物を回収する。
 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡する。
 飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗う。
 皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡する。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受ける。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受ける。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受ける。
 水はリスクを増大させる。火災に際しては指定された消火剤を使用する。

貯蔵

施錠して保管する。
 日光から遮断する。
 換気の良いところで保管する。容器を密閉する。
 換気の良いところで保管する。涼しい所に置く。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
 アレルギー症状を引き起こす恐れがある物質を含有している。
 塗膜を研磨する場合は、粉塵を吸い込まないように注意すること。

環境影響

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。
 塗料かす、スプレーダスト、清掃等に使用したウエスなどは、空気中で酸化し、発熱、蓄熱すると自然発火する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
ノナン	1 - 5	111-84-2	-
酸化チタン(IV)	5 - 10	13463-67-7	-
キシレン(異性体混合物)	0.1 - 1	1330-20-7	1-080
ミネラルスピリット	20 - 25	8052-41-3	-
エチルベンゼン	0.1 - 1	100-41-4	1-053
トリメチルベンゼン(混合物)	1 - 5	25551-13-7	-
1,2,4-トリメチルベンゼン	8.7	95-63-6	1-296

1,3,5-トリメチルベンゼン	3.1	108-67-8	1-297
クメン	0.1 - 1	98-82-8	1-083
酸化亜鉛	0.1 - 1	1314-13-2	-
カーボンブラック	1 - 5	1333-86-4	-
メチルエチルケトンオキシム	0.1 - 1	96-29-7	-

・製品中に1%以上(特定第1種の場合は0.1%以上)含有する化学物質管理促進法(PRTR法)対象指定化学物質(化合物と指定されている場合は当該元素に換算)は、その含有量を有効数字上位2桁で表示する。政令番号欄には、種-号番号を示す。なお、第2種指定化学物質は含有していない。

・混合溶剤(ミネラルスピリット、芳香族ナフサ等)に含有する1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン、クメン、キシレン、エチルベンゼン、ナフタレン等については含有量が一定していないので代表値(閾値以上の場合)を示す。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」又は「通知すべき有害物」該当成分

ノナン、酸化チタン(IV)、キシレン(異性体混合物)、ミネラルスピリット、エチルベンゼン、トリメチルベンゼン(混合物)、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン、カーボンブラック、酸化亜鉛、クメン

化管法「指定化学物質」該当成分

1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
溶剤、シンナーを使用してはならない。
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
多量の水と石鹸で洗う。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受ける。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
嘔吐物を飲み込ませてはならない。
負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

不適切な消火剤

水を使用してはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒なCO、NOx、低分子モノマー等を生成する。

特有の消火方法

安全に対処できるのであれば、可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。
消火活動は風上から行う。

消火を行う者の保護

適切な保護具(耐熱着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する

屋内では換気をしっかり行う。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

環境に対する注意事項

河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をすること。

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。

二次災害の防止策

漏出物を回収する。

付近の着荷源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

指定された個人用保護具を使用する。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。一禁煙。

容器を接地する/アースをとる。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。

火花を発生させない工具を使用する。

静電気放電に対する予防措置を講ずる。

使用済みウエス、塗料カス、スプレーダストや製品が付着した紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。

容器はその都度密栓する。

作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用する。

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

取扱い後は、手・顔等によく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

施錠して保管する。

換気の良い場所で保管する。容器を密閉する。

換気の良い場所で保管する。涼しい所に置く。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

子供の手の届かないところに保管する。

避けるべき保管条件

日光から遮断する。

8. ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(キシレン(異性体混合物))
作業環境評価基準(2004) <= 50 ppm

(エチルベンゼン)
作業環境評価基準(2012) <= 20 ppm

許容濃度

(エチルベンゼン)
日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m3

(酸化亜鉛)
日本産衛学会(1969) under study

(ノナン)
日本産衛学会(1989) 200ppm; 1050mg/m3

(1,3,5-トリメチルベンゼン)
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m3

(キシレン(異性体混合物))
日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m3

(1,2,4-トリメチルベンゼン)
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m3

(ノナン)
ACGIH(2011) TWA: 200ppm (中枢神経系損傷)

(ミネラルスピリット)
ACGIH(1980) TWA: 100ppm (眼, 皮膚および腎臓障害; 吐気; 中枢神経系損傷)

(キシレン(異性体混合物))
ACGIH(1992) TWA: 100ppm
STEL: 150ppm (上気道および眼刺激; 中枢神経系損傷)

(酸化亜鉛)
ACGIH(2001) TWA: 2mg/m3(R)
STEL: 10mg/m3(R) (金属ヒューム熱)

(トリメチルベンゼン(混合物))
ACGIH(1970) TWA: 25ppm (中枢神経系損傷, 喘息, 血液影響)

(酸化チタン(IV))
ACGIH(1992) TWA: 10mg/m3 (下気道刺激)

(カーボンブラック)
ACGIH(1985) TWA: 3.5mg/m3

(クメン)
ACGIH(1997) TWA: 50ppm (眼, 皮膚および上気道刺激; 中枢神経系損傷)

(エチルベンゼン)
ACGIH(2010) TWA: 20ppm
(上気道刺激; 腎臓障害; 渦巻管損傷)

設備対策

取り扱い設備は防爆型を使用する。
排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
液体の輸送、汲み取り、攪拌の装置についてはアースを取れるように設備すること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
タンク内部等の密閉箇所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。
取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。

保護具

呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスクを着用すること。
密閉された場所では送気マスクを着用すること。

手の保護具

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

取り扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

汚染された衣類を脱ぐ。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 :非水溶性液体

色 :黒色

臭い :溶剤臭

pH :知見なし

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 :130~230°C

融点/凝固点 :知見なし

分解温度 :知見なし

引火点 :36.0°C

自然発火温度 :知見なし

爆発特性 :引火又は爆発範囲

下限 :0.6vol %

上限 :8.0vol %

蒸気圧 :知見なし

蒸気密度 :知見なし

比重/密度 :1.18g/cm³

n-オクタノール/水分配係数 :知見なし

放射性 :知見なし

かさ密度 :知見なし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

樹脂成分は空気中で酸化し、発熱、蓄熱される条件があると自然発火する恐れがある。

燃焼により、CO、NO_x、低分子モノマー等の有害性ガスが発生する。

混触危険物質

接触により危険性のある物質については、特に情報を有していない。

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関連した症状

急性毒性

日本公表経口毒性成分データ

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500 mg/kg (EHC 186, 1996)

(キシレン(異性体混合物))

rat LD50=3500 mg/kg (環境省リスク評価第1巻, 2002)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

female rat LD50=5000 mg/kg (RTECS, 2008)

(メチルエチルケトンオキシム)

male rat LD50=930 mg/kg (SIDS, 2008)

(クメン)

rat LD50 =2700 mg/kg (EU-RAR, 2001)

経皮毒性成分データ

(メチルエチルケトンオキシム)
rabbit LD50=1000 mg/kg (SIDS (J), 2008)

吸入毒性成分データ

(エチルベンゼン)
vapor : rat LC50=4000 ppm (ATSDR, 1999)
(ノナン)
vapor : rat LC50 =3200 ppm/4hr (ACGIH 7th, 2001)
(クメン)
vapor : rat LC50=2000 ppm/4hr (DFGMAK-Doc.13, 1999)

労働基準法 疾病化学物質

キシレン(異性体混合物)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

皮膚腐食性/刺激性成分データ

(クメン)
ラビット 10 mg/24H open ; MILD
(キシレン(異性体混合物))
ラビット 500 mg/24H ; MODERATE
(酸化亜鉛)
ラビット 500 mg/24H ; MILD ラビット 500 mg/24H ; MILD
(酸化チタン(IV))
ヒト 0.3mg/3D-I ; MILD
(エチルベンゼン)
ラビット 15 mg/24H open ; MILD

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

(クメン)
ラビット 86 mg ; MILD
(キシレン(異性体混合物))
ラビット 87 mg ; MILD ラビット 5 mg/24H ; SEVERE
(酸化亜鉛)
ラビット 500 mg/24H ; MILD

感作性

皮膚感作性成分データ

(メチルエチルケトンオキシム) IUCLID, 2000

生殖細胞変異原性データなし

催奇形性データなし

発がん性

(エチルベンゼン)
IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。
(カーボンブラック)
IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。
(酸化チタン(IV))
IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。
(キシレン(異性体混合物))
IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。
(カーボンブラック)
ACGIH-A3(20110) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(酸化チタン(IV))
ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない
(エチルベンゼン)
ACGIH-A3(1998) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(キシレン(異性体混合物))

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質
(カーボンブラック)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質
(ミネラルスピリット)

EU-発がん性カテゴリ2; ヒト発がん性とみなされる

(メチルエチルケトンオキシム)

EU-発がん性カテゴリ3; ヒト発がん性の可能性がある

生殖毒性

生殖毒性区分1 成分データ

(キシレン(異性体混合物)) IRIS, 2003

(エチルベンゼン) SIDS, 2005

生殖毒性区分2 成分データ

(酸化亜鉛) rat: EU-RAR, 2004

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性 単回ばく露区分3(気道刺激性) 成分データ

(ノナン) 気道刺激性 (HSDB, 2005)

(ミネラルスピリット) 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

(トリメチルベンゼン(混合物)) 気道刺激性 (HSDB, 2005)

(1,2,4-トリメチルベンゼン) 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

特定標的臓器毒性 単回ばく露区分3(麻酔作用) 成分データ

(ノナン) 麻酔作用 (SITTIG 4th, 2002)

(ミネラルスピリット) 麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

(トリメチルベンゼン(混合物)) 麻酔作用 (HSDB, 2005)

(1,2,4-トリメチルベンゼン) 麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

(1,3,5-トリメチルベンゼン) 麻酔作用

特定標的臓器毒性 反復ばく露区分1 成分データ

(カーボンブラック) 肺 (IARC vol. 65, 1996)

特定標的臓器毒性 反復ばく露区分2 成分データ

(ミネラルスピリット) 肝臓、精巣 (HSDB, 2005)

(トリメチルベンゼン(混合物)) 皮膚、呼吸器、血液、中枢神経系 (HSFS, 2003)

(1,2,4-トリメチルベンゼン) 中枢神経系、肺 (環境省リスク評価第6巻, 2008)

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性区分1 成分データ

(ミネラルスピリット) hydrocarbon, kinematic viscosity = 0.87-1.94 mm²/s (25 C)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

水生毒性 成分データ

(エチルベンゼン)

甲殻類(ブラウンシュリンプ) LC50=0.4mg/L/96hr (CERI-NITE, 2006)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=6mg/L/48hr (環境省, 2002)

(酸化亜鉛)

甲殻類(オオミジンコ) LC50 = 0.122 ZnO-mg/L (NITE初期リスク評価書, 2008)

(キシレン(異性体混合物))

魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (CERI-NITE, 2005)

(カーボンブラック)

甲殻類(オオミジンコ) EC50 > 5600mg/L/24hr (IUCLID, 2000)

(酸化チタン(IV))

甲殻類(オオミジンコ) EC50 > 1000mg/L/48hr (AQUIRE, 2003)
 (トリメチルベンゼン(混合物))
 甲殻類(グラスシュリンプ) LC50=5.4mg/L/96hr (AQUIRE, 2003)
 (ミネラルスピリット)
 甲殻類(オオミジンコ) LC50=0.42-2.3 mg/L/48hr (EHC, 1996)
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)
 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 = 6.14mg/L/48hr (IUCLID, 2000)
 (メチルエチルケトンオキシム)
 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) EC50=16 mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2001)
 (クメン)
 甲殻類(ミシッドシュリンプ) LC50=1.2mg/L/96hr (CICAD18, 1999)

水溶解度

(エチルベンゼン)
 0.015 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2007)
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)
 非常に溶けにくい (ICSC, 2002)
 (ノナン)
 0.7 g/100 ml (20 C) (ICSC, 1995)
 (酸化亜鉛)
 溶けない (ICSC, 2004)
 (カーボンブラック)
 溶けない (ICSC, 1995)
 (酸化チタン(IV))
 溶けない(HSDB, 2004)
 (トリメチルベンゼン(混合物))
 非常に溶けにくい (ICSC, 2002)
 (ミネラルスピリット)
 溶けない (ICSC, 2004)
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)
 非常に溶けにくい (ICSC, 2002)
 (クメン)
 溶けない (ICSC, 2000)

残留性・分解性

(エチルベンゼン)
 本質的に易分解性があり、水中から速やかに揮散する(SIDS, 2005)
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)
 BODによる分解度:0% (既存化学物質安全性点検データ)
 (キシレン(異性体混合物))
 BODによる分解度:39% (CERIハザードデータ集、2005)
 (トリメチルベンゼン(混合物))
 1,3,5-トリメチルベンゼン_BODによる分解度:0% (既存化学物質安全性点検データ)
 (ミネラルスピリット)
 BODによる分解度:12 - 13% (EHC187, 1996)
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)
 BODによる分解度 = 4-18% (既存点検, 1977)
 (メチルエチルケトンオキシム)
 BODによる分解度:24.7% (既存点検, 1982)
 (クメン)
 追加BODによる分解度:33% (既存化学物質安全性点検データ)84/449/EECによる分解度13% (EU-RAR, 2001))

生体蓄積性

(トリメチルベンゼン(混合物))
 log Pow=3.4 through 3.8 (ICSC, 2002) ; BCF=328(1,3,5-トリメチルベンゼン:既存化学物質安全性点検データ)

(ミネラルスピリット)

log Pow=3.16 through 7.06 (ICSC, 2004)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.8 (ICSC, 2002)

(クメン)

log Pow=3.66 (PHYSPROP Database, 2005)

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP Database, 2005)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.42 (ICSC, 2002) ; BCF=342(Check & Review, Japan)

(ノナン)

log Pow=5.65 (ICSC, 1995)

(酸化亜鉛)

BCF=217(Check & Review, Japan)

(キシレン(異性体混合物))

log Pow=3.16 (PHYSPROP Database, 2005)

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理する。

排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

廃棄物等を焼却処理する場合には有毒ガスを発生するため、適切な焼却温度及び洗浄装置のある焼却炉を使用すること。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。

汚染容器及び包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 :1263

クラス :3

容器等級 :III

正式品名 :塗料又は塗料関連物質

指針番号 :128

輸送の特定の安全対策及び条件

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送の場合、消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送の場合は、船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。

航空輸送の場合は、航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

第3種有機溶剤等:

ミネラルスピリット

特定化学物質障害予防規則に該当しない。

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物 (30°C ≤ 引火点 < 65°C)
名称表示危険/有害物(令18条)又は名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)
エチルベンゼン; カーボンブラック; キシレン(異性体混合物); 酸化チタン(IV); 1,3,5-トリメチルベンゼン;
トリメチルベンゼン(混合物); 1,2,4-トリメチルベンゼン; ノナン; ミネラルスピリット; 酸化亜鉛; クメン
化学物質管理促進(PRTR)法
第1種指定化学物質:
1,2,4-トリメチルベンゼン(8.7%)(1-296); 1,3,5-トリメチルベンゼン(3.1%)(1-297)
消防法
第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III
化審法
優先評価化学物質
1,2,4-トリメチルベンゼン; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); 1,3,5-トリメチルベンゼン; クメン
船舶安全法
引火性液体類 分類3
航空法
引火性液体 分類3
海洋汚染防止法
有害液体物質(X類): 1,3,5-トリメチルベンゼン; ノナン
有害液体物質(Y類): エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物)
有害液体物質(Z類): 酸化チタン(IV)
廃棄物処理法
特別管理産業廃棄物: 引火性廃油

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7253 (2012年)

日本塗料工業会:GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用(塗料用)]

日本塗料工業会:「SDS用化学物質データベース(塗料用)」

原材料メーカーSDS

責任の限定について

本データシートは、作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入力した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	航空用ポリウレタン塗料,灰色 A液					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	メチルエチルケトン 10~20% 二酸化チタン 10~20% 他 エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート 5% 二酸化ケイ素 1~5% 酢酸エチル 1~5%		MSDSがある場合、CAS No. メチルエチルケトン 78-93-3 二酸化チタン 13463-67-7 エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート 111-15-9 二酸化ケイ素 7631-86-9 酢酸エチル 141-78-6		
			裏面【その他の情報】に続きを記載		裏面【その他の情報】に続きを記載	
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
	<input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロペン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (△) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート5% トルエン 1.7%					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約2°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(354°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他(生殖毒性、特定標的臓器/全身毒性)
10	廃棄物の物理的性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(溶剤臭) 色(グレー系) 比重(1.37~1.46) pH(データなし) 沸点(80~147°C) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(1L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット) 継続予定) (8) kg・t・kg/m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱い際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 主成分 及び CAS No.
 トルエン 1.7% 108-88-3
 エチルベンゼン 1% 100-41-4
 シクロヘキサノン 1% 108-94-1
 カーボンブラック 1% 1333-86-4
 キシレン 1% 1330-20-7
 メチルイソブチルケトン 1% 108-10-1

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	航空用ポリウレタン塗料, 灰色 A液
会社名	日本特殊塗料株式会社
住所	東京都北区王子3-23-2
担当部門	平塚工場 技術課
電話番号	0463-23-5256
FAX番号	0463-23-2217
緊急連絡先	担当部門に同じ
作成日	2011年08月31日
改訂日	2022年03月14日
推奨用途	航空機用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体:	区分2
急性毒性	
経口:	区分に該当しない
経皮:	区分に該当しない
吸入(気体):	区分に該当しない
吸入(蒸気):	区分に該当しない
吸入(粉じん、ミスト):	区分に該当しない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分2
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	区分に該当しない
生殖細胞変異原性:	区分に該当しない
発がん性:	区分に該当しない
生殖毒性:	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1(中枢神経系)、区分2(血液系、呼吸器系、腎臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分1(中枢神経系、肺、末梢神経系)、区分2(血液系、腎臓、精巣、肝臓)
誤えん有害性:	区分に該当しない
水生環境有害性—短期(急性):	区分3
水生環境有害性—長期(慢性):	区分に該当しない
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素



危険

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 水生生物に有害
 臓器(中枢神経系)の障害
 臓器(血液系、呼吸器系、腎臓)の障害のおそれ
 長期または反復ばく露による臓器(中枢神経系、肺、末梢神経系)の障害
 長期または反復ばく露による臓器(血液系、腎臓、精巣、肝臓)の障害のおそれ

注意書き:

《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防燥型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 (必要な時以外は)環境への放出を避けること。
 保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

《応急措置》

気分が悪いときは、医師の診察／手当を受けること。
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察／手当を受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
 眼の刺激が続く場合:医師の診察／手当を受けること。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 特別な処置が必要である。
 火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。
 粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、又は二酸化炭素、防災砂を用いて消火すること。

《保管》

施設して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性: 強い引火性がある。
 熱、火花及び火炎で着火することがある。
 国/地域情報: 引火性液体

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
 化学名又は一般名: ウレタン樹脂系 溶剤系
 濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS No
メチルエチルケトン	10~20%	78-93-3
二酸化チタン	10~20%	13463-67-7
エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	5.0%	111-15-9
二酸化ケイ素	1~5%	7631-86-9
酢酸エチル	1~5%	141-78-6
トルエン	1.7%	108-88-3
エチルベンゼン	1%>	100-41-4
シクロヘキサノン	1%>	108-94-1
カーボンブラック	1%>	1333-86-4
キシレン	1%>	1330-20-7
メチルイソブチルケトン	1%>	108-10-1

法規制対象成分:

成分	安衛法	毒劇法	PRTR法
メチルエチルケトン	表示/通知 第 570 号	該当しない	該当しない
二酸化チタン	表示/通知 第 191 号	該当しない	該当しない
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	表示/通知 第 78 号	該当しない	第一種 第 133 号
二酸化ケイ素	表示/通知 第 312 号	該当しない	該当しない
酢酸エチル	表示/通知 第 177 号	該当しない	該当しない
トルエン	表示/通知 第 407 号	該当しない	第一種 第 300 号
エチルベンゼン	表示/通知 第 70 号	該当しない	該当しない
シクロヘキサノン	通知 第 231 号	該当しない	該当しない
カーボンブラック	通知 第 130 号	該当しない	該当しない
キシレン	表示/通知 第 136 号	該当しない	該当しない
メチルイソブチルケトン	通知 第 569 号	該当しない	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合:	蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。 呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。 直ちに医師の手当を受けること。
皮膚に付着した場合:	付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
眼に入った場合:	直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合:	誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤:	炭酸ガス 泡 粉末 乾燥砂
使ってはならない消火剤:	水を消火に用いてはならない。
火災時の特有の危険有害性:	情報なし
特有の消火方法:	指定の消火剤を使用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにする。
環境に対する注意事項:	河川等へ排出され環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
二次災害の防止策:	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:	静電気対策のため、装置等を接地し、電気機器類は防爆型を使用する。 工具は火花防止型のものを使用する。 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
局所排気・全体排気:	密封された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
注意事項:	取扱い後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。 換気の良い場所で取り扱う。 指定された以外の材料と混合しないこと。 周囲で火気、スパーク、高温体の使用を禁止する。 容器はその都度密栓する。 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。
安全取扱注意事項:	特になし
適切な衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策: 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
 安全な保管条件: 日光の直射を避けること、
 通風の良い所に保管すること、
 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
 安全な容器包装材料: 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策: 取扱い設備は防爆型を使用する。
 排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。
 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置は接地する。
 取扱い場所の近くに高温、発火源、となるものが置けない設備にする。
 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機を使用する等、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にすること。
 タンク内部等の密閉場所で作業をする場合、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。
 長時間取り扱う場合、給排気が十分にとればく露を受けない設備にする。

管理濃度:

メチルエチルケトン 200ppm
 エチレングリコールモノエチル 5ppm
 エーテルアセテート
 酢酸エチル 200ppm
 トルエン 20ppm
 エチルベンゼン 20ppm
 シクロヘキサノン 20ppm
 キシレン 50ppm
 メチルイソブチルケトン 20ppm

許容濃度:

メチルエチルケトン	200ppm	TWA	ACGIH
メチルエチルケトン	590mg/m ³	TWA	ACGIH
二酸化チタン	10mg/m ³	TWA	ACGIH
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	5ppm	TWA	ACGIH
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	27mg/m ³	TWA	ACGIH
酢酸エチル	400ppm	TWA	ACGIH
酢酸エチル	1440mg/m ³	TWA	ACGIH
トルエン	20ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	100ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	434mg/m ³	TWA	ACGIH
シクロヘキサノン	20ppm	TWA	ACGIH
カーボンブラック	3.5mg/m ³	TWA	ACGIH
キシレン	100ppm	TWA	ACGIH
キシレン	434mg/m ³	TWA	ACGIH
メチルイソブチルケトン	20ppm	TWA	ACGIH

保護具

呼吸用保護具: 有機ガス用防毒マスクを着用する。
 密閉された場所では送気マスクを着用する。
 手の保護具: 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
 眼/顔面の保護具: 保護メガネを着用する。
 皮膚及び身体への保護具: 静電塗装を行う場合は通電靴を着用する。
 状況に応じて適切な保護具を着用すること。
 特別な注意事項: 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態: 液体
 色: グレー系
 臭い: 溶剤臭
 沸点: 80°C~147°C
 初留点: データなし
 沸騰範囲: データなし
 可燃性: データなし
 爆発下限界: 1.5Vol%
 爆発上限界: 10Vol%
 引火点: 2°C
 自然発火点: 354°C

分解温度: データなし
 pH: データなし
 動粘性率: データなし
 蒸気圧: 12732Pa
 密度及び又は相対密度: 1.37~1.47g/ml
 相対ガス密度: データなし
 粒子特性: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性: 特になし
 化学的安定性: 通常の取り扱い条件では安定である。
 標準的な条件では反応しない。
 危険有害反応可能性: 特になし
 避けるべき条件: 情報なし
 混触危険物質: 情報なし
 危険有害な分解生成物: 大量に燃焼すると爆発の危険性がある。CO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性:

メチルエチルケトン	>5000mg/kg	経皮ラビット(LD50)	PATTY
メチルエチルケトン	11,700ppm/4H	吸入ラット(LC50)	EHC
メチルエチルケトン	2483mg/kg	経口ラット(LD50)	PATTY
二酸化チタン	>10000mg/kg	経口ラット(LD50)	IUCLID
二酸化チタン	>6.82mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	IUCLID
エチレングリコールモノエチル エーテルアセテート	2,700mg/kg	経口ラット(LD50)	環境省リスク評価
エチレングリコールモノエチル エーテルアセテート	4,470ppm/4H	吸入ラット(LC50)	
酢酸エチル	>5000mg/kg	経口ラット(LD50)	ACGIH
酢酸エチル	14620ppm	吸入ラット(LC50)	DFGOT
トルエン	12,000mg/kg	経皮ラット(LD50)	ACGIH
トルエン	14,100mg/kg	経皮ラビット(LD50)	EHC
トルエン	18mg/l	吸入ラット(LC50)	
トルエン	2,600mg/kg	経口ラット(LD50)	EU-RAR
トルエン	4,800ppm	吸入ラット(LC50)	
エチルベンゼン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	EHC
エチルベンゼン	15,400mg/kg	経皮ラビット(LD50)	ACGIH
エチルベンゼン	17.2mg/l	吸入ラット(LC50)	ATSDR
シクロヘキサノン	1544mg/kg	経口ラット(LD50)	
シクロヘキサノン	947mg/kg	経皮ラビット(LD50)	DFGOT
シクロヘキサノン	2450ppm	吸入ラット(LC50)	ACGIH
カーボンブラック	15400mg/kg	経口ラット(LD50)	RTECS
キシレン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	CaPSAR
キシレン	29.08mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	環境省リスク評価
メチルイソブチルケトン	2080mg/kg	経口ラット(LD50)	CERI ハザードデータ集
メチルイソブチルケトン	3000mg/kg	経皮ラビット(LD50)	CERI ハザードデータ集
メチルイソブチルケトン	8.2mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	CERI ハザードデータ集

有害性情報:

	急性毒性-経口	急性毒性-経皮	急性毒性-吸入(気体)	急性毒性-吸入(蒸気)	急性毒性-吸入(粉じん・ミスト)
メチルエチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
二酸化チタン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
エチレングリコールモノ エチルエーテルアセテート	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
二酸化ケイ素	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
トルエン	4800 mg/kg	12000 mg/kg	区分に該当しない	区分4	分類できない
エチルベンゼン	3500 mg/kg	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
シクロヘキサノン	1544 mg/kg	947 mg/kg	区分に該当しない	9.8 mg/l	32.1 mg/l
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
キシレン	区分に該当しない	区分4	区分に該当しない	区分4	分類できない

	急性毒性-経口	急性毒性-経皮	急性毒性-吸入(気体)	急性毒性-吸入(蒸気)	急性毒性-吸入(粉じん・ミスト)
メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分3	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	感作性-呼吸器	感作性-皮膚	生殖細胞変異原性
メチルエチルケトン	区分2	区分2A	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化チタン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	区分に該当しない
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化ケイ素	区分に該当しない	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
トルエン	区分2	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
エチルベンゼン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
シクロヘキサノン	区分2	区分2A	分類できない	区分1	区分2
カーボンブラック	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない
キシレン	区分2	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	誤えん有害性
メチルエチルケトン	分類できない	分類できない	区分1	区分1	分類できない
二酸化チタン	GHS(区分2)	分類できない	分類できない	区分1	分類できない
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	分類できない	区分1B	区分1	区分1	分類できない
二酸化ケイ素	GHS(区分1A)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
酢酸エチル	分類できない	分類できない	区分1	分類できない	分類できない
トルエン	分類できない	区分1A	区分1	区分1	区分1
エチルベンゼン	GHS(区分2)	区分1B	区分2	分類できない	区分1
シクロヘキサノン	区分に該当しない	区分2	区分1	区分1	分類できない
カーボンブラック	GHS(区分2)	分類できない	分類できない	区分1	分類できない
キシレン	分類できない	区分1B	区分1	区分1	区分1
メチルイソブチルケトン	GHS(区分2)	分類できない	分類できない	区分1	分類できない

※特定標的臓器毒性については、組成(成分)で最も厳しい区分のみを記載しております。
 該当臓器名については、「2.危険有害性の要約」の「危険有害性情報」をご参照下さい。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

製品	情報なし		
メチルエチルケトン	>100mg/l-96hr	ヒメダカ(LC50)	環境省生態影響試験
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	40mg/l-96hr	トウゴロウイワシ	CERI ハザードデータ集
シクロヘキサノン	527mg/l-96hr	ファットヘッドミノー	CERI ハザードデータ集
キシレン	3.3mg/l-96hr	ニジマス	CERI・NITE有害性評価書

甲殻類:

製品	情報なし		
二酸化チタン	>1000000µg/L(48H)	オオミジンコ	AQUIRE
酢酸エチル	164mg/l-48hr	ミジンコ	IUCLID
トルエン	3.5mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	EU-RAR
エチルベンゼン	0.4mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	CERI・NITE有害性評価書
カーボンブラック	>5600mg/l-24hr	オオミジンコ	IUCLID
メチルイソブチルケトン	170mg/l-48hr	オオミジンコ	CERI ハザードデータ集

藻類:

製品

残留性/分解性:

製品

生体蓄積性:

データなし

土壤中の移動性:

製品

製品

他の有害影響:

製品
製品
漏洩、廃棄の際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

環境有害性:

	水生環境有害性-短期(急性)	水生環境有害性-長期(慢性)	オゾン層への有害性
メチルエチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
二酸化チタン	分類できない	分類できない	分類できない
エチレンジグリコールモノエチル エーテルアセテート	41 mg/l	区分に該当しない	分類できない
二酸化ケイ素	分類できない	分類できない	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
トルエン	3.78 mg/l	区分3	分類できない
エチルベンゼン	0.42 mg/l	区分2	分類できない
シクロヘキサノン	527 mg/l	区分に該当しない	分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	分類できない
キシレン	3.3 mg/l	区分2	分類できない
メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”及び関係する法規に従って処理を行うか、業者に委託すること。
廃塗料などを焼却処理する場合、珪藻土等に吸着させて、開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。
空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 3:引火性液体
国連番号: 1263
品名(国連輸送品名): 塗料(引火性)
容器等級: 包装等級2

海洋汚染物質:

国内規制:

適用法令を参照

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

(陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。

(海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策:

取扱い及び保管上の注意の項に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

輸送の特定の安全対策及び条件:

消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合はそれぞれの該当法規に定められた運送方法に従う。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

応急措置指針番号:

128 引火性液体(非極性/水に不溶)

15. 適用法令

<製品>

労働安全衛生法

名称等を通ずべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条)

施行令別表1-4 引火性の物

施行令別表6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号 第2種有機溶剤

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

消防法

第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第1石油類・非水溶性液体)

危険等級II

港則法

施行規則第12条危険物 告示 引火性液体類

航空法

施行規則第194条危険物 告示 別表第1 引火性液体

危規則

第2, 3条危険物 告示別表第5 引火性液体類

16. その他の情報

引用文献

(社)日本塗料工業会 SDS用化学物質データベース(塗料用)第8版
(社)日本塗料工業会 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]改訂第4版
(独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター データベース
国際化学物質安全カード(ICSC)
丸善 ザックス 有害物質データブック
原材料メーカーSDS

-
- (1) この SDS は、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
 - (2) 当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
 - (3) 取扱いには十分ご注意ください。
 - (4) この SDS は新しい知見により予告なく改定することがあります。
-

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	航空用ポリウレタン塗料,灰色 B液					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	トルエン 15% 他 酢酸エチル 10~20% 酢酸ブチル 10~20% キシレン 4.1% エチルベンゼン 1.0% ヘキサメチレン=ジイソシアネート 1%>			MSDSがある場合、CAS No. トルエン 108-88-3 酢酸エチル 141-78-6 酢酸ブチル 123-86-4 キシレン 1330-20-7 エチルベンゼン 100-41-4 ヘキサメチレン=ジイソシアネート 822-06-0	
	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (△) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当) 非該当 ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 トルエン 15% キシレン 4.1% エチルベンゼン 1.0%					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE) 生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン 生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約4°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(354 °C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(溶剤臭) 色(無色透明) 比重(0.8~1) pH(データなし) 沸点(77~147°C)* 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(1L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット・継続予定) (8) kg・t・ℓ・m3・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	航空用ポリウレタン塗料, 灰色 B液
会社名	日本特殊塗料株式会社
住所	東京都北区王子3-23-2
担当部門	平塚工場 技術課
電話番号	0463-23-5256
FAX番号	0463-23-2217
緊急連絡先	担当部門に同じ
作成日	2011年08月31日
改訂日	2022年07月28日
推奨用途	航空機用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体:	区分2
急性毒性	
経口:	区分に該当しない
経皮:	区分に該当しない
吸入(蒸気):	区分に該当しない
吸入(蒸気):	区分4
吸入(粉じん, ミスト):	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分2
呼吸器感作性:	区分に該当しない
皮膚感作性:	区分に該当しない
生殖細胞変異原性:	区分に該当しない
発がん性:	区分2
生殖毒性:	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1(呼吸器系、中枢神経系)、区分2(呼吸器、腎臓、肝臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分1(腎臓、中枢神経系、肝臓)、区分2(呼吸器、神経系)
誤えん有害性:	区分に該当しない
水生環境有害性—短期(急性):	区分2
水生環境有害性—長期(慢性):	区分3
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素



危険

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気
 吸入すると有害
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 発がんのおそれの疑い
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 水生生物に毒性
 長期継続的影響によって水生生物に有害
 臓器(呼吸器系、中枢神経系)の障害
 臓器(呼吸器、腎臓、肝臓)の障害のおそれ
 長期または反復ばく露による臓器(腎臓、中枢神経系、肝臓)の障害
 長期または反復ばく露による臓器(呼吸器、神経系)の障害のおそれ

注意書き:

《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
 (必要な時以外は)環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

《応急措置》

気分が悪いときは、医師の診察／手当を受けること。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当を受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当を受けること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 特別な処置が必要である。
 火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
 粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、又は二酸化炭素、防災砂を用いて消火すること。

《保管》

施設して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性: 強い引火性がある。
 熱、火花及び火災で着火することがある。
 国/地域情報: 引火性液体

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
 化学名又は一般名: イソシアネート系塗料
 濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS No
トルエン	15%	108-88-3
酢酸エチル	10~20%	141-78-6
酢酸ブチル	10~20%	123-86-4
キシレン	4.1%	1330-20-7
エチルベンゼン	1.0%	100-41-4
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	1%>	822-06-0

法規制対象成分:

成分	安衛法	毒劇法	PRTR法
トルエン	表示／通知第407号	該当しない	第一種第300号
酢酸エチル	表示／通知第177号	該当しない	該当しない
酢酸ブチル	表示／通知第181号	該当しない	該当しない
キシレン	表示／通知第136号	該当しない	第一種第80号
エチルベンゼン	表示／通知第70号	該当しない	第一種第53号
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	通知第519号	該当しない	該当しない

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物: ヘキサメチレン=ジイソシアネートは製造過程等に由来する不純物として存在し、毒物又は劇物の対象物とはみなさない

4. 応急措置

吸入した場合:	蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。 呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。 直ちに医師の手当を受けること。
皮膚に付着した場合:	付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
眼に入った場合:	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合:	誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤:	炭酸ガス 泡 粉末 乾燥砂
使ってはならない消火剤:	水を消火に用いてはならない。
火災時の特有の危険有害性:	情報なし
特有の消火方法:	指定の消火剤を使用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにする。
環境に対する注意事項:	河川等へ排出され環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
二次災害の防止策:	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:	静電気対策のため、装置等を接地し、電気機器類は防爆型を使用する。 工具は火花防止型のものを使用する。 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
局所排気・全体排気:	密封された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
注意事項:	取扱い後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。 換気の良い場所で取り扱う。 指定された以外の材料と混合しないこと。 周囲で火気、スパーク、高温体の使用を禁止する。 容器はその都度密栓する。 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。
安全取扱注意事項:	特になし
適切な衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策:	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
安全な保管条件:	日光の直射を避けること。 通風の良い所に保管すること。 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
安全な容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:	取扱い設備は防爆型を使用する。 排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置は接地する。 取扱い場所の近くに高温、発火源、となるものが置けない設備にする。 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機を使用する等、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にすること。 タンク内部等の密閉場所で作業をする場合、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。 長時間取り扱う場合、給排気が十分にとればく露を受けない設備にする。
-------	--

管理濃度:

トルエン	20ppm
酢酸エチル	200ppm
酢酸ブチル	150ppm
キシレン	50ppm
エチルベンゼン	20ppm

許容濃度:

トルエン	20ppm	TWA	ACGIH
酢酸エチル	400ppm	TWA	ACGIH
酢酸エチル	1440mg/m3	TWA	ACGIH
酢酸ブチル	150ppm	TWA	ACGIH
キシレン	100ppm	TWA	ACGIH
キシレン	434mg/m3	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	100ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	434mg/m3	TWA	ACGIH
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.005ppm	TWA	ACGIH
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.034mg/m3	TWA	ACGIH

保護具

呼吸用保護具:

有機ガス用防毒マスクを着用する。
密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具:

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼/顔面の保護具:

保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具:

静電塗装を行う場合は通電靴を着用する。
状況に応じて適切な保護具を着用すること。

特別な注意事項:

取扱後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	無色透明
臭い:	溶剤臭
沸点:	77°C~147°C
初留点:	データなし
沸騰範囲:	データなし
可燃性:	データなし
爆発下限界:	1.1Vol%
爆発上限界:	11.5Vol%
引火点:	4°C
自然発火点:	354°C
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	データなし
蒸気圧:	12452Pa
密度及び又は相対密度:	0.80~1.00g/ml
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:

特になし

化学的安定性:

通常取り扱い条件では安定である。
標準的な条件では反応しない。

危険有害反応可能性:

特になし

避けるべき条件:

情報なし

混触危険物質:

アミン、アルコール、水と反応する。

危険有害な分解生成物:

大量に燃焼すると爆発の危険性がある。CO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性:

トルエン	12,000mg/kg	経皮ラット(LD50)	ACGIH
トルエン	14,100mg/kg	経皮ラビット(LD50)	EHC
トルエン	18mg/l	吸入ラット(LC50)	
トルエン	2,600mg/kg	経口ラット(LD50)	EU-RAR

トルエン	4,800ppm	吸入ラット(LC50)	
酢酸エチル	>5000mg/kg	経口ラット(LD50)	ACGIH
酢酸エチル	14620ppm	吸入ラット(LC50)	DFGOT
酢酸ブチル	14,130mg/kg	経口ラット(LD50)	ACGIH
酢酸ブチル	17,600mg/kg	経皮ラビット(LD50)	RTECS
酢酸ブチル	391ppm	吸入ラット(LC50)	ACGIH
キシレン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	CaPSAR
キシレン	29.08mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	環境省リスク評価
エチルベンゼン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	EHC
エチルベンゼン	15,400mg/kg	経皮ラビット(LD50)	ACGIH
エチルベンゼン	17.2mg/l	吸入ラット(LC50)	ATSDR
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	738mg/kg	経口ラット(LD50)	CERI ハザードデータ集
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	20ppm/4H	吸入ラット(LC50)	SIDS
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	593mg/kg	経皮ラビット(LD50)	CERI ハザードデータ集

有害性情報:

	急性毒性-経口	急性毒性-経皮	急性毒性-吸入(気体)	急性毒性-吸入(蒸気)	急性毒性-吸入(粉じん・ミスト)
トルエン	4800 mg/kg	12000 mg/kg	区分に該当しない	区分4	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
酢酸ブチル	14130 mg/kg	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
キシレン	区分に該当しない	区分4	区分に該当しない	区分4	分類できない
エチルベンゼン	3500 mg/kg	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	747 mg/kg	599 mg/kg	区分に該当しない	区分1	分類できない

	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	感受性-呼吸器	感受性-皮膚	生殖細胞変異原性
トルエン	区分2	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
酢酸ブチル	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
キシレン	区分2	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
エチルベンゼン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	区分1	区分1	区分1	区分1	分類できない

	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	誤えん有害性
トルエン	分類できない	区分1A	区分1	区分1	区分1
酢酸エチル	分類できない	分類できない	区分1	分類できない	分類できない
酢酸ブチル	分類できない	分類できない	区分3	分類できない	分類できない
キシレン	分類できない	区分1B	区分1	区分1	区分1
エチルベンゼン	GHS(区分2)	区分1B	区分2	分類できない	区分1
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	分類できない	分類できない	区分1	区分1	分類できない

※特定標的臓器毒性については、組成(成分)で最も厳しい区分のみを記載しております。
 該当臓器名については、「2.危険有害性の要約」の「危険有害性情報」をご参照下さい。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

酢酸ブチル	100000µg/L(96H)	ブルーギル	環境省リスク評価
キシレン	3.3mg/l-96hr	ニジマス	CERI・NITE有害性評価書

製品 情報なし

甲殻類:

トルエン	3.5mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	EU-RAR
酢酸エチル	164mg/l-48hr	ミジンコ	IUCLID
エチルベンゼン	0.4mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	CERI・NITE有害性評価書
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	≥89.1mg/l-48hr	オオミジンコ	SIDS

製品 情報なし

藻類:

製品 情報なし

残留性/分解性:

製品 情報なし

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

製品 情報なし

他の有害影響:

製品 漏洩、廃棄の際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
製品 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

環境有害性:

	水生環境有害性-短期(急性)	水生環境有害性-長期(慢性)	オゾン層への有害性
トルエン	3.78 mg/l	区分3	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
酢酸ブチル	18 mg/l	区分に該当しない	分類できない
キシレン	3.3 mg/l	区分2	分類できない
エチルベンゼン	0.42 mg/l	区分2	分類できない
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”及び関係する法規に従って処理を行うか、業者に委託すること。
 廃塗料などを焼却処理する場合、珪藻土等に吸着させて、開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。
 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 3:引火性液体

国連番号: 1263

品名(国連輸送品名): 塗料(引火性)

容器等級: 包装等級2

海洋汚染物質:

国内規制:

適用法令を参照

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

(陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。

(海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策:

取扱い及び保管上の注意の項に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

輸送の特定の安全対策及び条件:

消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合はそれぞれの該当法規に定められた運送方法に従う。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

応急措置指針番号:

128 引火性液体(非毒性/水に不溶)

15. 適用法令

<製品>

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条) 施行令別表1-4 引火性の物 施行令別表6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号 第2種有機溶剤 施行令別表第3 特定化学物質障害予防規則第2条 第2類物質 特定化学物質障害予防規則 別表第1 特別有機溶剤等
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
消防法	第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第1石油類・非水溶性液体) 危険等級Ⅱ
港則法	施行規則第12条危険物 告示 引火性液体類
航空法	施行規則第194条危険物 告示 別表第1 引火性液体
危規則	第2,3条危険物 告示別表第5 引火性液体類
特定化学物質障害予防規則 エチルベンゼン	第2類(特別有機溶剤等)

16. その他の情報

引用文献	(社)日本塗料工業会 SDS用化学物質データベース(塗料用)第8版 (社)日本塗料工業会 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]改訂第4版 (独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター データベース 国際化学物質安全カード(ICSC) 丸善 ザックス 有害物質データブック 原材料メーカーSDS
------	--

-
- (1) このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
 - (2) 当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
 - (3) 取扱いには十分ご注意ください。
 - (4) このSDSは新しい知見により予告なく改定することがあります。
-

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	航空用ポリウレタン塗料,黒色 A液					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	メチルエチルケトン 20~30%			MSDSがある場合、CAS No.	
	他	エチレングリコールモノエチルエーテル アセテート7.9% 二酸化ケイ素 1~5% カーボンブラック 1~5% トルエン 1.2%			メチルエチルケトン 78-93-3 エチレングリコールモノエチルエーテル アセテート 111-15-9 二酸化ケイ素 7631-86-9 カーボンブラック 1333-86-4 トルエン 108-88-3	
		裏面【その他の情報】に続きを記載			裏面【その他の情報】に続きを記載	
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ					
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉱さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (△) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
	6 PRTR対象物質 届出事業所 (該当・ 非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当)・ 非該当 ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート7.9% トルエン 1.2%					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成)					
	<input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成)						
<input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)						
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約2°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(354 °C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(溶剤臭) 色(ブラック) 比重(1.37~1.57) pH(データなし) 沸点(80~156 °C) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(1L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット 継続予定) (8) kg・t・% ³ ・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 主成分 及び CAS No.

エチルベンゼン 1% > 100-41-4
 キシレン 1% > 1330-20-7
 シクロヘキサノン 1% > 108-94-1
 メチルイソブチルケトン 1% > 108-10-1

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 航空用ポリウレタン塗料, 黒色 A液
 会社名 日本特殊塗料株式会社
 住所 東京都北区王子3-23-2
 担当部門 平塚工場 技術課
 電話番号 0463-23-5256
 FAX番号 0463-23-2217
 緊急連絡先 担当部門に同じ
 作成日 2011年08月31日
 改訂日 2022年03月14日
 推奨用途 航空機用

製 1129、70
 名 11 11
 1 H30、10
 No.1

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体: 区分2
 急性毒性
 経口: 区分に該当しない
 経皮: 区分に該当しない
 吸入(気体): 区分に該当しない
 吸入(蒸気): 区分に該当しない
 吸入(粉じん、ミスト): 区分に該当しない
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分2
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2
 呼吸器感作性: 分類できない
 皮膚感作性: 区分に該当しない
 生殖細胞変異原性: 区分に該当しない
 発がん性: 区分2
 生殖毒性: 区分1
 特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分1(中枢神経系)、区分2(血液系、腎臓)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分1(中枢神経系、末梢神経系)、区分2(血液系、腎臓、精巣、肺、肝臓)
 誤えん有害性: 区分に該当しない
 水生環境有害性-短期(急性): 区分3
 水生環境有害性-長期(慢性): 区分に該当しない
 オゾン層への有害性: 分類できない

GHSラベル要素



危険

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 発がんのおそれの疑い
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 水生生物に有害
 臓器(中枢神経系)の障害
 臓器(血液系、腎臓)の障害のおそれ
 長期または反復ばく露による臓器(中枢神経系、末梢神経系)の障害
 長期または反復ばく露による臓器(血液系、腎臓、精巣、肺、肝臓)の障害のおそれ

注意書き:

《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。
 (必要な時以外は)環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

《応急措置》

気分が悪いときは、医師の診察／手当を受けること。
 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察／手当を受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師に連絡すること。
 目の刺激が続く場合は、医師の診察／手当を受けること。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 特別な処置が必要である。
 火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。
 粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、又は二酸化炭素、防災砂を用いて消火すること。

《保管》

施設して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性: 強い引火性がある。
 熱、火花及び火炎で着火することがある。

国/地域情報: 引火性液体

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
 化学名又は一般名: ウレタン樹脂系 溶剤系
 濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS No
メチルエチルケトン	20~30%	78-93-3
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	7.9%	111-15-9
二酸化ケイ素	1~5%	7631-86-9
カーボンブラック	1~5%	1333-86-4
トルエン	1.2%	108-88-3
エチルベンゼン	1%>	100-41-4
キシレン	1%>	1330-20-7
シクロヘキサノン	1%>	108-94-1
メチルイソブチルケトン	1%>	108-10-1

法規制対象成分:

成分	安衛法	毒劇法	PRTR法
メチルエチルケトン	表示／通知第570号	該当しない	該当しない
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	表示／通知第78号	該当しない	第一種第133号
二酸化ケイ素	表示／通知第312号	該当しない	該当しない
カーボンブラック	表示／通知第130号	該当しない	該当しない
トルエン	表示／通知第407号	該当しない	第一種第300号
エチルベンゼン	表示／通知第70号	該当しない	該当しない
キシレン	表示／通知第136号	該当しない	該当しない
シクロヘキサノン	通知第231号	該当しない	該当しない
メチルイソブチルケトン	通知第569号	該当しない	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合:	蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。 呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。 直ちに医師の手当を受けること。
皮膚に付着した場合:	付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
眼に入った場合:	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合:	誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤:	炭酸ガス 泡 粉末 乾燥砂
使ってはならない消火剤:	水を消火に用いてはならない。
火災時の特有の危険有害性:	情報なし
特有の消火方法:	指定の消火剤を使用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにする。
環境に対する注意事項:	河川等へ排出され環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
二次災害の防止策:	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	静電気対策のため、装置等を接地し、電気機器類は防爆型を使用する。 工具は火花防止型のものを使用する。 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
局所排気・全体排気:	密封された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
注意事項:	取扱い後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。 換気の良い場所で取り扱う。 指定された以外の材料と混合しないこと。 周囲で火気、スパーク、高温体の使用を禁止する。 容器はその都度密栓する。 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。
安全取扱注意事項:	特になし
適切な衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
技術的対策:	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
安全な保管条件:	日光の直射を避けること。 通風の良い所に保管すること。 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
安全な容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:	取扱い設備は防爆型を使用する。 排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置は接地する。 取扱い場所の近くに高温、発火源、となるものが置けない設備にする。 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機を使用する等、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にすること。 タンク内部等の密閉場所で作業をする場合、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。 長時間取り扱う場合、給排気が十分にとればく露を受けない設備にする。
-------	--

管理濃度:

メチルエチルケトン	200ppm
エチレンジグリコールモノエチル	5ppm
エーテルアセテート	
トルエン	20ppm
エチルベンゼン	20ppm
キシレン	50ppm
シクロヘキサノン	20ppm
メチルイソブチルケトン	20ppm

許容濃度:

メチルエチルケトン	200ppm	TWA	ACGIH
メチルエチルケトン	590mg/m3	TWA	ACGIH
エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	5ppm	TWA	ACGIH
エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	27mg/m3	TWA	ACGIH
カーボンブラック	3.5mg/m3	TWA	ACGIH
トルエン	20ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	100ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	434mg/m3	TWA	ACGIH
キシレン	100ppm	TWA	ACGIH
キシレン	434mg/m3	TWA	ACGIH
シクロヘキサノン	20ppm	TWA	ACGIH
メチルイソブチルケトン	20ppm	TWA	ACGIH

保護具

呼吸用保護具:	有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では送気マスクを着用する。
手の保護具:	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼/顔面の保護具:	保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具:	静電塗装を行う場合は通電靴を着用する。 状況に応じて適切な保護具を着用すること。
特別な注意事項:	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	ブラック
臭い:	溶剤臭
沸点:	80°C~156°C
初留点:	データなし
沸騰範囲:	データなし
可燃性:	データなし
爆発下限界:	1.5Vol%
爆発上限界:	13Vol%
引火点:	2°C
自然発火点:	354°C
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	データなし
蒸気圧:	12732Pa
密度及び/又は相対密度:	1.37~1.57g/ml
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	特になし
化学的安定性:	通常の取り扱い条件では安定である。 標準的な条件では反応しない。
危険有害反応可能性:	特になし
避けるべき条件:	情報なし
混触危険物質:	情報なし
危険有害な分解生成物:	大量に燃焼すると爆発の危険性がある。CO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性:

メチルエチルケトン	>5000mg/kg	経皮ラット(LD50)	PATY
メチルエチルケトン	11,700ppm/4H	吸入ラット(LC50)	EHC
メチルエチルケトン	2483mg/kg	経口ラット(LD50)	PATY
エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	2,700mg/kg	経口ラット(LD50)	環境省リスク評価
エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	4,470ppm/4H	吸入ラット(LC50)	
カーボンブラック	15400mg/kg	経口ラット(LD50)	RTECS
トルエン	12,000mg/kg	経皮ラット(LD50)	ACGIH
トルエン	14,100mg/kg	経皮ラット(LD50)	EHC
トルエン	18mg/l	吸入ラット(LC50)	
トルエン	2,600mg/kg	経口ラット(LD50)	EU-RAR
トルエン	4,800ppm	吸入ラット(LC50)	
エチルベンゼン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	EHC
エチルベンゼン	15,400mg/kg	経皮ラット(LD50)	ACGIH
エチルベンゼン	17.2mg/l	吸入ラット(LC50)	ATSDR
キシレン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	CaPSAR
キシレン	29.08mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	環境省リスク評価
シクロヘキサノン	1544mg/kg	経口ラット(LD50)	
シクロヘキサノン	947mg/kg	経皮ラット(LD50)	DFGOT
シクロヘキサノン	2450ppm	吸入ラット(LC50)	ACGIH
メチルイソブチルケトン	2080mg/kg	経口ラット(LD50)	CERI ハザードデータ集
メチルイソブチルケトン	3000mg/kg	経皮ラット(LD50)	CERI ハザードデータ集
メチルイソブチルケトン	8.2mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	CERI ハザードデータ集

有害性情報:

	急性毒性-経口	急性毒性-経皮	急性毒性-吸入(気体)	急性毒性-吸入(蒸気)	急性毒性-吸入(粉じん・ミスト)
メチルエチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
二酸化ケイ素	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
トルエン	4800 mg/kg	12000 mg/kg	区分に該当しない	区分4	分類できない
エチルベンゼン	3500 mg/kg	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
キシレン	区分に該当しない	区分4	区分に該当しない	区分4	分類できない
シクロヘキサノン	1544 mg/kg	947 mg/kg	区分に該当しない	9.8 mg/l	32.1 mg/l
メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分3	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	感作性-呼吸器	感作性-皮膚	生殖細胞変異原性
メチルエチルケトン	区分2	区分2A	分類できない	分類できない	分類できない
エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化ケイ素	区分に該当しない	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない
トルエン	区分2	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
エチルベンゼン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
キシレン	区分2	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
シクロヘキサノン	区分2	区分2A	分類できない	区分1	区分2
メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	誤えん有害性
メチルエチルケトン	分類できない	分類できない	区分1	区分1	分類できない
エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	分類できない	区分1B	区分1	区分1	分類できない
二酸化ケイ素	GHS(区分1A)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
カーボンブラック	GHS(区分2)	分類できない	分類できない	区分1	分類できない

	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	誤えん有害性
トルエン	分類できない	区分1A	区分1	区分1	区分1
エチルベンゼン	GHS(区分2)	区分1B	区分2	分類できない	区分1
キシレン	分類できない	区分1B	区分1	区分1	区分1
シクロヘキサノン	区分に該当しない	区分2	区分1	区分1	分類できない
メチルイソブチルケトン	GHS(区分2)	分類できない	分類できない	区分1	分類できない

※特定標的臓器毒性については、組成(成分)で最も厳しい区分のみを記載しております。
該当臓器名については、「2.危険有害性の要約」の「危険有害性情報」をご参照下さい。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

メチルエチルケトン	>100mg/l-96hr	ヒメダカ(LC50)	環境省生態影響試験
エチレンジクロールモノエチルエーテルアセテート	40mg/l-96hr	トウゴロウイワシ	CERI ハザードデータ集
キシレン	3.3mg/l-96hr	ニジマス	CERI・NITE有害性評価書
シクロヘキサノン	527mg/l-96hr	ファットヘッドミノー	CERI ハザードデータ集

製品 情報なし

甲殻類:

カーボンブラック	>5600mg/l-24hr	オオミジンコ	IUCLID
トルエン	3.5mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	EU-RAR
エチルベンゼン	0.4mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	CERI・NITE有害性評価書
メチルイソブチルケトン	170mg/l-48hr	オオミジンコ	CERI ハザードデータ集

製品 情報なし

藻類:

製品 情報なし

残留性/分解性:

製品 情報なし

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

製品 情報なし

他の有害影響:

製品 漏洩、廃棄の際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
製品 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

環境有害性:

	水生環境有害性-短期(急性)	水生環境有害性-長期(慢性)	オゾン層への有害性
メチルエチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
エチレンジクロールモノエチルエーテルアセテート	41 mg/l	区分に該当しない	分類できない
二酸化ケイ素	分類できない	分類できない	分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	分類できない
トルエン	3.78 mg/l	区分3	分類できない
エチルベンゼン	0.42 mg/l	区分2	分類できない
キシレン	3.3 mg/l	区分2	分類できない
シクロヘキサノン	527 mg/l	区分に該当しない	分類できない
メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、業者に委託すること。
廃塗料などを焼却処理する場合、珪藻土等に吸着させて、開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。
空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 3:引火性液体
国連番号: 1263
品名(国連輸送品名): 塗料(引火性)

容器等級: 包装等級2
 海洋汚染物質:
 国内規制:

適用法令を参照

取扱いおよび保管上の注意の項に記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

(陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。

(海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策: 取扱い及び保管上の注意の項に従うこと。
 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

輸送の特定の安全対策及び条件: 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合はそれぞれの該当法規に定められた運送方法に従う。
 船舶安全法に定めるところに従うこと。
 航空法に定めるところに従うこと。

応急措置指針番号: 128 引火性液体(非極性/水に不溶)

15. 適用法令

<製品>

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条) 施行令別表1-4 引火性の物 施行令別表6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号 第2種有機溶剤
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
消防法	第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第1石油類・非水溶性液体) 危険等級II
港則法	施行規則第12条危険物 告示 引火性液体類
航空法	施行規則第194条危険物 告示 別表第1 引火性液体
危規則	第2, 3条危険物 告示別表第5 引火性液体類

16. その他の情報

引用文献 (社)日本塗料工業会 SDS用化学物質データベース(塗料用)第8版
 (社)日本塗料工業会 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]改訂第4版
 (独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター データベース
 国際化学物質安全カード(ICSC)
 丸善 ザックス 有害物質データブック
 原材料メーカーSDS

-
- (1) このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
 - (2) 当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
 - (3) 取扱いには十分ご注意ください。
 - (4) このSDSは新しい知見により予告なく改定することがあります。
-

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	航空用ポリウレタン塗料,黒色 B液					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	トルエン 15% 酢酸エチル 10~20% 酢酸ブチル 10~20% 他 キシレン 4.1% エチルベンゼン 1.0% ヘキサメチレン=ジイソシアネート 1%>		MSDSがある場合、CAS No. トルエン 108-88-3 酢酸エチル 141-78-6 酢酸ブチル 123-86-4 キシレン 1330-20-7 エチルベンゼン 100-41-4 ヘキサメチレン=ジイソシアネート 822-06-0		
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器)					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等					
<input checked="" type="checkbox"/> 特別管理 産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機リン化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (△) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 トルエン 15% キシレン 4.1% エチルベンゼン 1.0%					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約4°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(354 °C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(溶剤臭) 色(無色透明) 比重(0.8~1) pH(データなし) 沸点(77~147°C) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(1L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット) 継続予定) (8) kg・t・ℓ・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	航空用ポリウレタン塗料、黒色 B液
会社名	日本特殊塗料株式会社
住所	東京都北区王子3-23-2
担当部門	平塚工場 技術課
電話番号	0463-23-5256
FAX番号	0463-23-2217
緊急連絡先	担当部門に同じ
作成日	2011年08月31日
改訂日	2022年07月28日
推奨用途	航空機用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体:	区分2
急性毒性	
経口:	区分に該当しない
経皮:	区分に該当しない
吸入(気体):	区分に該当しない
吸入(蒸気):	区分4
吸入(粉じん、ミスト):	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分2
呼吸器感作性:	区分に該当しない
皮膚感作性:	区分に該当しない
生殖細胞変異原性:	区分に該当しない
発がん性:	区分2
生殖毒性:	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1(呼吸器系、中枢神経系)、区分2(呼吸器、腎臓、肝臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分1(腎臓、中枢神経系、肝臓)、区分2(呼吸器、神経系)
誤えん有害性:	区分に該当しない
水生環境有害性-短期(急性):	区分2
水生環境有害性-長期(慢性):	区分3
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素



危険

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気
 吸入すると有害
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 発がんのおそれの疑い
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 水生生物に毒性
 長期継続的影響によって水生生物に有害
 臓器(呼吸器系、中枢神経系)の障害
 臓器(呼吸器、腎臓、肝臓)の障害のおそれ
 長期または反復ばく露による臓器(腎臓、中枢神経系、肝臓)の障害
 長期または反復ばく露による臓器(呼吸器、神経系)の障害のおそれ

注意書き:

《安全対策》

使用前に取扱説明書入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
 (必要な時以外)環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

《応急措置》

気分が悪いときは、医師の診察／手当を受けること。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当を受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当を受けること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 特別な処置が必要である。
 火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
 粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、又は二酸化炭素、防災砂を用いて消火すること。

《保管》

施錠して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性: 強い引火性がある。
 熱、火花及び火炎で着火することがある。
 国/地域情報: 引火性液体

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
 化学名又は一般名: イソシアネート系塗料
 濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS No
トルエン	15%	108-88-3
酢酸エチル	10~20%	141-78-6
酢酸ブチル	10~20%	123-86-4
キシレン	4.1%	1330-20-7
エチルベンゼン	1.0%	100-41-4
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	1%>	822-06-0

法規制対象成分:

成分	安衛法	毒劇法	PRTR法
トルエン	表示／通知第407号	該当しない	第一種第300号
酢酸エチル	表示／通知第177号	該当しない	該当しない
酢酸ブチル	表示／通知第181号	該当しない	該当しない
キシレン	表示／通知第136号	該当しない	第一種第80号
エチルベンゼン	表示／通知第70号	該当しない	第一種第53号
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	通知第519号	該当しない	該当しない

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物: ヘキサメチレン=ジイソシアネートは製造過程等に由来する不純物として存在し、毒物又は劇物の対象物とはみなさない

4. 応急措置

吸入した場合:	蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。 呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。 直ちに医師の手当を受けること。
皮膚に付着した場合:	付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
眼に入った場合:	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合:	誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤:	炭酸ガス 泡 粉末 乾燥砂
使ってはならない消火剤:	水を消火に用いてはならない。
火災時の特有の危険有害性:	情報なし
特有の消火方法:	指定の消火剤を使用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにする。
環境に対する注意事項:	河川等へ排出され環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
二次災害の防止策:	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:	静電気対策のため、装置等を接地し、電気機器類は防爆型を使用する。 工具は火花防止型のものを使用する。 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
局所排気・全体排気:	密封された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
注意事項:	取扱い後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。 換気の良い場所で取り扱う。 指定された以外の材料と混合しないこと。 周囲で火気、スパーク、高温体の使用を禁止する。 容器はその都度密栓する。 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。
安全取扱注意事項:	特になし
適切な衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策:	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
安全な保管条件:	日光の直射を避けること。 通風の良い所に保管すること。 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
安全な容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:	取扱い設備は防爆型を使用する。 排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置は接地する。 取扱い場所の近くに高温、発火源、となるものが置けない設備にする。 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機を使用する等、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にすること。 タンク内部等の密閉場所で作業をする場合、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。 長時間取り扱う場合、給排気が十分にとればばく露を受けない設備にする。
-------	---

管理濃度:

トルエン	20ppm
酢酸エチル	200ppm
酢酸ブチル	150ppm
キシレン	50ppm
エチルベンゼン	20ppm

許容濃度:

トルエン	20ppm	TWA	ACGIH
酢酸エチル	400ppm	TWA	ACGIH
酢酸エチル	1440mg/m ³	TWA	ACGIH
酢酸ブチル	150ppm	TWA	ACGIH
キシレン	100ppm	TWA	ACGIH
キシレン	434mg/m ³	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	100ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	434mg/m ³	TWA	ACGIH
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.005ppm	TWA	ACGIH
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.034mg/m ³	TWA	ACGIH

保護具

呼吸用保護具:	有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では送気マスクを着用する。
手の保護具:	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼/顔面の保護具:	保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具:	静電塗装を行う場合は通電靴を着用する。 状況に応じて適切な保護具を着用すること。
特別な注意事項:	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	無色透明
臭い:	溶剤臭
沸点:	77°C~147°C
初留点:	データなし
沸騰範囲:	データなし
可燃性:	データなし
爆発下限界:	1.1Vol%
爆発上限界:	11.5Vol%
引火点:	4°C
自然発火点:	354°C
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	データなし
蒸気圧:	12452Pa
密度及び/又は相対密度:	0.80~1.00g/ml
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	特になし
化学的安定性:	通常取り扱い条件では安定である。 標準的な条件では反応しない。
危険有害反応可能性:	特になし
避けるべき条件:	情報なし
混触危険物質:	アミン、アルコール、水と反応する。
危険有害な分解生成物:	大量に燃焼すると爆発の危険性がある。CO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性:

トルエン	12,000mg/kg	経皮ラット(LD50)	ACGIH
トルエン	14,100mg/kg	経皮ラビット(LD50)	EHC
トルエン	18mg/l	吸入ラット(LC50)	
トルエン	2,600mg/kg	経口ラット(LD50)	EU-RAR

トルエン	4,800ppm	吸入ラット(LC50)	
酢酸エチル	>5000mg/kg	経口ラット(LD50)	ACGIH
酢酸エチル	14620ppm	吸入ラット(LC50)	DFGOT
酢酸ブチル	14,130mg/kg	経口ラット(LD50)	ACGIH
酢酸ブチル	17,600mg/kg	経皮ラビット(LD50)	RTECS
酢酸ブチル	391ppm	吸入ラット(LC50)	ACGIH
キシレン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	CaPSAR
キシレン	29.08mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	環境省リスク評価
エチルベンゼン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	EHC
エチルベンゼン	15,400mg/kg	経皮ラビット(LD50)	ACGIH
エチルベンゼン	.17.2mg/l	吸入ラット(LC50)	ATSDR
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	738mg/kg	経口ラット(LD50)	CERI ハザードデータ集
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	20ppm/4H	吸入ラット(LC50)	SIDS
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	593mg/kg	経皮ラビット(LD50)	CERI ハザードデータ集

有害性情報:

	急性毒性-経口	急性毒性-経皮	急性毒性-吸入(気体)	急性毒性-吸入(蒸気)	急性毒性-吸入(粉じん・ミスト)
トルエン	4800 mg/kg	12000 mg/kg	区分に該当しない	区分4	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
酢酸ブチル	14130 mg/kg	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
キシレン	区分に該当しない	区分4	区分に該当しない	区分4	分類できない
エチルベンゼン	3500 mg/kg	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	747 mg/kg	599 mg/kg	区分に該当しない	区分1	分類できない

	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	感受性-呼吸器	感受性-皮膚	生殖細胞変異原性
トルエン	区分2	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
酢酸ブチル	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
キシレン	区分2	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
エチルベンゼン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	区分1	区分1	区分1	区分1	分類できない

	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	誤えん有害性
トルエン	分類できない	区分1A	区分1	区分1	区分1
酢酸エチル	分類できない	分類できない	区分1	分類できない	分類できない
酢酸ブチル	分類できない	分類できない	区分3	分類できない	分類できない
キシレン	分類できない	区分1B	区分1	区分1	区分1
エチルベンゼン	GHS(区分2)	区分1B	区分2	分類できない	区分1
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	分類できない	分類できない	区分1	区分1	分類できない

※特定標的臓器毒性については、組成(成分)で最も厳しい区分のみを記載しております。
 該当臓器名については、「2.危険有害性の要約」の「危険有害性情報」をご参照下さい。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

酢酸ブチル	100000µg/L(96H)	ブルーギル	環境省リスク評価
キシレン	3.3mg/l-96hr	ニジマス	CERI・NITE有害性評価書

製品 情報なし

甲殻類:

トルエン	3.5mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	EU-RAR
酢酸エチル	164mg/l-48hr	ミジンコ	IUCLID
エチルベンゼン	0.4mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	CERI・NITE有害性評価書
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	≥89.1mg/l-48hr	オオミジンコ	SIDS

製品 情報なし

藻類:

製品 情報なし

残留性/分解性:

製品 情報なし

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

製品 情報なし

他の有害影響:

製品 漏洩、廃棄の際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
製品 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

環境有害性:

	水生環境有害性-短期(急性)	水生環境有害性-長期(慢性)	オゾン層への有害性
トルエン	3.78 mg/l	区分3	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
酢酸ブチル	18 mg/l	区分に該当しない	分類できない
キシレン	3.3 mg/l	区分2	分類できない
エチルベンゼン	0.42 mg/l	区分2	分類できない
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”及び関係する法規に従って処理を行うか、業者に委託すること。

廃塗料などを焼却処理する場合、珪藻土等に吸着させて、開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 3:引火性液体

国連番号: 1263

品名(国連輸送品名): 塗料(引火性)

容器等級: 包装等級2

海洋汚染物質:

国内規制:

適用法令を参照

取扱いおよび保管上の注意の項に記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

(陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。

(海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策:

取扱い及び保管上の注意の項に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

輸送の特定の安全対策及び条件:

消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合はそれぞれの該当法規に定められた運送方法に従う。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

応急措置指針番号:

128 引火性液体(非極性/水に不溶)

15. 適用法令

<製品>

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条) 施行令別表1-4 引火性の物 施行令別表6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号 第2種有機溶剤 施行令別表第3 特定化学物質障害予防規則第2条 第2類物質 特定化学物質障害予防規則 別表第1 特別有機溶剤等
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
消防法	第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第1石油類・非水溶性液体) 危険等級II
港則法	施行規則第12条危険物 告示 引火性液体類
航空法	施行規則第194条危険物 告示 別表第1 引火性液体
危規則	第2, 3条危険物 告示別表第5 引火性液体類
特定化学物質障害予防規則	
エチルベンゼン	第2類(特別有機溶剤等)

16. その他の情報

引用文献

(社)日本塗料工業会 SDS用化学物質データベース(塗料用)第8版
 (社)日本塗料工業会 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]改訂第4版
 (独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター データベース
 国際化学物質安全カード(ICSC)
 丸善 ザックス 有害物質データブック
 原材料メーカーSDS

-
- (1) このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
- (2) 当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
- (3) 取扱いには十分ご注意ください。
- (4) このSDSは新しい知見により予告なく改定することがあります。
-

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

Table with 8 main rows containing waste management details: 1. Disposer (陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処), 2. Waste Name (航空用ポリウレタン塗料,黒色(17038) A液), 3. Composition (エチレングリコールモノエチルエーテル アセテート 14%, etc.), 4. Waste Type (産業廃棄物), 5. Specific Hazardous Waste (Alkylmercury, etc.), 6. PRTR Target Substance (届出事業所 (該当・非該当)), 7. Drinking Water Source (生成物質:ホルムアルデヒド), 8. Other Contaminants (硫黄, ヨウ素, etc.).

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約2°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(354 °C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他(生殖毒性、特定標的臓器/全身毒性)
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(溶剤臭) 色(ブラック) 比重(1.4~1.49) pH(データなし) 沸点(80~156 °C) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(1L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット) 継続予定) (8) kg・t・%・m3・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 主成分 及び CAS No.
 キシレン 1.2% > 1330-20-7
 シクロヘキサノン 1% > 108-94-1
 メチルイソブチルケトン 1% > 108-10-1
 イソブタノール 1% > 78-83-1
- ・ PRTR法該当成分
 エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート 14%
 トルエン 1.2% エチルベンゼン 1.4% キシレン 1.2%

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	航空用ポリウレタン塗料, 黒色(17038) A液
会社名	日本特殊塗料株式会社
住所	東京都北区王子3-23-2
担当部門	平塚工場 技術課
電話番号	0463-23-5256
FAX番号	0463-23-2217
緊急連絡先	担当部門に同じ
作成日	2011年08月31日
改訂日	2022年03月14日
推奨用途	航空機用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体:	区分2
急性毒性	
経口:	区分に該当しない
経皮:	区分に該当しない
吸入(蒸気):	区分に該当しない
吸入(蒸気):	区分に該当しない
吸入(粉じん, ミスト):	区分に該当しない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分2
性:	
呼吸器感受性:	分類できない
皮膚感受性:	区分に該当しない
生殖細胞変異原性:	区分に該当しない
発がん性:	区分2
生殖毒性:	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1(血液系、中枢神経系)、区分2(呼吸器、腎臓、肝臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分1(血液系、精巣、中枢神経系、末梢神経系)、区分2(呼吸器、神経系、腎臓、肺、肝臓)
誤えん有害性:	区分に該当しない
水生環境有害性-短期(急性):	区分3
水生環境有害性-長期(慢性):	区分に該当しない
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素

**危険**

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 発がんのおそれの疑い
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 水生生物に有害
 臓器(血液系、中枢神経系)の障害
 臓器(呼吸器、腎臓、肝臓)の障害のおそれ
 長期または反復ばく露による臓器(血液系、精巣、中枢神経系、末梢神経系)の障害
 長期または反復ばく露による臓器(呼吸器、神経系、腎臓、肺、肝臓)の障害のおそれ

注意書き:

《安全対策》

使用前に取扱説明書入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 (必要な時以外は)環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

《応急措置》

気分が悪いときは、医師の診察／手当を受けること。
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当を受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当を受けること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 特別な処置が必要である。
 火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
 粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、又は二酸化炭素、防災砂を用いて消火すること。

《保管》

施錠して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性: 強い引火性がある。
 熱、火花及び火炎で着火することがある。

国/地域情報: 引火性液体

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
 化学名又は一般名: ウレタン樹脂系 溶剤系

濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS No
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	14%	111-15-9
メチルエチルケトン	10~20%	78-93-3
カーボンブラック	5~10%	1333-86-4
トルエン	2.1%	108-88-3
エチルベンゼン	1.4%	100-41-4
キシレン	1.2%	1330-20-7
シクロヘキサノン	1%>	108-94-1
メチルイソブチルケトン	1%>	108-10-1
イソブタノール	1%>	78-83-1

法規制対象成分:

成分	安衛法	毒劇法	PRTR法
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	表示／通知第78号	該当しない	第一種第133号
メチルエチルケトン	表示／通知第570号	該当しない	該当しない
カーボンブラック	表示／通知第130号	該当しない	該当しない
トルエン	表示／通知第407号	該当しない	第一種第300号
エチルベンゼン	表示／通知第70号	該当しない	第一種第53号
キシレン	表示／通知第136号	該当しない	第一種第80号
シクロヘキサノン	通知第231号	該当しない	該当しない
メチルイソブチルケトン	通知第569号	該当しない	該当しない
イソブタノール	通知第477号	該当しない	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合:	蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。 呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。 直ちに医師の手当を受けること。
皮膚に付着した場合:	付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
眼に入った場合:	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合:	誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤:	炭酸ガス 泡 粉末 乾燥砂
使ってはならない消火剤:	水を消火に用いてはならない。
火災時の特有の危険有害性:	情報なし
特有の消火方法:	指定の消火剤を使用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにする。
環境に対する注意事項:	河川等へ排出され環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
二次災害の防止策:	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:	静電気対策のため、装置等を接地し、電気機器類は防爆型を使用する。 工具は火花防止型のものを使用する。 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
局所排気・全体排気:	密封された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
注意事項:	取扱い後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。 換気の良い場所で取り扱う。 指定された以外の材料と混合しないこと。 周囲で火気、スパーク、高温体の使用を禁止する。 容器はその都度密栓する。 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。
安全取扱注意事項:	特になし
適切な衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策:	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
安全な保管条件:	日光の直射を避けること。 通風の良い所に保管すること。 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
安全な容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:	取扱い設備は防爆型を使用する。 排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置は接地する。 取扱い場所の近くに高温、発火源、となるものが置けない設備にする。 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機を使用する等、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にすること。 タンク内部等の密閉場所で作業をする場合、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。 長時間取り扱う場合、給排気が十分にこればく露を受けない設備にする。
-------	--

管理濃度:

エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	5ppm
メチルエチルケトン	200ppm
トルエン	20ppm
エチルベンゼン	20ppm
キシレン	50ppm
シクロヘキサノン	20ppm
メチルイソブチルケトン	20ppm
イソブタノール	50ppm

許容濃度:

エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	5ppm	TWA	ACGIH
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	27mg/m3	TWA	ACGIH
メチルエチルケトン	200ppm	TWA	ACGIH
メチルエチルケトン	590mg/m3	TWA	ACGIH
カーボンブラック	3.5mg/m3	TWA	ACGIH
トルエン	20ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	100ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	434mg/m3	TWA	ACGIH
キシレン	100ppm	TWA	ACGIH
キシレン	434mg/m3	TWA	ACGIH
シクロヘキサノン	20ppm	TWA	ACGIH
メチルイソブチルケトン	20ppm	TWA	ACGIH
イソブタノール	50ppm	TWA	ACGIH

保護具

呼吸用保護具:	有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では送気マスクを着用する。
手の保護具:	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼/顔面の保護具:	保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具:	静電塗装を行う場合は通電靴を着用する。 状況に応じて適切な保護具を着用すること。
特別な注意事項:	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	ブラック
臭い:	溶剤臭
沸点:	80°C~156°C
初留点:	データなし
沸騰範囲:	データなし
可燃性:	データなし
爆発下限界:	1.5Vol%
爆発上限界:	13Vol%
引火点:	2°C
自然発火点:	354°C
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	データなし
蒸気圧:	12732Pa
密度及び/又は相対密度:	1.42~1.49g/ml
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	特になし
化学的安定性:	通常取り扱い条件では安定である。 標準的な条件では反応しない。
危険有害反応可能性:	特になし
避けるべき条件:	情報なし
混触危険物質:	情報なし
危険有害な分解生成物:	大量に燃焼すると爆発の危険性がある。CO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性:

エチレングリコールモノエテル エーテルアセテート	2,700mg/kg	経口ラット(LD50)	環境省リスク評価
エチレングリコールモノエテル エーテルアセテート	4,470ppm/4H	吸入ラット(LC50)	
メチルエチルケトン	>5000mg/kg	経皮ラビット(LD50)	PATTY
メチルエチルケトン	11,700ppm/4H	吸入ラット(LC50)	EHC
メチルエチルケトン	2483mg/kg	経口ラット(LD50)	PATTY
カーボンブラック	15400mg/kg	経口ラット(LD50)	RTECS
トルエン	12,000mg/kg	経皮ラット(LD50)	ACGIH
トルエン	14,100mg/kg	経皮ラビット(LD50)	EHC
トルエン	18mg/l	吸入ラット(LC50)	
トルエン	2,600mg/kg	経口ラット(LD50)	EU-RAR
トルエン	4,800ppm	吸入ラット(LC50)	
エチルベンゼン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	EHC
エチルベンゼン	15,400mg/kg	経皮ラビット(LD50)	ACGIH
エチルベンゼン	17.2mg/l	吸入ラット(LC50)	ATSDR
キシレン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	CaPSAR
キシレン	29.08mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	環境省リスク評価
シクロヘキサノン	1544mg/kg	経口ラット(LD50)	
シクロヘキサノン	947mg/kg	経皮ラビット(LD50)	DFGOT
シクロヘキサノン	2450ppm	吸入ラット(LC50)	ACGIH
メチルイソブチルケトン	2080mg/kg	経口ラット(LD50)	CERI ハザードデータ集
メチルイソブチルケトン	3000mg/kg	経皮ラビット(LD50)	CERI ハザードデータ集
メチルイソブチルケトン	8.2mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	CERI ハザードデータ集
イソブタノール	2460mg/kg	経口ラット(LD50)	SIDS
イソブタノール	2460mg/kg	経皮ラビット(LD50)	SIDS
イソブタノール	19.2mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	SIDS

有害性情報:

	急性毒性-経口	急性毒性-経皮	急性毒性-吸入(気体)	急性毒性-吸入(蒸気)	急性毒性-吸入 (粉じん・ミスト)
エチレングリコールモノ エテルエーテルアセテ ート	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
メチルエチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
トルエン	4800 mg/kg	12000 mg/kg	区分に該当しない	区分4	分類できない
エチルベンゼン	3500 mg/kg	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
キシレン	区分に該当しない	区分4	区分に該当しない	区分4	分類できない
シクロヘキサノン	1544 mg/kg	947 mg/kg	区分に該当しない	9.8 mg/l	32.1 mg/l
メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分3	分類できない
イソブタノール	2596 mg/kg	2523 mg/kg	区分に該当しない	19.2 mg/l	分類できない
	皮膚腐食性及び 皮膚刺激性	眼に対する重篤な 損傷性又は眼刺激性	感作性-呼吸器	感作性-皮膚	生殖細胞変異原性
エチレングリコールモノ エテルエーテルアセテ ート	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
メチルエチルケトン	区分2	区分2A	分類できない	分類できない	分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない
トルエン	区分2	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
エチルベンゼン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
キシレン	区分2	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
シクロヘキサノン	区分2	区分2A	分類できない	区分1	区分2
メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
イソブタノール	区分2	区分2A	分類できない	分類できない	区分に該当しない
	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	誤えん有害性
エチレングリコールモノ エテルエーテルアセテ ート	分類できない	区分1B	区分1	区分1	分類できない

	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	誤えん有害性
メチルエチルケトン	分類できない	分類できない	区分1	区分1	分類できない
カーボンブラック	GHS(区分2)	分類できない	分類できない	区分1	分類できない
トルエン	分類できない	区分1A	区分1	区分1	区分1
エチルベンゼン	GHS(区分2)	区分1B	区分2	分類できない	区分1
キシレン	分類できない	区分1B	区分1	区分1	区分1
シクロヘキサノン	区分に該当しない	区分2	区分1	区分1	分類できない
メチルイソブチルケトン	GHS(区分2)	分類できない	分類できない	区分1	分類できない
イソブタノール	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	区分に該当しない

※特定標的臓器毒性については、組成(成分)で最も厳しい区分のみを記載しております。
該当臓器名については、「2.危険有害性の要約」の「危険有害性情報」をご参照下さい。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	40mg/l-96hr	トウゴロウイワシ	CERI ハザードデータ集
メチルエチルケトン	>100mg/l-96hr	ヒメダカ(LC50)	環境省生態影響試験
キシレン	3.3mg/l-96hr	ニジマス	CERI・NITE有害性評価書
シクロヘキサノン	527mg/l-96hr	ファットヘッドミノー	CERI ハザードデータ集

製品 情報なし

甲殻類:

カーボンブラック	>5600mg/l-24hr	オオミジンコ	IUCLID
トルエン	3.5mg/l-96hr	ブラウンシュリンブ	EU-RAR
エチルベンゼン	0.4mg/l-96hr	ブラウンシュリンブ	CERI・NITE有害性評価書
メチルイソブチルケトン	170mg/l-48hr	オオミジンコ	CERI ハザードデータ集
イソブタノール	1250mg/l-24hr	オオミジンコ	EHC

製品 情報なし

藻類:

製品 情報なし

残留性/分解性:

製品 情報なし

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

製品 情報なし

他の有害影響:

製品 漏洩、廃棄の際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
製品 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

環境有害性:

	水生環境有害性-短期(急性)	水生環境有害性-長期(慢性)	オゾン層への有害性
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	41 mg/l	区分に該当しない	分類できない
メチルエチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	分類できない
トルエン	3.78 mg/l	区分3	分類できない
エチルベンゼン	0.42 mg/l	区分2	分類できない
キシレン	3.3 mg/l	区分2	分類できない
シクロヘキサノン	527 mg/l	区分に該当しない	分類できない
メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
イソブタノール	1250 mg/l	区分に該当しない	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、業者に委託すること。

廃塗料などを焼却処理する場合、珪藻土等に吸着させて、開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 3:引火性液体
 国連番号: 1263
 品名(国連輸送品名): 塗料(引火性)
 容器等級: 包装等級2

海洋汚染物質:

国内規制:

適用法令を参照

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

(陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。

(海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策:

取扱い及び保管上の注意の項に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。

輸送の特定の安全対策及び条件:

消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合はそれぞれの該当法規に定められた運送方法に従う。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

応急措置指針番号:

128 引火性液体(非極性/水に不溶)

15. 適用法令

<製品>

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条)

施行令別表1-4 引火性の物

施行令別表6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号 第2種有機溶剤

施行令別表第3 特定化学物質障害予防規則第2条 第2類物質

特定化学物質障害予防規則 別表第1 特別有機溶剤等

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

消防法

第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第1石油類・非水溶性液体)

危険等級II

港則法

施行規則第12条危険物 告示 引火性液体類

航空法

施行規則第194条危険物 告示 別表第1 引火性液体

危規則

第2, 3条危険物 告示別表第5 引火性液体類

特定化学物質障害予防規則

エチルベンゼン

第2類(特別有機溶剤等)

16. その他の情報

引用文献

(社)日本塗料工業会 SDS用化学物質データベース(塗料用)第8版

(社)日本塗料工業会 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]改訂第4版

(独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター データベース

国際化学物質安全カード(ICSC)

丸善 ザックス 有害物質データブック

原材料メーカーSDS

-
- (1) このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
- (2) 当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
- (3) 取扱いには十分ご注意ください。
- (4) このSDSは新しい知見により予告なく改定することがあります。
-

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年4月15日

記入者 巻島 直隆

Table with 8 main rows containing waste management details: 1. Disposer (陸上自衛隊 関東補給処 朝日燃料支処), 2. Waste Name (航空用ポリウレタン塗料, 黒色(17038) B液), 3. Composition (酢酸ブチル 40~50%, キシレン 5.7%, etc.), 4. Waste Type (産業廃棄物, 特別管理産業廃棄物), 5. Specific Hazardous Waste (Alkylmercury, PCB, etc.), 6. PRTR Target (キシレン 5.7%, エチルベンゼン 1.4%), 7. Disinfection Byproduct (生成物質: ホルムアルデヒド, etc.), 8. Other Contaminants (硫黄, ヨウ素, 硝酸, etc.).

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約31℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input checked="" type="checkbox"/> 自然発火性(370℃) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他(生殖毒性、特定標的臓器/全身毒性)
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(溶剤臭) 色(無色透明) 比重(0.95~1.05) pH(データなし) 沸点(126~140℃) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(1L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (8) kg・t・%・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所
 がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の
 判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	航空用ポリウレタン塗料, 黒色(17038) B液
会社名	日本特殊塗料株式会社
住所	東京都北区王子3-23-2
担当部門	平塚工場 技術課
電話番号	0463-23-5256
FAX番号	0463-23-2217
緊急連絡先	担当部門に同じ
作成日	2011年08月31日
改訂日	2022年07月28日
推奨用途	航空機用

17038

1511

4.8.23

(株)アイバツ

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体:	区分3
急性毒性	
経口:	区分に該当しない
経皮:	区分4
吸入(気体):	区分に該当しない
吸入(蒸気):	区分4
吸入(粉じん、ミスト):	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分2
呼吸器感受性:	区分に該当しない
皮膚感受性:	区分に該当しない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	区分2
生殖毒性:	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分2(呼吸器、腎臓、中枢神経系、肝臓)、区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分2(呼吸器、神経系)
誤えん有害性:	区分に該当しない
水生環境有害性-短期(急性):	区分3
水生環境有害性-長期(慢性):	区分3
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素



危険

危険有害性情報:

引火性液体及び蒸気
 皮膚に接触すると有害
 吸入すると有害
 強い眼刺激
 発がんのおそれの疑い
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 水生生物に有害
 長期継続的影響によって水生生物に有害
 臓器(呼吸器、腎臓、中枢神経系、肝臓)の障害のおそれ
 (気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ
 (麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ
 長期または反復ばく露による臓器(呼吸器、神経系)の障害のおそれ

注意書き:

《安全対策》

使用前に取扱説明書入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
 (必要な時以外は)環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

《応急措置》

気分が悪いときは、医師に連絡すること。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 目の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 特別な処置が必要である。
 火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
 粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、又は二酸化炭素、防災砂を用いて消火すること。

《保管》

施設して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／県道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性: 可燃性がある。
 熱、火花及び火炎で着火することがある。
 引火性液体

国/地域情報:

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物
 化学名又は一般名: イソシアネート系塗料
 濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS No
酢酸ブチル	40~50%	123-86-4
キシレン	5.7%	1330-20-7
エチルベンゼン	1.4%	100-41-4
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	1%>	822-06-0

法規制対象成分:

成分	安衛法	毒劇法	PRTR法
酢酸ブチル	表示／通知 第 181 号	該当しない	該当しない
キシレン	表示／通知 第 136 号	該当しない	第一種 第 80 号
エチルベンゼン	表示／通知 第 70 号	該当しない	第一種 第 53 号
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	通知 第 519 号	該当しない	該当しない

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物: ヘキサメチレン=ジイソシアネートは製造過程等に由来する不純物として存在し、毒物又は劇物の対象物とはみなさない

4. 応急措置

吸入した場合: 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
 呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。
 嘔吐物は飲み込ませないようにする。
 直ちに医師の手当を受けること。

皮膚に付着した場合:	付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
眼に入った場合:	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合:	誤って飲み込んだ場合には、安静にし直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
5. 火災時の措置	
消火剤:	炭酸ガス 泡 粉末 乾燥砂
使ってはならない消火剤:	水を消火に用いてはならない。
火災時の特有の危険有害性:	情報なし
特有の消火方法:	指定の消火剤を使用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにする。
環境に対する注意事項:	河川等へ排出され環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは関連法規に基づいて処置する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
二次災害の防止策:	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策:	静電気対策のため、装置等を接地し、電気機器類は防爆型を使用する。 工具は火花防止型のものを使用する。 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
局所排気・全体排気:	密封された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
注意事項:	取扱い後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。 換気の良い場所で取り扱う。 指定された以外の材料と混合しないこと。 周囲で火気、スパーク、高温体の使用を禁止する。 容器はその都度密栓する。 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。
安全取扱注意事項:	特になし
適切な衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
技術的対策:	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
安全な保管条件:	日光の直射を避けること。 通風の良い所に保管すること。 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
安全な容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
8. ばく露防止及び保護措置	
設備対策:	取扱い設備は防爆型を使用する。 排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置は接地する。 取扱い場所の近くに高温、発火源、となるものが置けない設備にする。 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機を使用する等、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にすること。 タンク内部等の密閉場所で作業をする場合、底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。 長時間取り扱う場合、給排気が十分にとればく露を受けない設備にする。
管理濃度:	
酢酸ブチル	150ppm
キシレン	50ppm
エチルベンゼン	20ppm

許容濃度:

酢酸ブチル	150ppm	TWA	ACGIH
キシレン	100ppm	TWA	ACGIH
キシレン	434mg/m3	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	100ppm	TWA	ACGIH
エチルベンゼン	434mg/m3	TWA	ACGIH
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.005ppm	TWA	ACGIH
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.034mg/m3	TWA	ACGIH

保護具

呼吸用保護具:	有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では送気マスクを着用する。
手の保護具:	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼/顔面の保護具:	保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具:	静電塗装を行う場合は通電靴を着用する。 状況に応じて適切な保護具を着用すること。
特別な注意事項:	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	無色透明
臭い:	溶剤臭
沸点:	126°C~140°C
初留点:	データなし
沸騰範囲:	データなし
可燃性:	データなし
爆発下限界:	1.1Vol%
爆発上限界:	7.6Vol%
引火点:	31°C
自然発火点:	370°C
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	データなし
蒸気圧:	1533Pa
密度及び/又は相対密度:	0.95~1.05g/ml
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	特になし
化学的安定性:	通常取り扱い条件では安定である。 標準的な条件では反応しない。
危険有害反応可能性:	特になし
避けるべき条件:	情報なし
混触危険物質:	アミン、アルコール、水と反応する。
危険有害な分解生成物:	大量に燃焼すると爆発の危険性がある。CO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性:

酢酸ブチル	14,130mg/kg	経ロラット(LD50)	ACGIH
酢酸ブチル	17,600mg/kg	経皮ラビット(LD50)	RTECS
酢酸ブチル	391ppm	吸入ラット(LC50)	ACGIH
キシレン	3,500mg/kg	経ロラット(LD50)	CaPSAR
キシレン	29.08mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	環境省リスク評価
エチルベンゼン	3,500mg/kg	経ロラット(LD50)	EHC
エチルベンゼン	15,400mg/kg	経皮ラビット(LD50)	ACGIH
エチルベンゼン	17.2mg/l	吸入ラット(LC50)	ATSDR
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	738mg/kg	経ロラット(LD50)	CERI ハザードデータ集
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	20ppm/4H	吸入ラット(LC50)	SIDS

ヘキサメチレン=ジイソシアネート	593mg/kg	経皮ラビット(LD50)	CERI ハザードデータ集
------------------	----------	--------------	---------------

有害性情報:

	急性毒性-経口	急性毒性-経皮	急性毒性-吸入(気体)	急性毒性-吸入(蒸気)	急性毒性-吸入(粉じん・ミスト)
酢酸ブチル	14130 mg/kg	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
キシレン	区分に該当しない	区分4	区分に該当しない	区分4	分類できない
エチルベンゼン	3500 mg/kg	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	747 mg/kg	599 mg/kg	区分に該当しない	区分1	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	感作性-呼吸器	感作性-皮膚	生殖細胞変異原性
酢酸ブチル	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
キシレン	区分2	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
エチルベンゼン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	区分1	区分1	区分1	区分1	分類できない
	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	誤えん有害性
酢酸ブチル	分類できない	分類できない	区分3	分類できない	分類できない
キシレン	分類できない	区分1B	区分1	区分1	区分1
エチルベンゼン	GHS(区分2)	区分1B	区分2	分類できない	区分1
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	分類できない	分類できない	区分1	区分1	分類できない

※特定標的臓器毒性については、組成(成分)で最も厳しい区分のみを記載しております。
 該当臓器名については、「2.危険有害性の要約」の「危険有害性情報」をご参照下さい。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

酢酸ブチル	100000µg/L(96H)	ブルーギル	環境省リスク評価
キシレン	3.3mg/l-96hr	ニジマス	CERI・NITE有害性評価書

製品 情報なし

甲殻類:

エチルベンゼン	0.4mg/l-96hr	ブラウンシュリンプ	CERI・NITE有害性評価書
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	≥89.1mg/l-48hr	オオミジンコ	SIDS

製品 情報なし

藻類:

製品 情報なし

残留性/分解性:

製品 情報なし

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

製品 情報なし

他の有害影響:

製品 漏洩、廃棄の際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
 製品 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

環境有害性:

	水生環境有害性-短期(急性)	水生環境有害性-長期(慢性)	オゾン層への有害性
酢酸ブチル	18 mg/l	区分に該当しない	分類できない
キシレン	3.3 mg/l	区分2	分類できない
エチルベンゼン	0.42 mg/l	区分2	分類できない
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”及び関係する法規に従って処理を行うか、業者に委託すること。
 廃塗料などを焼却処理する場合、珪藻土等に吸着させて、開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。
 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類: 3:引火性液体
 国連番号: 1263
 品名(国連輸送品名): 塗料(引火性)
 容器等級: 包装等級3
 海洋汚染物質:
 国内規制:

適用法令を参照

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。
 (陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
 (海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。
 (航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策: 取扱い及び保管上の注意の項に従うこと。
 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を行うこと。
 輸送の特定の安全対策及び条件: 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合はそれぞれの該当法規に定められた運送方法に従う。
 船舶安全法に定めるところに従うこと。
 航空法に定めるところに従うこと。
 応急措置指針番号: 128 引火性液体(非極性/水に不溶)

15. 適用法令

<製品>

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条) 施行令別表1-4 引火性の物 施行令別表6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号 第2種有機溶剤 施行令別表第3 特定化学物質障害予防規則第2条 第2類物質 特定化学物質障害予防規則 別表第1 特別有機溶剤等
 化学物質排出把握管理促進法 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
 消防法 第2条危険物 別表第4類 引火性液体(第2石油類・非水溶性液体) 危険等級Ⅲ
 港則法 施行規則第12条危険物 告示 引火性液体類
 航空法 施行規則第194条危険物 告示 別表第1 引火性液体
 危規則 第2、3条危険物 告示別表第5 引火性液体類
 特定化学物質障害予防規則 エチルベンゼン 第2類(特別有機溶剤等)

16. その他の情報

引用文献 (社)日本塗料工業会 SDS用化学物質データベース(塗料用)第8版
 (社)日本塗料工業会 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]改訂第4版
 (独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター データベース
 国際化学物質安全カード(ICSC)
 丸善 ザックス 有害物質データブック
 原材料メーカーSDS

- (1) このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
 (2) 当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。
 (3) 取扱いには十分ご注意下さい。
 (4) このSDSは新しい知見により予告なく改定することがあります。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処 所属 朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒 300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47	担当者 巻島 直隆 TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	外部用フタル酸樹脂エナメル(半つや)2801 白(1)4Kg		
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	酸化チタン(IV) 25-30%	MSDSがある場合、CAS No. 酸化チタン(IV) 13463-67-7 ミネラルスピリット 8052-41-3 1,2,4-トリメチルベンゼン 95-63-6 1,3,5-トリメチルベンゼン 108-67-8 ノナン 111-84-2 トリメチルベンゼン(混合物) 25551-137 裏面【その他の情報】に続きを記載
	他	ミネラルスピリット 15-20% 1,2,4-トリメチルベンゼン 7.6% 1,3,5-トリメチルベンゼン 2.7% ノナン 1-5% トリメチルベンゼン(混合物) 1-5% 裏面【その他の情報】に続きを記載	
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銹さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)		
	5 特定有害廃棄物 ()には 混入有りは○、 無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)		
6 PRTR対象物質	届出事業所(該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当(該当)非該当 ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 1,2,4-トリメチルベンゼン 7.6% 1,3,5-トリメチルベンゼン 2.7% 裏面【その他の情報】に続きを記載		
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)		
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジヒドロキシベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン		
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)		
8 その他含有物質 ()には 混入有りは○、 無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (○) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)		

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約36℃) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(知見なし) <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> その他(生殖毒性、特定標的臓器/全身毒性)
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(非水溶性液体) 臭い(溶剤臭) 色(白色) 比重(1.27g/cm ³) pH () 沸点(130~230℃) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(16Kg缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (54) kg・t・%・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように 積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部有・サンプル無・写真有)
- ・ 主成分 及び CAS No.
 - キシレン(異性体混合物) 0.1-1% 1330-20-7
 - エチルベンゼン 0.1-1% 100-41-4
 - クメン 0.1-1% 98-82-8
 - 酸化亜鉛 0.1-1% 1314-13-2
 - メチルエチルケトンオキシム 0.1-1% 96-29-7
- ・ PRTR法該当成分
 - クメン 0.1-1% キシレン(異性体混合物) 0.1-1% エチルベンゼン 0.1-1%

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

作成日: 2002年10月02日
改訂日: 2021年01月14日

R218

安全データシート

3.2 17

1. 化学品及び会社情報

製品名: 外部用フタル酸樹脂エナメル(半つや) 2801白(1)

製品種類: アルキド樹脂塗料

推奨用途: 鉄鋼構造物用、その他

会社名: カナエ塗料株式会社

住所: 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1-6-13

担当部署: 環境安全課

電話: 06-6961-2263

FAX: 06-6961-0861

E-mail: qa@kanaepaint.co.jp

製品番号(SDS NO): 059771G-6

(株)のつや

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

生殖毒性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 2

水生環境有害性(長期間): 区分 2

(註)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざける。一禁煙。

容器を密閉する。

容器を接地する/アースをとる。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。

火花を発生させない工具を使用する。

静電気放電に対する予防措置を講ずる。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
 環境への放出を避ける。
 保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 指定された個人用保護具を使用する。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
 漏出物を回収する。
 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。
 飲み込んだ場合:口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗う。
 皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡する。
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。
 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。
 水はリスクを増大させる。火災に際しては指定された消火剤を使用する。

貯蔵

施錠して保管する。
 日光から遮断する。
 換気の良いところで保管する。容器を密閉する。
 換気の良いところで保管する。涼しい所に置く。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
 アレルギー症状を引き起こす恐れがある物質を含有している。
 塗膜を研磨する場合は、粉塵を吸い込まないように注意すること。

環境影響

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。
 塗料かす、スプレーダスト、清掃等に使用したウエスなどは、空気中で酸化し、発熱、蓄熱すると自然発火する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
ノナン	1-5	111-84-2	-
酸化チタン(IV)	25-30	13463-67-7	-
キシレン(異性体混合物)	0.1-1	1330-20-7	1-080
ミネラルスピリット	15-20	8052-41-3	-
エチルベンゼン	0.1-1	100-41-4	1-053
トリメチルベンゼン(混合物)	1-5	25551-13-7	-
1,2,4-トリメチルベンゼン	7.6	95-63-6	1-296
1,3,5-トリメチルベンゼン	2.7	108-67-8	1-297
クメン	0.1-1	98-82-8	1-083
酸化亜鉛	0.1-1	1314-13-2	-
メチルエチルケトンオキシム	0.1-1	96-29-7	-

・製品中に1%以上(特定第1種の場合は0.1%以上)含有する化学物質管理促進法(PRTR法)対象指定化学物質(化合物と指定されている場合は当該元素に換算)は、その含有量を有効数字上位2桁で表示する。政令番号欄には、種-号番号を示す。なお、第2種指定化学物質は含有していない。
 ・混合溶剤(ミネラルスピリット、芳香族ナフサ等)に含有する1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン、クメン、キシレン、エチルベンゼン、ナフタレン等については含有量が一定していないので代表値(閾値以上の場合)を示す。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」又は「通知すべき有害物」該当成分

ノナン、酸化チタン(IV)、キシレン(異性体混合物)、ミネラルスピリット、エチルベンゼン、トリメチルベンゼン(混合物)、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン、酸化亜鉛、クメン

化管法「指定化学物質」該当成分

1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。

溶剤、シンナーを使用してはならない。

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。

多量の水と石鹸で洗う。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受ける。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。

嘔吐物を飲み込ませてはならない。

負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

不適切な消火剤

水を使用してはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒なCO、NOx、低分子モノマー等を生成する。

特有の消火方法

安全に対処できるのであれば、可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

指定の消火剤を使用すること。

高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。

消火活動は風上から行う。

消火を行う者の保護

適切な保護具(耐熱着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業に際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する

屋内では換気をしっかり行う。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

環境に対する注意事項

河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
 回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材
 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をすること。
 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
 大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。

二次災害の防止策

漏出物を回収する。
 付近の着荷源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
 指定された個人用保護具を使用する。
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。一禁煙。
 容器を接地する/アースをとる。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。
 火花を発生させない工具を使用する。
 静電気放電に対する予防措置を講ずる。
 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダストや製品が付着した紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。
 容器はその都度密栓する。
 作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用する。
 保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
 取扱い後は、手・顔等はよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
 過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

施錠して保管する。
 換気の良い場所で保管する。容器を密閉する。
 換気の良い場所で保管する。涼しい所に置く。
 火気、熱源から遠ざけて保管する。
 子供の手の届かないところに保管する。

避けるべき保管条件

日光から遮断する。

8. ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(キシレン(異性体混合物))
 作業環境評価基準(2004) <= 50 ppm
 (エチルベンゼン)
 作業環境評価基準(2012) <= 20 ppm

許容濃度

(エチルベンゼン)

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(酸化亜鉛)

日本産衛学会(1969) under study

(ノナン)

日本産衛学会(1989) 200ppm; 1050mg/m³

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m³

(キシレン(異性体混合物))

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m³

(ノナン)

ACGIH(2011) TWA: 200ppm (中枢神経系損傷)

(ミネラルスピリット)

ACGIH(1980) TWA: 100ppm (眼, 皮膚および腎臓障害; 吐気; 中枢神経系損傷)

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH(1992) TWA: 100ppm

STEL: 150ppm (上気道および眼刺激; 中枢神経系損傷)

(酸化亜鉛)

ACGIH(2001) TWA: 2mg/m³(R)

STEL: 10mg/m³(R) (金属ヒューム熱)

(トリメチルベンゼン(混合物))

ACGIH(1970) TWA: 25ppm (中枢神経系損傷, 喘息, 血液影響)

(酸化チタン(IV))

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m³ (下気道刺激)

(クメン)

ACGIH(1997) TWA: 50ppm (眼, 皮膚および上気道刺激; 中枢神経系損傷)

(エチルベンゼン)

ACGIH(2010) TWA: 20ppm

(上気道刺激; 腎臓障害; 渦巻管損傷)

設備対策

取り扱い設備は防爆型を使用する。

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。

液体の輸送、汲み取り、攪拌の装置についてはアースを取れるように設備すること。

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。

タンク内部等の密閉箇所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。

保護具

呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスクを着用すること。

密閉された場所では送気マスクを着用すること。

手の保護具

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

取り扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱後は汚染箇所をよく洗う。

汚染された衣類を脱ぐ。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 :非水溶性液体

色 :白色

臭い :溶剤臭

pH :知見なし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 :130~230℃

融点/凝固点 :知見なし

分解温度 :知見なし

引火点 :36.0℃

自然発火温度 :知見なし

爆発特性 :引火又は爆発範囲

下限 :0.6vol %

上限 :8.0vol %

蒸気圧 :知見なし

蒸気密度 :知見なし

比重/密度 :1.27g/cm³

n-オクタノール/水分配係数 :知見なし

放射性 :知見なし

かさ密度 :知見なし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

樹脂成分は空気中で酸化し、発熱、蓄熱される条件があると自然発火する恐れがある。

燃焼により、CO、NO_x、低分子モノマー等の有害性ガスが発生する。

混触危険物質

接触により危険性のある物質については、特に情報を有していない。

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関連した症状

急性毒性

日本公表経口毒性成分データ

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500 mg/kg (EHC 186, 1996)

(キシレン(異性体混合物))

rat LD50=3500 mg/kg (環境省リスク評価第1巻, 2002)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

female rat LD50=5000 mg/kg (RTECS, 2008)

(メチルエチルケトンオキシム)

male rat LD50=930 mg/kg (SIDS, 2008)

(クメン)

rat LD50 =2700 mg/kg (EU-RAR, 2001)

経皮毒性成分データ

(メチルエチルケトンオキシム)

rabbit LD50=1000 mg/kg (SIDS (J), 2008)

吸入毒性成分データ

(エチルベンゼン)

vapor : rat LC50=4000 ppm (ATSDR, 1999)

(ノナン)

vapor : rat LC50 =3200 ppm/4hr (ACGIH 7th, 2001)

(クメン)

vapor : rat LC50=2000 ppm/4hr (DFGMAK-Doc.13, 1999)

労働基準法 疾病化学物質

キシレン(異性体混合物)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

皮膚腐食性/刺激性成分データ

(クメン)

ラビット 10 mg/24H open ; MILD

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 500 mg/24H ; MODERATE

(酸化亜鉛)

ラビット 500 mg/24H ; MILD ラビット 500 mg/24H ; MILD

(酸化チタン(IV))

ヒト 0.3mg/3D-1 ; MILD

(エチルベンゼン)

ラビット 15 mg/24H open ; MILD

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

(クメン)

ラビット 86 mg ; MILD

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 87 mg ; MILD ラビット 5 mg/24H ; SEVERE

(酸化亜鉛)

ラビット 500 mg/24H ; MILD

感作性

皮膚感作性成分データ

(メチルエチルケトンオキシム) IUCLID, 2000

生殖細胞変異原性データなし

催奇形性データなし

発がん性

(エチルベンゼン)

IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

(酸化チタン(IV))

IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

(キシレン(異性体混合物))

IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。

(酸化チタン(IV))

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

ACGIH-A3(1998) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

日本産衛学会-2B : 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(ミネラルスピリット)

EU-発がん性カテゴリ2 ; ヒト発がん性とみなされる

(メチルエチルケトンオキシム)

EU-発がん性カテゴリ3 ; ヒト発がん性の可能性がある

生殖毒性

生殖毒性区分1 成分データ

(キシレン(異性体混合物)) IRIS, 2003

(エチルベンゼン) SIDS, 2005

生殖毒性区分2 成分データ

(酸化亜鉛) rat: EU-RAR, 2004

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性 単回ばく露区分3(気道刺激性) 成分データ

(ノナン) 気道刺激性 (HSDB, 2005)

(ミネラルスピリット) 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

(トリメチルベンゼン(混合物)) 気道刺激性 (HSDB, 2005)

(1,2,4-トリメチルベンゼン) 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

特定標的臓器毒性 単回ばく露区分3(麻酔作用) 成分データ

(ノナン) 麻酔作用 (SITTIG 4th, 2002)

(ミネラルスピリット) 麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

(トリメチルベンゼン(混合物)) 麻酔作用 (HSDB, 2005)

(1,2,4-トリメチルベンゼン) 麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

(1,3,5-トリメチルベンゼン) 麻酔作用

特定標的臓器毒性 反復ばく露区分2 成分データ

(ミネラルスピリット) 肝臓、精巣 (HSDB, 2005)

(トリメチルベンゼン(混合物)) 皮膚、呼吸器、血液、中枢神経系 (HSFS, 2003)

(1,2,4-トリメチルベンゼン) 中枢神経系、肺 (環境省リスク評価第6巻, 2008)

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性区分1 成分データ

(ミネラルスピリット) hydrocarbon, kinematic viscosity = 0.87-1.94 mm²/s (25 C)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

水生毒性 成分データ

(エチルベンゼン)

甲殻類(ブラウンシュリンプ) LC50=0.4mg/L/96hr (CERI-NITE, 2006)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=6mg/L/48hr (環境省, 2002)

(酸化亜鉛)

甲殻類(オオミジンコ) LC50 = 0.122 ZnO-mg/L (NITE初期リスク評価書, 2008)

(キシレン(異性体混合物))

魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (CERI-NITE, 2005)

(酸化チタン(IV))

甲殻類(オオミジンコ) EC50 > 1000mg/L/48hr (AQUIRE, 2003)

(トリメチルベンゼン(混合物))

甲殻類(グラスシュリンプ) LC50=5.4mg/L/96hr (AQUIRE, 2003)

(ミネラルスピリット)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=0.42-2.3 mg/L/48hr (EHC, 1996)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 = 6.14mg/L/48hr (IUCLID, 2000)

(メチルエチルケトンオキシム)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) EC50=16 mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2001)

(クメン)

甲殻類(ミシッドシュリンプ) LC50=1.2mg/L/96hr (GICAD18, 1999)

水溶解度

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2007)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(ノナン)

0.7 g/100 ml (20 C) (ICSC, 1995)

(酸化亜鉛)

溶けない (ICSC, 2004)

(酸化チタン(IV))

溶けない(HSDB, 2004)

(トリメチルベンゼン(混合物))

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(ミネラルスピリット)

溶けない (ICSC, 2004)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(クメン)

溶けない (ICSC, 2000)

残留性・分解性

(エチルベンゼン)

本質的に易分解性があり、水中から速やかに揮散する(SIDS, 2005)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

BODによる分解度:0% (既存化学物質安全性点検データ)

(キシレン(異性体混合物))

BODによる分解度:39% (CERIハザードデータ集、2005)

(トリメチルベンゼン(混合物))

1,3,5-トリメチルベンゼン_BODによる分解度:0% (既存化学物質安全性点検データ)

(ミネラルスピリット)

BODによる分解度:12 - 13% (EHC187, 1996)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

BODによる分解度 = 4-18% (既存点検, 1977)

(メチルエチルケトンオキシム)

BODによる分解度:24.7% (既存点検, 1982)

(クメン)

追加BODによる分解度:33% (既存化学物質安全性点検データ)84/449/EECによる分解度13% (EU-RAR, 2001)

生体蓄積性

(トリメチルベンゼン(混合物))

log Pow=3.4 through 3.8 (ICSC, 2002) ; BCF=328(1,3,5-トリメチルベンゼン:既存化学物質安全性点検データ)

(ミネラルスピリット)

log Pow=3.16 through 7.06 (ICSC, 2004)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.8 (ICSC, 2002)

(クメン)

log Pow=3.66 (PHYSPROP Database, 2005)

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP Database, 2005)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.42 (ICSC, 2002) ; BCF=342(Check & Review, Japan)

(ノナン)

log Pow=5.65 (ICSC, 1995)

(酸化亜鉛)

BCF=217(Check & Review, Japan)

(キシレン(異性体混合物))

log Pow=3.16 (PHYSPROP Database, 2005)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理する。

排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

廃棄物等を焼却処理する場合には有毒ガスを発生するため、適切な焼却温度及び洗浄装置のある焼却炉を使用すること。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。

汚染容器及び包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意**国連番号、国連分類**

番号 :1263

クラス :3

容器等級 :III

正式品名 :塗料又は塗料関連物質

指針番号 :128

輸送の特定の安全対策及び条件

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送の場合、消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送の場合は、船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。

航空輸送の場合は、航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令**労働安全衛生法**

第3種有機溶剤等:

ミネラルスピリット

特定化学物質障害予防規則に該当しない。

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物 (30°C ≤ 引火点 < 65°C)

名称表示危険/有害物(令18条)又は名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); 酸化チタン(IV); 1,3,5-トリメチルベンゼン;

トリメチルベンゼン(混合物); 1,2,4-トリメチルベンゼン; ノナン; ミネラルスピリット; 酸化亜鉛; クメン

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質:

1,2,4-トリメチルベンゼン(7.6%)(1-296); 1,3,5-トリメチルベンゼン(2.7%)(1-297)

消防法

第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III

化審法

優先評価化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); 1,3,5-トリメチルベンゼン; クメン

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

海洋汚染防止法

有害液体物質(X類): 1,3,5-トリメチルベンゼン; ノナン

有害液体物質(Y類): エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物)

有害液体物質(Z類): 酸化チタン(IV)

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物:引火性廃油

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7253 (2012年)

日本塗料工業会:GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用(塗料用)]

日本塗料工業会:「SDS用化学物質データベース(塗料用)」

原材料メーカーSDS

責任の限定について

本データシートは、作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和5年 4月 15日

記入者 巻島 直隆

1 排出事業者	名称	陸上自衛隊 関東補給処朝日燃料支処		所属	朝日燃料支処 補給科	
	所在地	〒300-0341 茨城県稲敷郡阿見町うずら野3-47		担当者	巻島 直隆	TEL 029-841-0102 FAX
2 廃棄物の名称	航空用合成樹脂塗料用硬化剤					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分	酢酸エチル 20% 酢酸ノルマルブチル 20% 他 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール 0.2%			MSDSがある場合、CAS No. 酢酸エチル 141-78-6 酢酸ノルマルブチル 123-86-4 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール 128-37-0	
	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> その他(金属クズ 容器) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロペン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) シクロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当)・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール 0.2%					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 (×)					

9	有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(約5°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input checked="" type="checkbox"/> 自然発火性(370 °C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他(特定標的臓器/全身毒性)
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(溶剤臭) 色(無色透明) 比重() pH(知見なし) 沸点(77~126°C) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭・なし
13	荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(4L缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット)・継続予定) (19) kg・t・%・m ³ ・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項 ・火気厳禁。静電気、衝撃火花、高温体などによる着火源の生じないように注意する。 輸送上の注意 ・容器に漏れあるいはその恐れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 有害性情報 ・強い目刺激 ・皮膚刺激・皮膚の脱脂 ・吸引すると有害 ・その他、注意事項等は安全データシートによる。

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部有 ・ サンプル無 ・ 写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
 「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。 工程図への記入でも可。
 (処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

ポリナール No.800 硬化剤 M-60D
大橋化学工業株式会社

作成日 2017年09月22日 改訂日 2021年04月01日
OF16340502

航空用合成樹脂塗料用硬化剤

3.11.10

株式会社

1548

安全データシート

1 化学品(製品)及び会社情報

化学品(製品)の名称
製品の種類、推奨用途

供給者の会社名称
住所
担当部門
電話番号
FAX番号
緊急連絡先
使用上の制限

ポリナール No.800 硬化剤 M-60D

種類 塗料用硬化剤
用途 塗料用
大橋化学工業株式会社
大阪府茨木市畑田町6番21号
品質保証部
0868-38-4131
0868-38-1788
同上
推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2 危険有害性の要約

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語
危険

GHS分類

物理化学的危険性
引火性液体
健康に対する有害性
急性毒性 経口
経皮
吸入/気体
吸入/蒸気
吸入/粉塵及びミスト

皮膚腐食性/刺激性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
呼吸器感受性
皮膚感受性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)

誤えん有害性
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性)
水生環境有害性 長期(慢性)
オゾン層への有害性

区分	危険有害性情報
2	引火性の高い液体及び蒸気
*	分類できない
*	分類できない
-	区分に該当しない
4	吸入すると有害(79.8%の未知成分あり)
*	分類できない
*	分類できない
2B	眼刺激
*	分類できない
*	分類できない
*	分類できない
*	分類できない
*	分類できない
3	呼吸器への刺激のおそれ、眠気又はめまいのおそれ [気道刺激性、麻酔作用]
*	分類できない
-	区分に該当しない
3	水生生物に有害
*	分類できない
*	分類できない

注意書き

安全対策

- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地しアースを取ること。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。
- ・取扱後はよく手を洗うこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- ・皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
- ・(水がリスクを増大させる場合)火災の場合には、消火に(製造者/供給者または規制当局が指定する適当な手段)を使用すること。

保管

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

廃棄

- ・内容物、容器は国、都道府県、又は市町村の規則に従い廃棄すること。

3 組成成分情報

化学物質・混合物の特定 : 混合物

成分名	CAS番号	含有率	備考
酢酸エチル	141-78-6	20.0%	化審法 (2)-726
酢酸ノルマルブチル	123-86-4	20.0%	化審法 (2)-731
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	128-37-0	0.2%	化審法 (3)-540 (9)-1805

4 応急措置

吸入した場合

- ・蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。
- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・出来るだけ速く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

- ・適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

5 火災時の措置

適切な消火剤

- ・ 強化液(霧状)、泡、炭酸ガス、ハロゲン化物、粉末(りん酸塩類等を使用するもの)、粉末(炭酸水素塩類等を使用するもの)、乾燥砂

使ってはならない消火剤

- ・ 水(棒状)、水(霧状)、強化液(棒状)

消火作業用の特別な保護具と予防措置

- ・ 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
- ・ 可燃性のものを周囲から素早く取り除く
- ・ 指定の消火剤を使用すること。
- ・ 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
- ・ 消火活動は風上より行う。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

- ・ 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・ 付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・ 着火した場合に備えて、適切な消火剤を準備する。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・ 屋内では換気をしっかりと行う。
- ・ 屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

環境に対する注意事項

- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

- ・ 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
- ・ 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・ 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

7 取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意

- ・ 換気の良い場所で取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓する。
- ・ 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- ・ 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
- ・ 工具は火花防止型のものを使用する。
- ・ 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。
- ・ 温度が高くなると引火性があるので注意する。
- ・ 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
- ・ 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
- ・ 作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。

保管上の注意

- ・ 日光の直射を避ける。
- ・ 通風のよいところに保管する。
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・ 盗難防止のために施錠保管すること。
- ・ 子供の手の届かないところに保管する。
- ・ 酸、アルカリと同じ場所に置かない。

8 ばく露防止および保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的ばく露限界値、生物学的限界値)

成分名	管理濃度 (厚生労働省)		ACGIH TWA ppm	備考
	200 ppm	400 ppm	400 ppm	
酢酸エチル	200 ppm	400 ppm	400 ppm	
酢酸ノルマルブチル	150 ppm	150 ppm	150 ppm	
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	—	—	2 mg/m3	

設備対策

- ・ 取扱い設備は防爆型を使用する。
- ・ 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- ・ 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースをとるように設備すること。
- ・ 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
- ・ 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。
- ・ タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

呼吸器の保護具

- ・ 有機ガス用防毒マスクを着用する。
- ・ 密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具

- ・ 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具

- ・ 取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚および身体保護具

- ・ 取扱い場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他

- ・ 静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

9 物理的および化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: 溶剤臭
融点	: 知見なし
凝固点	: 知見なし
初留点	: 77.0°C(参考値)
沸点	: 77.0~126.0°C(参考値)
可燃性	: あり
爆発限界下限	: 1.2%(参考値)
爆発限界上限	: 11.5%(参考値)
引火点	: 5°C
自然発火点	: 370°C(参考値)
分解温度	: 知見なし
pH	: 知見なし
動粘性率	: 知見なし
溶解度	: 知見なし
n-オクタノール/水分配係数	: 知見なし
蒸気圧	: 12452Pa/20°C(参考値)
密度及び又は相対密度	: 知見なし
相対ガス密度	: 知見なし
粒子特性	: 知見なし

10 安定性および反応性

- 反応性
・特に情報を有していない。
- 化学的安定性
・通常条件では反応しない。
- 危険有害反応可能性
・特に情報を有していない。
- 避けるべき条件
・製品そのものの加熱は危険な反応を起こす。
- 混触危険物質
・強酸化剤との接触で危険な反応を起こす恐れがある。
・水、アミン、アルコールと反応する。NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると容器が膨れ、場合によっては破裂する恐れがある。
- 危険有害な分解生成物
・CO、NOx等の有害性ガスを発生する恐れがある。
- その他の危険性情報
・蒸気は引火して爆発する恐れがある。

11 有害性情報

急性毒性		区分		ATEmix	
経口	分類できない	LD50	4060.2	mg/kg	
経皮	分類できない	LD50	7866.4	mg/kg	
吸入/気体	区分に該当しない	LC50		ppmV	
吸入/蒸気	区分4	LC50	14786.4	ppm	
吸入/粉塵・ミスト	分類できない	LC50		mg/l	

成分名	急性毒性					皮膚腐食性 刺激性	眼に対する重篤な 損傷性/眼刺激性
	経口	経皮	吸入/気体	吸入/蒸気	吸入/粉塵・ミスト		
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4	分類できない	区分に該当しない	区分2B
酢酸ノルマルブチル	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分2B
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分2B

成分名	呼吸器 感受性	皮膚 感受性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	誤えん 有害性	含有率
酢酸エチル	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	20.0%
酢酸ノルマルブチル	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	20.0%
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分2	分類できない	0.2%

成分名	特定標的臓器毒性	
	単回ばく露	反復ばく露
酢酸エチル	区分3 (気道刺激性, 麻酔作用)	分類できない
酢酸ノルマルブチル	区分3 (気道刺激性, 麻酔作用)	分類できない
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	区分1 (神経系)	区分2 (肝臓, 肺, 甲状腺)

12 環境影響情報

成分名	水生環境有害性		オゾン層への 有害性
	短期(急性)	長期(慢性)	
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
酢酸ノルマルブチル	区分3	区分に該当しない	分類できない
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	区分1	区分1	分類できない

一般注意事項

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
- ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

その他の情報

- 生態毒性
 - ・ 知見なし
- 残留性・分解性
 - ・ 知見なし
- 生体蓄積性
 - ・ 知見なし
- 土壤中の移動性
 - ・ 知見なし

13 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取り扱いに関する情報

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・ 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- ・ 排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

汚染容器包装の廃棄方法

- ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・ 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14 輸送上の注意

国連番号 : 1263
国連輸送名 : 塗料関連物(引火性)
国連分類 : クラス3 (引火性液体)
容器等級 : II
指針番号 : 128

特別の安全対策

共通

- ・ 取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと
- ・ 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送

- ・ 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- ・ 荷送り人は運送業者に運搬注意書(イエローカード)を交付する。

海上輸送

- ・ 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。

航空輸送

- ・ 航空法の定めるところに従うこと。

15 適用法令

- ・ 消防法
危険物 第四類 第一石油類 非水溶性 危険等級 II
- ・ 労働安全衛生法
第57条の1 表示対象物質
【酢酸エチル、酢酸ブチル】
第57条の2 通知対象物質
【酢酸エチル、酢酸ブチル、2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール】
施行令別表第一 危険物(引火性の物)
有機溶剤中毒予防規則 第二種有機溶剤等
【酢酸エチル、酢酸ノルマルブチル】
- ・ 化学物質審査規制法
優先評価化学物質
【2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール】
- ・ 悪臭防止法
特定悪臭物質
【酢酸エチル】
- ・ 船舶安全法
引火性液体類
- ・ 航空法
引火性液体

16 その他情報

主な引用文献

- ・ 日本塗料工業会編集「塗料用データベース」
- ・ 溶剤ハンドブック
- ・ 化学商品(化学工業日報社)
- ・ 日本塗料工業会編GHS対応 SDS・ラベル作成ガイドブック(改訂第4版)
- ・ ACGIH: Threshold Limit Values for Chemical substances and Physical Agents
- ・ NITE(製品評価技術基盤機構)提供GHS分類結果DB

責任の限定について

- ・ 「安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。
- ・ 本製品を取り扱う場合には、記載内容を参考にして使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。
- ・ 本データシートは安全や品質の保証書ではありません。

入 札 書

金額 ￥

品 名	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額
特別管理産業廃棄物処理	仕様書のとおり	ST	1		
以 下 余 白					
納入場所	関東補給処 朝日燃料支処	納期	令和6年3月29日		
入札(契約)保証金	免除	入札書有効期間			

上記の公告又は通知に対して「入札及び契約心得」及び「標準契約書等」の契約条項等を承諾の上、入札いたします。

また、当社(私(個人の場合)、当団体(団体の場合))は「入札及び契約心得」に示された暴力団排除に関する誓約事項について誓約いたします。

令和6年1月18日

分任契約担当官
陸上自衛隊関東補給処
調達会計部長 酒井 隆 殿

住 所
会 社 名
代 表 者 名
担 当 者 名
連 絡 先

(注)押印を省略する場合には担当者名及び連絡先を記載すること。

委 任 状 (入札等)

陸上自衛隊 関東補給処
調達会計部長 酒井 隆 殿

住 所
会 社 名
代表者名
担当者名
連 絡 先

令和 年度の入札等について、入札書又は見積書の提出に関し、
令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間、
を代理人と定め、下記権限を委任します。
なお、委任解約した場合には連署の上、お届けします。

記

- 1 入札書提出の件
- 2 見積書提出の件
- 3 その他上記委任事項に関する一切の件

令和 年 月 日

委任者

受任者

(注) 押印を省略する場合には担当者名及び連絡先を記載すること。